

医療の質指標(Quality Indicator)定義一覧

出 典 :京都大学Q I Pプロジェクト. (http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/).「Quality Indicator/Improvemnt Project(Q I P) 医療の質と経済性の評価・向上にむけて～診療パフォーマンス指標の他施設比較」.(2022年7月1日閲覧)

※下記の指標番号をクリックすると個別の指標定義に移動します。本頁以降、個別定義は指標番号の昇順に並んでいます。

| 分類                 | 指標番号   | 指標名称                                               |
|--------------------|--------|----------------------------------------------------|
| 脳卒中                | 0549   | 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法を受けた症例の割合 |
|                    | 0842   | 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、入院中に未分画ヘパリンを投与されなかった例の割合         |
|                    | 2004   | 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合                         |
|                    | 2005   | 脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合                   |
|                    | 5001   | 脳梗塞の診断で入院し、抗痙攣薬を投与しない割合                            |
| 呼吸器系               | 2121   | 手術実施患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率                             |
| 循環器系疾患 薬剤          | 2006   | 心不全患者へのβブロッカー投与の割合                                 |
|                    | 2007   | 心不全患者へのACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤投与の割合              |
|                    | 2132   | アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）処方率                   |
| 循環器系疾患             | 2078   | 急性または慢性心不全患者に対する心臓リハビリ実施割合                         |
| 消化器系               | 2037   | 急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合                          |
|                    | 2126   | 胆管炎・急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合                      |
| 整形外科               | 2046   | 大腿骨頸部骨折における早期リハビリ開始率                               |
|                    | 2114   | 大腿骨頸部骨折の早期手術割合                                     |
|                    | 2115   | 大腿骨転子部骨折の早期手術割合                                    |
| 乳がん                | 2038   | T1-2,N0,M0乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検率                  |
| 糖尿病                | 2075   | 糖尿病入院患者に対する栄養指導実施率                                 |
| 化学療法               | 2133   | シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与                      |
| 精神科                | 2127_1 | 75歳以上の入院症例でトリアゾラムが処方された割合                          |
|                    | 2127_2 | 75歳以上の入院症例で長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合              |
|                    | 2127_3 | 75歳以上の入院症例でトリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合     |
| 感染症                | 2031_4 | 市中肺炎症例に対し、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例                         |
|                    | 2031_6 | 市中肺炎症例に対し、入院当日から抗菌薬を投与された症例                        |
|                    | 2031_7 | 市中肺炎症例に対する、注射抗菌薬開始時の抗緑膿菌薬投与割合                      |
|                    | 2107   | 血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合                          |
|                    | 2108   | 抗MRSA薬投与症例対して、細菌検査を実施された割合                         |
|                    | 2124   | 広域抗菌薬使用時の血液培養実施率                                   |
|                    | 2124_2 | 広域抗菌薬使用までの培養検査実施率                                  |
|                    | 2128   | 経口第3世代セフェム処方が経口抗菌薬全体に占める割合                         |
|                    | 2129   | 経口カルバペネム処方数が経口抗菌薬全体に占める割合                          |
| マネジメント             | 2048   | 薬剤管理指導実施割合（実施患者数ベース）                               |
|                    | 2071   | 悪性腫瘍症例に対する退院支援の割合                                  |
|                    | 2079   | 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合                       |
|                    | 2080   | 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への早期栄養管理実施割合                     |
|                    | 2090   | DPC入院期間Ⅱ以内の割合                                      |
|                    | 2091   | DPC入院期間Ⅲ超えの割合                                      |
|                    | 2102   | 誤嚥性肺炎症例に対する退院支援の割合                                 |
|                    | 2103   | 認知症を伴う症例に対する退院支援の割合                                |
|                    | 2104   | 薬剤管理指導実施開始日                                        |
|                    | 2116   | 外来インスリン治療症例への糖尿病透析予防指導実施割合                         |
|                    | 2139   | 薬剤管理指導入院3日以内実施割合（実施患者数ベース）                         |
| 周術期抗菌薬予防投与         | 3321   | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：乳房切除術                          |
|                    | 3331   | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：腹式子宮摘出術（開腹）                    |
|                    | 3361   | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）          |
|                    | 3391   | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）          |
|                    | 3411   | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：人工関節置換術                        |
|                    | 3421   | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：経尿道的前立腺切除術（TURP）               |
| 遵守率<br>予防的な投与期間    | 3322   | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：乳房切除術                           |
|                    | 3332   | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：腹式子宮摘出術（開腹）                     |
|                    | 3362   | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）           |
|                    | 3392   | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）           |
|                    | 3412   | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：人工関節置換術                         |
|                    | 3422   | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：人工関節置換術                         |
| 遵守率<br>予防的抗菌薬の薬剤種類 | 3323   | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：乳房切除術                            |
|                    | 3333   | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：腹式子宮摘出術（開腹）                      |
|                    | 3363   | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）            |
|                    | 3393   | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）            |
| 遵守率<br>薬剤種類および投与期間 | 3324   | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：乳房切除術                     |
|                    | 3364   | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）     |
|                    | 3394   | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）     |

## 基本情報

### 指標番号

0549

### 名称

脳梗塞（TIA 含む）の診断で入院し、入院 2 日目までに抗血小板療法あるいは一部の抗凝固療法を受けた症例の割合

### 分母

18 歳以上の脳梗塞か TIA の診断で入院した症例

### 分子

分母のうち、入院 2 日目までに抗血小板療法もしくは一部の抗凝固療法（オザグレルナトリウム）を受けた症例

### 指標群

脳卒中

### 意義

脳梗塞の治療に際して急性期に抗血小板療法もしくは抗凝固療法を開始することが勧められる。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、脳梗塞か TIA の診断で入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10 コードとして以下のいずれかが含まれる症例

| ICD-10 コード | 病名              |
|------------|-----------------|
| I63\$      | 脳梗塞             |
| G45\$      | 一過性脳虚血発作及び関連症候群 |

- このうち、脳卒中の発症時期が 3 日以内の症例。2010 年度～2011 年度 脳卒中の発症時期に入力された日付が、入院日より 3 日以内。例： 2010 年 9 月 10 日発症 2010 年 9 月 13 日入院 →4 日目入院であり含めない。2012 年度～ 脳卒中の発症時期「1（発症 3 日以内）」
- このうち、t-PA 治療を受けた症例を除外する。E/F ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例。

| 薬価基準コード上 7 ケタ | 成分名    | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|
| 3959402       | アルテプラゼ | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

- 抗血小板療法もしくは一部の抗凝固療法（オザグレルナトリウム）を入院から 2 日目までに施行された症例（入院日を第 1 日目とする）。

| 薬価基準コード 7 桁 | 成分名               | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|-------------------|------|------|------|------|------|------|
| 1143001     | アスピリン             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1143010     | アスピリン・ダイアルミネート    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1143700     | アスピリン             | ○    | ○    |      |      |      |      |
| 2190408     | アルガトロバン水和物        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399002     | シロスタゾール           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399007     | アスピリン             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399008     | クロピドグレル硫酸塩        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399100     | アスピリン・ダイアルミネート    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399101     | クロピドグレル硫酸塩・アスピリン  |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399102     | アスピリン・ランソプラゾール    |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399103     | アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩 |      |      |      |      |      | ○    |
| 3999411     | オザグレルナトリウム        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

パーセント

## 結果提示時の並び順

降順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. アルテプラゼ投与後 24 時間以内に、抗凝固薬、抗血小板薬もしくは血栓溶解薬を投与した場合の安全性と有効性は確立していない（rt-PA（アルテプラゼ）静注療法 適正治療指針 第二版）ため、分母から除外している ガイドラインでは、抗凝固薬としてのヘパリンの使用はグレード C1 で考慮してもよいという推奨にとどまっているため分子から除外している：脳卒中治療ガイドライン 2009 および 2015 抗凝固薬としてのワルファリンは、心原性脳梗塞に適応であり、また効果の発現まで時間を要するため分子から除外している このほか抗血小板療法をしない医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外するのが望ましい
2. 2020 年 5 月にアスピリン/ボノプラザンフマル酸塩配合剤が新規販売開始で追加した。
3. シロスタゾールは、発症早期の脳梗塞患者に単独で経口投与した場合、アスピリンと同等の有効性と安全性が示されており追加した：脳卒中治療ガイドライン 2015 [追補 2019]
4. オザグレナトリウムは発症 5 日以内の脳血栓症患者の転帰改善に有効であることが示されており、一部の抗凝固療法として含めた、また非ビタミン K 阻害経口抗凝固薬（DOAC）の開始時期に関しては高度のエビデンスがまだないため現時点では分子から除外している

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 薬剤成分名は、以下を参照 <http://www.mhlw.go.jp/topics/2012/03/tp120305-01.html>  
Anticoagulants and antiplatelet agents in acute ischemic stroke: report of the Joint Stroke Guideline Development Committee of the American Academy of Neurology and the American Stroke Association (a division of the American Heart Association). Guidelines for the early management of adults with ischemic stroke. A guideline from the American Heart Association/American Stroke Association Stroke Council, Clinical Cardiology Council, Cardiovascular Radiology and Intervention Council, and the Atherosclerotic Peripheral Vascular Disease and Quality of Care Outcomes in Research Interdisciplinary Working Groups. Guidelines for prevention of stroke in patients with ischemic stroke or transient ischemic attack. Update to the AHA/ASA recommendations for the prevention of stroke in patients with stroke and transient ischemic attack.
2. 脳卒中治療ガイドライン 2009 および 2015 （1-4. 急性期抗血小板療法）

3. 脳卒中ガイドライン 2015. p58. 1-2, p64. 1-4
4. 脳卒中治療ガイドライン 2015 [追補 2019]
5. 脳卒中治療ガイドライン 2015 [追補 2017]

## 基本情報

### 指標番号

0842

### 名称

脳梗塞（TIA 含む）の診断で入院し、入院中に未分画ヘパリンを投与されなかった症例の割合

### 分母

18 歳以上の脳梗塞か TIA の診断で入院した症例

### 分子

分母のうち、未分画ヘパリンを投与されなかった症例

### 指標群

脳卒中

### 意義

脳梗塞の治療に際して未分画ヘパリンの静脈投与は原則として勧められない。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、脳梗塞か TIA の診断で入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10 コードとして以下のいずれかが含まれる症例

| ICD-10 コード | 病名              |
|------------|-----------------|
| I63\$      | 脳梗塞             |
| G45\$      | 一過性脳虚血発作及び関連症候群 |

4. このうち、頸動脈内膜剥離術（CEA）かステント留置術（CAS）を受けた症例を除外する。手術情報の点数コードのいずれか（5 フィールド）に以下のいずれかが含まれる症例 ※1区分 K609 枝 0 項 2。 ※2区分 K609 枝 2 項 0。

| 手術点数コード  | 手術名           | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|----------|---------------|------|------|------|------|------|------|
| K6092※1  | 動脈血栓内膜摘出術     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K609-2※2 | 経皮的頸動脈ステント留置術 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 未分画ヘパリンを入院中に投与されなかった症例。 E/F ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれなかった症例。

| 薬価基準コード 7 桁 | 成分名       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|-----------|------|------|------|------|------|------|
| 3334400     | ヘパリンカルシウム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3334401     | ヘパリンナトリウム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 未分画ヘパリンを投与する医学的理由の情報が得られる場合は、その症例を分母から除外する。

## 参考資料

## 参考値

**参考資料**

1. American Academy of Neurology, American College of Radiology, Physician Consortium for Performance Improvement®, National Committee for Quality Assurance. Stroke and stroke rehabilitation physician performance measurement set. Chicago (IL): American Medical Association (AMA), National Committee for Quality Assurance (NCQA); 2009 Feb. 20 p. Coull BM, et al. Anticoagulants and antiplatelet agents in acute ischemic stroke: report of the Joint Stroke Guideline Development Committee of the American Academy of Neurology and the American Stroke Association (a division of the American Heart Association). Neurology 2002 Jul 9;59(1):13-22.

## 基本情報

### 指標番号

2004

### 名称

脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合

### 分母

18 歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

### 分子

分母のうち、脳血管リハビリテーション治療を受けた症例

### 指標群

脳卒中

### 意義

脳卒中後のリハビリは、機能の早期回復と低下抑制につながる。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、脳梗塞のため入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10 コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例
4. 7 日以内の死亡退院症例を除外する（入院日を 1 として、退院日が 7 日目以内でかつ退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。）
5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例 レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例

| 診療行為コード   | 名称                                   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 180027610 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）<br>（その他）         | ○    |      |      |      |      |      |
| 180027610 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）<br>（廃用症候群以外）     |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180027610 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）                  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180027710 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）<br>（その他）         | ○    |      |      |      |      |      |
| 180027710 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）<br>（廃用症候群以外）     |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180027710 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）                  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180030810 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（３）<br>（その他）         | ○    |      |      |      |      |      |
| 180030810 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（３）<br>（廃用症候群以外）     |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180030810 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（３）                  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180032410 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）<br>（廃用症候群）       | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 180032510 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）<br>（廃用症候群）       | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 180032610 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（３）<br>（廃用症候群）       | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 180033910 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）<br>（要介護・廃用症候群以外） |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180033910 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）<br>（要介護・入院外）     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180034010 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）<br>（要介護・廃用症候群）   |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 180034110 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）<br>（要介護・廃用症候群以外） |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180034110 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）<br>（要介護・入院外）     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180034210 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）                  |      | ○    | ○    | ○    |      |      |

| 診療行為コード   | 名称                                    | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|---------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|           | (要介護・廃用症候群)                           |      |      |      |      |      |      |
| 180034310 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(3)<br>(要介護・廃用症候群以外)  |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180034310 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(3)<br>(要介護・入院外)      |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180034410 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(3)<br>(要介護・廃用症候群)    |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 180043430 | 脳血管疾患等リハビリテーション料1(要<br>介・廃用症以外) 基準不適合 |      |      | ○    |      |      |      |
| 180043430 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)<br>(要介護) 基準不適合    |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180043530 | 脳血管疾患等リハビリテーション料1(要<br>介・廃用症) 基準不適合   |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 180043630 | 脳血管疾患等リハビリテーション料2(要<br>介・廃用症以外) 基準不適合 |      |      | ○    |      |      |      |
| 180043630 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(2)<br>(要介護) 基準不適合    |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180043730 | 脳血管疾患等リハビリテーション料2(要<br>介・廃用症) 基準不適合   |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 180043830 | 脳血管疾患等リハビリテーション料3(要<br>介・廃用症以外) 基準不適合 |      |      | ○    |      |      |      |
| 180043830 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(3)<br>(要介護) 基準不適合    |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180043930 | 脳血管疾患等リハビリテーション料3(要<br>介・廃用症) 基準不適合   |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 180044310 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)<br>(要介護・入院)       |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180044410 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(2)<br>(要介護・入院)       |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180044510 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(3)<br>(要介護・入院)       |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050330 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)<br>(リ減)           |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050430 | 脳血管疾患等リハビリテーション料(2)<br>(リ減)           |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | 名称                                   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 180050530 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（リ減）          |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050630 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（要介護・入院）（リ減）  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050730 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（要介護・入院外）（リ減） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050830 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（要介護・入院）（リ減）  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050930 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（要介護・入院外）（リ減） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180051030 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（要介護・入院）（リ減）  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180051130 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（要介護・入院外）（リ減） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180051230 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（要介護）基準不適合・リ減 |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180051330 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（要介護）基準不適合・リ減 |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180051430 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（要介護）基準不適合・リ減 |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。
2. 2018 年計測時より定義を変更し、除外条件の死亡退院を 7 日以内の死亡退院に変更

### 参考資料

#### 参考値

1. QIP の過去の指標では 60%前後。

#### 参考資料

1. American Heart Association. Heart disease and stroke statistics - 2008 update. Dallas (TX): American Heart Association; 2008. 43 p.
2. 脳卒中治療ガイドライン 2009 および 2015 (VII リハビリテーション)

## 基本情報

### 指標番号

2005

### 名称

脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合

### 分母

18 歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

### 分子

分母のうち、入院後早期（3 日以内）に脳血管リハビリテーション治療を受けた症例

### 指標群

脳卒中

### 意義

脳卒中の診断後、できるだけ早期にリハビリを開始することが、機能の早期回復と低下抑制につながる。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,F ファイル,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、脳梗塞のため入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10 コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例
4. このうち、脳卒中の発症時期が 3 日以内の症例 2010 年度～2011 年度 脳卒中の発症時期に入力された日付が、入院日より 3 日以内 例： 2010 年 9 月 10 日発症 2010 年 9 月 13 日入院 →4 日目入院であり含めない 2012 年度～ 脳卒中の発症時期「1（発症 3 日以内）」

5. このうち、7 日以内の死亡退院症例を除外する（入院日を 1 として、退院日が 7 日目以内でかつ退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。）
6. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 入院後 3 日以内に脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例 入院日後 3 日以内（入院日を 1 とする）に、レセ電コードに以下のいずれかが含まれる症例

| 診療行為コード   | 名称                                   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 180027610 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（その他）         | ○    |      |      |      |      |      |
| 180027610 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（廃用症候群以外）     |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180027610 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）                  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180027710 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（その他）         | ○    |      |      |      |      |      |
| 180027710 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（廃用症候群以外）     |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180027710 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）                  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180030810 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（その他）         | ○    |      |      |      |      |      |
| 180030810 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（廃用症候群以外）     |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180030810 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）                  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180032410 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（廃用症候群）       | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 180032510 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（廃用症候群）       | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 180032610 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（廃用症候群）       | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 180033910 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（要介護・廃用症候群以外） |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180033910 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（要介護・入院外）     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180034010 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（要介護・廃用症候群）   |      | ○    | ○    | ○    |      |      |

| 診療行為コード   | 名称                                   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 180034110 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（要介護・廃用症候群以外） |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180034110 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（要介護・入院外）     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180034210 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（要介護・廃用症候群）   |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 180034310 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（要介護・廃用症候群以外） |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180034310 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（要介護・入院外）     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180034410 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（要介護・廃用症候群）   |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 180043430 | 脳血管疾患等リハビリテーション料1（要<br>介・廃用症以外）基準不適合 |      |      | ○    |      |      |      |
| 180043430 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（要介護）基準不適合    |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180043530 | 脳血管疾患等リハビリテーション料1（要<br>介・廃用症）基準不適合   |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 180043630 | 脳血管疾患等リハビリテーション料2（要<br>介・廃用症以外）基準不適合 |      |      | ○    |      |      |      |
| 180043630 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（要介護）基準不適合    |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180043730 | 脳血管疾患等リハビリテーション料2（要<br>介・廃用症）基準不適合   |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 180043830 | 脳血管疾患等リハビリテーション料3（要<br>介・廃用症以外）基準不適合 |      |      | ○    |      |      |      |
| 180043830 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）<br>（要介護）基準不適合    |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180043930 | 脳血管疾患等リハビリテーション料3（要<br>介・廃用症）基準不適合   |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 180044310 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（1）<br>（要介護・入院）      |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180044410 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（2）<br>（要介護・入院）      |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180044510 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（3）                  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | 名称                                   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|           | (要介護・入院)                             |      |      |      |      |      |      |
| 180050330 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）<br>（リ減）          |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050430 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）<br>（リ減）          |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050530 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（３）<br>（リ減）          |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050630 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）<br>（要介護・入院）（リ減）  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050730 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）<br>（要介護・入院外）（リ減） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050830 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）<br>（要介護・入院）（リ減）  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180050930 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）<br>（要介護・入院外）（リ減） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180051030 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（３）<br>（要介護・入院）（リ減）  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180051130 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（３）<br>（要介護・入院外）（リ減） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180051230 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（１）<br>（要介護）基準不適合・リ減 |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180051330 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（２）<br>（要介護）基準不適合・リ減 |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180051430 | 脳血管疾患等リハビリテーション料（３）<br>（要介護）基準不適合・リ減 |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

パーセント

## 結果提示時の並び順

降順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。
2. 2018 年計測時より定義を変更し、除外条件の死亡退院を 7 日以内の死亡退院に変更

## 参考資料

### 参考値

1. QIP の過去の指標では 80%前後。

### 参考資料

1. American Heart Association. Heart disease and stroke statistics - 2008 update. Dallas (TX): American Heart Association; 2008. 43 p.
2. 脳卒中治療ガイドライン 2009 および 2015 (VII リハビリテーション)

## 基本情報

### 指標番号

2006

### 名称

心不全患者への  $\beta$  ブロッカー投与の割合

### 分母

心不全で入院した症例数

### 分子

分母のうち、 $\beta$  ブロッカーが投与された症例数

### 指標群

循環器系疾患 薬剤

### 意義

治療内容をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,F ファイル,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、心不全の診断を受けた症例。 資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

| ICD-10 コード | 病名  |
|------------|-----|
| I50\$      | 心不全 |

3. このうち、退院日が入院後 3 日以降である症例。（入院日を 1 とする）。
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1.  $\beta$  ブロッカーが処方されている症例。 F ファイル、もしくは EF ファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

| 薬価基準コード 7 桁 | 成分名           | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|---------------|------|------|------|------|------|------|
| 2123001     | アセブトロール塩酸塩    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123002     | アルプレノロール塩酸塩   | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 2123004     | オクスプレノロール塩酸塩  | ○    | ○    |      |      |      |      |
| 2123005     | カルテオロール塩酸塩    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123006     | ブフェトロール塩酸塩    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123008     | プロプラノロール塩酸塩   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123009     | ピンドロール        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123011     | アテノロール        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123014     | アロチノロール塩酸塩    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123015     | ナドロール         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123016     | ビスプロロールフマル酸塩  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123402     | プロプラノロール塩酸塩   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123404     | ランジオロール塩酸塩    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2123405     | エスモロール塩酸塩     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149009     | ラベタロール塩酸塩     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149010     | メトプロロール酒石酸塩   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149011     | ピンドロール        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149014     | プロプラノロール塩酸塩   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149018     | アモスラロール塩酸塩    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149021     | ニブラジロール       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149025     | カルテオロール塩酸塩    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149028     | チリソロール塩酸塩     | ○    | ○    |      |      |      |      |
| 2149029     | セリプロロール塩酸塩    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149031     | ベタキシソロール塩酸塩   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149032     | カルベジロール       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149033     | ボピンドロール マロン酸塩 | ○    |      |      |      |      |      |
| 2149036     | ベバントロール塩酸塩    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149700     | ビスプロロール       |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

## 参考資料

### 参考値

1. QIP の過去の指標では 35%前後。

### 参考資料

1. 「慢性心不全治療ガイドライン(2005 年改訂版)」 「急性心不全治療ガイドライン(2006 年改訂版)」日本循環器学会
2. 急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017 年改訂版）（日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン） 日本循環器学会

## 基本情報

### 指標番号

2007

### 名称

心不全患者への ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシン II受容体阻害剤投与の割合

### 分母

心不全で入院した症例数

### 分子

分母のうち ACE 阻害剤(ACEI)もしくはアンギオテンシン II受容体阻害剤(ARB)が投与された症例数

### 指標群

循環器系疾患 薬剤

### 意義

治療内容をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,F ファイル,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、心不全の診断を受けた症例。 資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが下記である症例

| ICD-10 コード | 病名  |
|------------|-----|
| I50\$      | 心不全 |

3. このうち、退院日が入院後 3 日以降である症例。（入院日を 1 とする）。
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. ACEI もしくは ARB が処方されている症例。 F ファイル、もしくは EF ファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

| 薬価基準コード 7 桁 | 成分名                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|---------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 2144001     | カプトプリル                    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2144002     | エナラプリルマレイン酸塩              | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2144003     | アラセプリル                    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2144004     | デラプリル塩酸塩                  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2144005     | シラザプリル水和物                 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2144006     | リシノプリル水和物                 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2144007     | ベナゼプリル塩酸塩                 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2144009     | テモカプリル塩酸塩                 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2144010     | キナプリル塩酸塩                  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2144011     | トランドラプリル                  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2144012     | ペリンドプリルエルブミン              | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149039     | ロサルタンカリウム                 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149040     | カンデサルタンシレキセチル             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149041     | バルサルタン                    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149042     | テルミサルタン                   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149044     | オルメサルタンメドキシミル             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149046     | イルベサルタン                   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149047     | アリスキレンフマル酸塩               | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149048     | アジルサルタン                   |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149110     | ロサルタンカリウム・ヒドロクロロチアジド      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149111     | カンデサルタンシレキセチル・ヒドロクロロチアジド  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149112     | バルサルタン・ヒドロクロロチアジド         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149113     | テルミサルタン・ヒドロクロロチアジド        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149114     | バルサルタン・アムロジピンベシル酸塩        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149115     | オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149116     | カンデサルタンシレキセチル・アムロジピンベシル酸塩 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149117     | テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 薬価基準コード 7桁 | 成分名                            | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|------------|--------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 2149118    | イルベサルタン・アムロジピンベシル酸塩            |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149119    | イルベサルタン・トリクロロメチアジド             |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149120    | バルサルタン・シルニジピン                  |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149121    | アジルサルタン・アムロジピンベシル酸塩            |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2149122    | テルミサルタン・アムロジピンベシル酸塩・ヒドロクロロチアジド |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. アレルギーや左室機能不全ではないなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

## 参考資料

### 参考値

1. QIP の過去の指標では 45%前後。

**参考資料**

1. 「慢性心不全治療ガイドライン(2005 年改訂版)」 「急性心不全治療ガイドライン(2006 年改訂版)」 日本循環器学会
2. 急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017 年改訂版）（日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン） 日本循環器学会

## 基本情報

### 指標番号

2031\_4

### 名称

市中肺炎症例に対し、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

### 分母

18 歳以上の市中肺炎症例

### 分子

分母のうち、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

### 指標群

感染症系

### 意義

病原微生物の同定は、治療の最適化や耐性菌の対策上重要である。

### 年度

2012,2014,2016,2018

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル,D ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、市中肺炎症例。DPC コードの上 6 桁が 040070（インフルエンザ、ウイルス性肺炎）、040080（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）いずれかでかつ、肺炎の重症度分類の 7 桁目（コードでは 8. 院内肺炎、市中肺炎）が「5」（市中肺炎）の症例
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例。診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

| 診療行為コード   | 検査点数コード | 名称            | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 |
|-----------|---------|---------------|------|------|------|------|
| 160104250 | D012-21 | 尿中肺炎球菌抗原      | ○    | ○    |      |      |
| 160177150 | D012-27 | 尿中肺炎球菌莢膜抗原    | ○    | ○    |      |      |
| 160188850 | D012-27 | 肺炎球菌細胞壁抗原（定性） |      | ○    |      |      |
| 160104250 | D012-25 | 肺炎球菌抗原定性（尿）   |      |      | ○    | ○    |
| 160177150 | D012-36 | 肺炎球菌莢膜抗原定性（尿） |      |      | ○    | ○    |
| 160188850 | D012-35 | 肺炎球菌細胞壁抗原定性   |      |      | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 必ずしもすべての症例に必要な検査ではなく、100%を目指す指標ではない。
2. D ファイルのない場合の結果は参考値（QIP では疑似的に DPC コードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 成人市中肺炎診療ガイドライン

## 基本情報

### 指標番号

2031\_6

### 名称

市中肺炎症例に対し、入院当日から抗菌薬を投与された症例

### 分母

18 歳以上の市中肺炎症例

### 分子

分母のうち、入院当日から抗菌薬を投与された症例

### 指標群

感染症系

### 意義

早期診断並びに治療の適時性

### 年度

2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル,D ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、市中肺炎症例。DPC コードの上 6 桁が 040070（インフルエンザ、ウイルス性肺炎）、040080（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）いずれかでかつ、肺炎の重症度分類の 7 桁目（コードでは 8. 院内肺炎、市中肺炎）が「5」（市中肺炎）の症例
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 入院日と同一日に抗菌薬（内服薬もしくは注射薬）を投与された症例。EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。

※薬価基準コード上 7 桁について、上 2～4 ケタ情報を利用、「xxx」は 001～699 として内服薬・注射薬を指定

| 成分名                | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|--------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|
| ベンジルペニシリンカリウム      | 注射薬  | 6111400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リンコマイシン塩酸塩水和物      | 注射薬  | 6112400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クリンダマイシンリン酸エステル    | 注射薬  | 6112401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| バンコマイシン塩酸塩         | 注射薬  | 6113400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アルベカシン硫酸塩          | 注射薬  | 6119400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| テイコプラニン            | 注射薬  | 6119401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ダプトマイシン            | 注射薬  | 6119402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| キヌプリスチン・ダルホプリスチン   | 注射薬  | 6119500     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アズトレオナム            | 注射薬  | 6122400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| トブラマイシン            | 注射薬  | 6123401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アミカシン硫酸塩           | 注射薬  | 6123402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| イセパマイシン硫酸塩         | 注射薬  | 6123404     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スペクチノマイシン塩酸塩水和物    | 注射薬  | 6124400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム | 注射薬  | 6125400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| チゲサイクリン            | 注射薬  | 6129400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アンピシリンナトリウム        | 注射薬  | 6131400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ピペラシリンナトリウム        | 注射薬  | 6131403     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アスポキシリン水和物         | 注射薬  | 6131405     | ○    |      |      |      |      |
| セフォチアム塩酸塩          | 注射薬  | 6132400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セファゾリンナトリウム        | 注射薬  | 6132401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セファロチンナトリウム        | 注射薬  | 6132403     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフメタゾールナトリウム       | 注射薬  | 6132408     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォタキシムナトリウム       | 注射薬  | 6132409     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォペラゾンナトリウム       | 注射薬  | 6132410     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| セフメノキシム塩酸塩         | 注射薬  | 6132413     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフタジジム水和物          | 注射薬  | 6132418     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフトリアキソンナトリウム水和物   | 注射薬  | 6132419     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セミノクスナトリウム水和物      | 注射薬  | 6132422     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォジジムナトリウム        | 注射薬  | 6132423     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| セフピロム硫酸塩           | 注射薬  | 6132424     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフェピム塩酸塩水和物        | 注射薬  | 6132425     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォゾプラン塩酸塩         | 注射薬  | 6132426     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                      | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|--------------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|
| ラタモキシセフナトリウム             | 注射薬  | 6133400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| フロモキシセフナトリウム             | 注射薬  | 6133401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジベカシン硫酸塩                 | 注射薬  | 6134400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リボスタマイシン硫酸塩              | 注射薬  | 6134401     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| ゲンタマイシン硫酸塩               | 注射薬  | 6134407     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスホマイシンナトリウム             | 注射薬  | 6135400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| メロペネム水和物                 | 注射薬  | 6139400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ビアペネム                    | 注射薬  | 6139401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ドリペネム水和物                 | 注射薬  | 6139402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム | 注射薬  | 6139500     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォペラゾンナトリウム・スルバクタムナトリウム | 注射薬  | 6139500     |      |      |      |      | ○    |
| イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム     | 注射薬  | 6139501     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| パニペネム・ベタミプロン             | 注射薬  | 6139503     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム  | 注射薬  | 6139504     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム  | 注射薬  | 6139505     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフトロザン硫酸塩・タゾバクタムナトリウム    | 注射薬  | 6139506     |      |      |      | ○    | ○    |
| エリスロマイシンラクトビオン酸塩         | 注射薬  | 6141400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アジスロマイシン水和物              | 注射薬  | 6149400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム  | 注射薬  | 6151401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ミノサイクリン塩酸塩               | 注射薬  | 6152401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ストレプトマイシン硫酸塩             | 注射薬  | 6161400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エンビオマイシン硫酸塩              | 注射薬  | 6165400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カナマイシン硫酸塩                | 注射薬  | 6169400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アムホテリシン B                | 注射薬  | 6173400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ミカファンギンナトリウム             | 注射薬  | 6179400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ボリコナゾール                  | 注射薬  | 6179401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カスポファンギン酢酸塩              | 注射薬  | 6179402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ボサコナゾール                  | 注射薬  | 6179403     |      |      |      |      | ○    |

| 成分名                | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|--------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|
| スルファジメトキシ          | 注射薬  | 6213400     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| ミコナゾール             | 注射薬  | 6290400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| フルコナゾール            | 注射薬  | 6290401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスフルコナゾール          | 注射薬  | 6290402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| イトラコナゾール           | 注射薬  | 6290403     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ベンジルペニシリンベンザチン水和物  | 内服薬  | 6111002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クリンダマイシン塩酸塩        | 内服薬  | 6112001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リンコマイシン塩酸塩水和物      | 内服薬  | 6112003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| バンコマイシン塩酸塩         | 内服薬  | 6113001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| フィダキソマイシン          | 内服薬  | 6119001     |      |      |      | ○    | ○    |
| ピブメシリナム塩酸塩         | 内服薬  | 6121001     | ○    | ○    |      |      |      |
| カナマイシン一硫酸塩         | 内服薬  | 6123003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム | 内服薬  | 6125001     |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム | 内服薬  | 6125001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ポリミキシンB硫酸塩         | 内服薬  | 6126001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフチブテン水和物          | 内服薬  | 6129001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アモキシシリン水和物         | 内服薬  | 6131001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アンピシリン水和物          | 内服薬  | 6131002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| バカンピシリン塩酸塩         | 内服薬  | 6131004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルタミシリントシル酸塩水和物    | 内服薬  | 6131008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セファレキシン            | 内服薬  | 6132002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セファクロル             | 内服薬  | 6132005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフロキサジン水和物         | 内服薬  | 6132006     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフィキシム             | 内服薬  | 6132008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフテラム ピボキシル        | 内服薬  | 6132009     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフロキシム アキセチル       | 内服薬  | 6132010     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフポドキシム プロキセチル     | 内服薬  | 6132011     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォチアム ヘキセチル塩酸塩    | 内服薬  | 6132012     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| セフジニル              | 内服薬  | 6132013     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフジトレン ピボキシル       | 内服薬  | 6132015     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物  | 内服薬  | 6132016     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスホマイシンカルシウム水和物    | 内服薬  | 6135001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ファロペネムナトリウム水和物     | 内服薬  | 6139001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                               | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------------------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|
| テビペネム ピボキシル                       | 内服薬  | 6139002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム             | 内服薬  | 6139100     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシンエチルコハク酸エステル               | 内服薬  | 6141001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシン                          | 内服薬  | 6141002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシンステアリン酸塩                   | 内服薬  | 6141004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スピラマイシン酢酸エステル                     | 内服薬  | 6142001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジョサマイシン                           | 内服薬  | 6145001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジョサマイシンプロピオン酸エステル                 | 内服薬  | 6145002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ロキタマイシン                           | 内服薬  | 6149001     | ○    | ○    |      |      |      |
| ロキシスロマイシン                         | 内服薬  | 6149002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クラリスロマイシン                         | 内服薬  | 6149003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アジスロマイシン水和物                       | 内服薬  | 6149004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クロラムフェニコール                        | 内服薬  | 6151001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| テトラサイクリン塩酸塩                       | 内服薬  | 6152002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩                | 内服薬  | 6152003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ドキシサイクリン塩酸塩水和物                    | 内服薬  | 6152004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ミノサイクリン塩酸塩                        | 内服薬  | 6152005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| サイクロセリン                           | 内服薬  | 6162001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リファンピシン                           | 内服薬  | 6164001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リファブチン                            | 内服薬  | 6169001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ナイスタチン                            | 内服薬  | 6171001     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| アムホテリシン B                         | 内服薬  | 6173001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ボリコナゾール                           | 内服薬  | 6179001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ポサコナゾール                           | 内服薬  | 6179002     |      |      |      |      | ○    |
| リファキシミン                           | 内服薬  | 6199001     |      |      | ○    | ○    | ○    |
| ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン        | 内服薬  | 6199100     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール         | 内服薬  | 6199101     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン | 内服薬  | 6199102     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ラベプラゾールナトリウム・アモキシ                 | 内服薬  | 6199103     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                              | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|----------------------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|
| シリン水合物・メトロニダゾール                  |      |             |      |      |      |      |      |
| ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水合物・クラリスロマイシン | 内服薬  | 6199104     |      |      | ○    | ○    | ○    |
| ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水合物・メトロニダゾール  | 内服薬  | 6199105     |      |      | ○    | ○    | ○    |
| スルファメトキサゾール                      | 内服薬  | 6212002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルファジメトキシン                       | 内服薬  | 6213001     | ○    | ○    |      |      |      |
| スルファジメトキシン                       | 内服薬  | 6213001     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| サラゾスルファピリジン                      | 内服薬  | 6219001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルファメチゾール                        | 内服薬  | 6219002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| フルシトシン                           | 内服薬  | 6290001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| フルコナゾール                          | 内服薬  | 6290002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ミコナゾール                           | 内服薬  | 6290003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| イトラコナゾール                         | 内服薬  | 6290004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| テルビナフィン塩酸塩                       | 内服薬  | 6290005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アトバコン                            | 内服薬  | 6290006     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスラブコナゾール L-リシンエタノール付加物          | 内服薬  | 6290007     |      |      |      | ○    | ○    |
| スルファメトキサゾール・トリメトプリム              | 内服薬  | 6290100     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 成人市中肺炎診療ガイドラインでは、診断後 4 時間以内の抗生剤投与開始が勧められている。AHRQ では、4 時間以内の投与を指標として提案している。投与時刻のデータがなく、日単位での把握では適時性を十分に評価できているとはいいいにくい。
2. D ファイルのない場合の結果は参考値（QIP では疑似的に DPC コードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

### 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 成人市中肺炎診療ガイドライン 日本標準商品分類（平成 2 年 6 月改定）中分類 87－医薬品及び関連製品 [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000294493.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000294493.pdf)

## 基本情報

### 指標番号

2031\_7

### 名称

市中肺炎症例に対する、注射抗菌薬開始時の抗緑膿菌薬投与割合

### 分母

市中肺炎症例に対し、入院中に注射抗菌薬を投与された症例数

### 分子

分母のうち、注射抗菌薬の投与初日に、抗緑膿菌薬を処方された症例数

### 指標群

感染症系

### 意義

エンピリック治療における抗菌薬の選択

### 年度

2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル,D ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、市中肺炎症例。DPC コードの上 6 桁が 040070（インフルエンザ、ウイルス性肺炎）、040080（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）いずれかでかつ、肺炎の重症度分類の 7 桁目（コードでは 8. 院内肺炎、市中肺炎）が「5」（市中肺炎）の症例
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く
5. 入院中に注射抗菌薬を投与された症例

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

### 分子の定義

1. 分母のうち、注射抗菌薬の投与初日に、抗緑膿菌薬を処方された症例数。EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる症例

| 薬価基準コード上 7<br>ケタ | 系列          | 代表薬     | 成分名            | 記号       |
|------------------|-------------|---------|----------------|----------|
| 6131403          | 1. ペニシリン系   | ペントシリン  | ピペラシリン         | PIPC     |
| 6139505          | 1. ペニシリン系   | ゾシン     | ピペラシリン/タゾバクタム  | PIPC/TAZ |
| 6132418          | 2. セフェム系    | モダシン    | セフトジジム         | CAZ      |
| 6132425          | 2. セフェム系    | マキシピーム  | セフェピム          | CFPM     |
| 6132426          | 2. セフェム系    | ファーストシン | セフォゾプラム        | CZOP     |
| 6139500          | 2. セフェム系    | スルペラゾン  | スルバクタム・セフォペラゾン | SBT/CPZ  |
| 6139501          | 3. カルバペネム系  | チエナム    | イミペネム/シラスタチン   | IPM/CS   |
| 6139400          | 3. カルバペネム系  | メロペン    | メロペネム          | MEPM     |
| 6139401          | 3. カルバペネム系  | オメガシン   | ビアペネム          | BIPM     |
| 6139402          | 3. カルバペネム系  | フィニバックス | ドリペネム          | DRPM     |
| 6139503          | 3. カルバペネム系  | カルベニン   | パニペネム/ベタミプロン   | PAPM/BP  |
| 6241013          | 4. ニューキノロン系 | クラビット   | レボフロキサシン       | LVFX     |
| 6241400          | 4. ニューキノロン系 | シプロキサ   | シプロフロキサシン      | CPFX     |

| 薬価基準コード上 7<br>ケタ | 系列               | 代表薬           | 成分名        | 記号   |
|------------------|------------------|---------------|------------|------|
|                  | 系                | (注射)          |            |      |
| 6241008          | 4. ニューキノロン<br>系  | シプロキサ<br>(内服) | シプロフロキサシン  | CPFX |
| 6241401          | 4. ニューキノロン<br>系  | パシル           | パズフロキサシン   | PZFX |
| 6134407          | 5. アミノグリコシ<br>ド系 | ゲンタシン(注<br>射) | ゲンタマイシン    | GM   |
| 6123402          | 5. アミノグリコシ<br>ド系 | アミカシン         | アミカマイシン    | AMK  |
| 6123401          | 5. アミノグリコシ<br>ド系 | トブラシン         | トブラマイシン    | TOB  |
| 6123404          | 5. アミノグリコシ<br>ド系 | イセバシン         | イセパマイシン硫酸塩 | ISP  |
| 6134400          | 5. アミノグリコシ<br>ド系 | パニマイシン        | ジベカシン      | DKB  |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

昇順

### 測定上の限界・解釈上の注意

- 市中肺炎において緑膿菌が起因菌となることはまれであり、薬剤耐性の観点からも安易な抗緑膿菌薬の使用が多剤耐性菌のリスクとなることから、エンピリック治療においては重症度等を勘案

して適切に選ぶためのモニタリング指標。指標の並びは「昇順」で示すが、総合的な判断が求められる。

2. D ファイルのない場合の結果は参考値（QIP では疑似的に DPC コードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 成人市中肺炎診療ガイドライン 日本標準商品分類（平成 2 年 6 月改定）中分類 87－医薬品及び関連製品 [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000294493.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000294493.pdf)

## 基本情報

### 指標番号

2037

### 名称

急性胆嚢炎に対する入院 2 日以内の超音波検査実施割合

### 分母

急性胆嚢炎で入院した症例

### 分子

分母のうち、入院日から 2 日以内に超音波検査が実施された症例

### 指標群

消化器系

### 意義

急性胆嚢炎の治療方針の決定のため重要である（プロセス指標）

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、胆嚢炎で入院した症例。入院の契機となった傷病名に下記の ICD-10 コードが該当すれば対象とする

| ICD-10 コード | 病名                   |
|------------|----------------------|
| K800       | 急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石 |
| K810       | 急性胆のう<嚢>炎            |

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 入院日から 2 日以内に腹部超音波検査を受けた症例。EF ファイルで入院日または入院日翌日に下記が請求されている症例

| レセ電コード    | 手術名                           | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 160072210 | 超音波検査（断層撮影法）（胸腹部）             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160072110 | 超音波検査（Aモード法）                  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160072450 | 超音波検査（心臓超音波検査以外）（断層撮影法とMモード法） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160072750 | 超音波検査（心臓超音波検査以外）（Mモード法）       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 急性胆嚢炎において、超音波検査は重症度の評価、診療方針の決定に必須の検査とされている。

## 参考資料

### 参考値

**参考資料**

1. 科学的根拠に基づく急性胆管炎・胆嚢炎の診療ガイドライン. 急性胆道炎の診療ガイドライン作成出版委員会 編 2005
2. 急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン 2013
3. TG18 新基準掲載-急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン 2018

## 基本情報

### 指標番号

2038

### 名称

T1-2,N0M0 乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検率

### 分母

T1-2,N0M0 の乳がん(初発)で入院して手術を施行した症例数

### 分子

分母のうち、センチネルリンパ節生検が実施された症例数

### 指標群

乳がん

### 意義

プロセス指標：検査実施割合

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた 18 歳以上の症例。
3. このうち、乳房の悪性新生物（乳がん）の診断を受けた症例。いずれかの病名の ICD-10 コードとして以下のいずれかが含まれる症例。かつ、以下の 2 条件を満たす症例。①様式 1 「がんの初発、再発」が「初発」 かつ②「UICC 病期分類(T),(N),(M)」が T1\$（3 桁以降はワイルドカード、T1a 等を含む）または T2、かつ N0、かつ M0

| ICD-10 コード | 病名       |
|------------|----------|
| C50\$      | 乳房の悪性新生物 |

4. このうち、下記手術を受けた症例。以下の手技のいずれかが算定されている症例（レセ電コードで抽出）

| レセ電コード<br>(診療行為コード) | 手術点数コード | 手術名                                          | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------------|---------|----------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150121610           | K4761   | 乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）（乳腺全摘術）                     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150303110           | K4762   | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わない）                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150316510           | K4763   | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩部郭清を伴わない）                  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150262710           | K4764   | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）                  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121710           | K4765   | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施しないもの） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121810           | K4766   | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施するもの）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121910           | K4767   | 乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）                            | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150122150           | K4767   | 乳腺悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術                         | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| 150386410           | K4768   | 乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わない））             |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 150386510           | K4769   | 乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴う））               |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. センチネルリンパ節生検を受けた症例。以下の手技のいずれかが算定されている症例（レセ電コードで抽出）

| レセ電コード（診療行為コード） | 手術点数コード | 手術名              | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------------|---------|------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150345870       | K4768   | 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150345970       | K4769   | 乳がんセンチネルリンパ節加算 2 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160188010       | D409-21 | センチネルリンパ節生検（併用法） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160188110       | D409-22 | センチネルリンパ節生検（単独法） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 他の施設と指標値が大きく異なる場合は、診療行為の見直しのきっかけとなる。
2. 「UICC 病期分類」は治療前に得られた臨床情報も含む情報に基づく分類(cTNM)であり、pTNM(術後病理所見による),sTNM(手術所見による)と異なる場合があり、本来ならセンチネルリンパ節生検の適応にならない症例も含まれる可能性がある。
3. センチネルリンパ節生検は外来日帰りでも行えるため、手術前に外来で施行されている場合や他院で施行され、紹介入院となっている場合もある。結果が低値だったとしても解釈に注意が必要である。

## 参考資料

## 参考値

### 参考資料

1. 臨床的腋窩リンパ節転移陰性乳癌において、センチネルリンパ節生検で転移陰性と診断された場合には、腋窩リンパ節郭清の省略をすることが標準治療である。SNB は、臨床的腋窩リンパ節転移陰性早期乳癌の腋窩リンパ節転移の有無をほぼ正確に診断できる（偽陰性率<10%）。この結果に基づいて ALND を省略する治療法は、ALND と比べ長期予後に及ぼす影響は同等であり、さらに術後合併症、後遺症も有意に少なく、現時点での標準的治療法と考えられる。〔乳がん診療ガイドライン 2018〕
2. 日本乳癌学会 乳癌診療ガイドライン 2018

## 基本情報

### 指標番号

2046

### 名称

大腿骨頸部骨折における早期リハビリ開始率

### 分母

大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた症例

### 分子

分母のうち、大腿骨頸部手術後 3 日以内にリハビリを実施した症例

### 指標群

整形外科

### 意義

機能回復においてリハビリを早期に始めることが重要である。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが下記に含まれる症例

| ICD-10 コード | 病名          |
|------------|-------------|
| S7200      | 大腿骨頸部骨折 閉鎖性 |
| S7201      | 大腿骨頸部骨折 開放性 |

3. このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術 1 の K コードが下記に含まれる症例。

| 手術コード   | 手術名                                      | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------|------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| K0441   | 骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿                      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K046-21 | 観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0461   | 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0611   | 関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0631   | 関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝                         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0811   | 人工骨頭挿入術 肩、股                              | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K083    | 鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 運動器リハビリテーションが行われている症例。E/F ファイルにおいて、下記の処置が行われている症例。

| 診療行為コード   | 名称                             | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 180027810 | 運動器リハビリテーション料（2）               | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 180027910 | 運動器リハビリテーション料（3）               | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 180032710 | 運動器リハビリテーション料（1）               | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 180034510 | 運動器リハビリテーション料（1）（要介護）          |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180034510 | 運動器リハビリテーション料（1）（要介護・入院外）      |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180034610 | 運動器リハビリテーション料（2）（要介護）          |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180034610 | 運動器リハビリテーション料（2）（要介護・入院外）      |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180034710 | 運動器リハビリテーション料（3）（要介護）          |      | ○    | ○    |      |      |      |
| 180034710 | 運動器リハビリテーション料（3）（要介護・入院外）      |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180044030 | 運動器リハビリテーション料（1）（要介護）（施設基準不適合） |      |      | ○    |      |      |      |
| 180044030 | 運動器リハビリテーション料（1）（要介護）基準不適合     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180044130 | 運動器リハビリテーション料（2）（要介護）          |      |      | ○    |      |      |      |

| 診療行為コード   | 名称                                | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|           | 護) (施設基準不適合)                      |      |      |      |      |      |      |
| 180044130 | 運動器リハビリテーション料 (2) (要介護) 基準不適合     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180044230 | 運動器リハビリテーション料 (3) (要介護) (施設基準不適合) |      |      | ○    |      |      |      |
| 180044230 | 運動器リハビリテーション料 (3) (要介護) 基準不適合     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180045810 | 運動器リハビリテーション料 (1) (要介護・入院)        |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180045910 | 運動器リハビリテーション料 (2) (要介護・入院)        |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180046010 | 運動器リハビリテーション料 (3) (要介護・入院)        |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180052730 | 運動器リハビリテーション料 (1) (リ減)            |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180052830 | 運動器リハビリテーション料 (2) (リ減)            |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180052930 | 運動器リハビリテーション料 (3) (リ減)            |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180053030 | 運動器リハビリテーション料 (1) (要介護・入院) (リ減)   |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180053130 | 運動器リハビリテーション料 (1) (要介護・入院外) (リ減)  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180053230 | 運動器リハビリテーション料 (2) (要介護・入院) (リ減)   |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180053330 | 運動器リハビリテーション料 (2) (要介護・入院外) (リ減)  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180053430 | 運動器リハビリテーション料 (3) (要介護・入院) (リ減)   |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180053530 | 運動器リハビリテーション料 (3) (要介護・入院外) (リ減)  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180053630 | 運動器リハビリテーション料 (1) (要介護) 基準不適合・リ減  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180053730 | 運動器リハビリテーション料 (2) (要介護) 基準不適合・リ減  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 180053830 | 運動器リハビリテーション料 (3) (要介護) 基準不適合・リ減  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

2. このうち、処置が手術日以後 3 日以内に実施されている症例。E/F ファイルの実施年月日が手術 1 の手術日後 3 日以内である症例。

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. リハビリの禁忌患者など、対象患者が全員早期リハビリテーションの適応になるとは限らない。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 日本整形外科学会, 日本骨折治療学会. 大腿骨頸部/転子部骨折診療ガイドライン 改訂第 2 版. 南江堂. 2011

## 基本情報

### 指標番号

2048

### 名称

薬剤管理指導実施割合（実施患者数ベース）

### 分母

入院症例数

### 分子

分母のうち、薬剤管理指導を受けた症例数

### 指標群

マネジメント

### 意義

薬剤師の薬学的管理指導は、医療改善につながる

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 薬剤指導管理実施の算定されている症例

| レセ電コード    | 診療行為名                   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 113010710 | 薬剤管理指導料 1（救命救急入院料等算定患者） | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 113010810 | 薬剤管理指導料（安全管理を要する医薬品     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| レセ電コード    | 診療行為名   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|---------|------|------|------|------|------|------|
|           | 投与患者)   |      |      |      |      |      |      |
| 120001610 | 薬剤管理指導料 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 薬剤管理指導料は、算定には特定の施設基準を満たしている必要があり、実施が「0」の施設は、未実施という意味ではない可能性が高い（これらの施設件数も比較には参考となると考えられるため、表・グラフには、0 の施設も併記はする）。必ずしも、すべての患者に薬剤管理指導を要するわけではなく、100%を目指す指標ではない。分子の薬剤管理指導は、特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者に対して行う場合以外も含め、管理指導が実施の有無の計測を主旨とする。指標としては、このほかに、実施回数を考慮したものが考えられる。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 日本医療・病院管理学会誌 49(4)195-203

## 基本情報

### 指標番号

2071

### 名称

悪性腫瘍症例に対する退院支援の割合

### 分母

悪性腫瘍入院症例数

### 分子

分母のうち、退院調整加算/退院支援加算/入退院支援加算を算定した症例

### 指標群

マネジメント

### 意義

患者が安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、病院内での「退院調整」機能が重視されている。退院支援を評価する「退院調整加算」は、平成 28（2016）年度診療報酬改定から廃止され、「退院支援加算/入退院支援加算（平成 30（2018）年度以降）」が新設された。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. 医療資源を最も利用した傷病名に、ICD-10 コードとして以下のコードが含まれる症例

| ICD-10 コード | 病名                             |
|------------|--------------------------------|
| C\$        | C00-D48 新生物                    |
| D\$        | D50-D89 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 |

3. このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

#### 分子の定義

1. 退院調整加算/退院支援加算/入退院支援加算が算定されている症例。以下のいずれかが算定されている症例

| レセ電コード    | 診療行為名                             | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 190128310 | 慢性期病棟等退院調整加算 2（退院加算・療養病棟入院基本料等）   | ○    |      |      |      |      |      |
| 190128410 | 慢性期病棟等退院調整加算 2（退院加算・障害者施設等入院基本料等） | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137110 | 慢性期病棟等退院調整加算 1（退院支援計画作成加算）        | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137210 | 慢性期病棟等退院調整加算 1（退院加算・療養病棟入院基本料等）   | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137310 | 慢性期病棟等退院調整加算 1（退院加算・障害者施設等入院基本料等） | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137410 | 急性期病棟等退院調整加算 1                    | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137510 | 急性期病棟等退院調整加算 2                    | ○    |      |      |      |      |      |
| 190141470 | 退院調整加算（認知症治療病棟入院料）                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 190147610 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（～14日）             |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190147710 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（15日～30日）          |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190147810 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（31日～）             |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190147910 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（～30日）             |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190148010 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（31日～90日）          |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190148110 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（91日～120日）         |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190148210 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（121日～）            |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190173310 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（～14日）       |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173410 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（15日～30日）    |      |      | ○    | ○    |      |      |

| レセ電コード    | 診療行為名                               | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 190173510 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）<br>（31日～）     |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173610 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（特定地域）<br>（～30日）     |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173710 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（特定地域）<br>（31日～90日）  |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173810 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（特定地域）<br>（91日～120日） |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173910 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（特定地域）<br>（121日～）    |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190192310 | 入退院支援加算1（一般病棟入院基本料等）                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192410 | 入退院支援加算1（療養病棟入院基本料等）                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192510 | 入退院支援加算2（一般病棟入院基本料等）                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192610 | 入退院支援加算2（療養病棟入院基本料等）                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192910 | 入退院支援加算（特定地域）（一般病棟入院基本料等）           |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190193010 | 入退院支援加算（特定地域）（療養病棟入院基本料等）           |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190207470 | 入院時支援加算2（入退院支援加算）                   |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 190217970 | 入院時支援加算1（入退院支援加算）                   |      |      |      |      |      | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. たとえば、入退院支援加算の算定対象は「退院困難な要因」（下記）のある患者とされている。  
したがって、必ずしも特定の疾患を対象としたものではないが、本指標ではとくに悪性腫瘍を対象として測定を行っている。 ※入退院支援加算 1/2 の対象となる「退院困難な要因」 ア 悪性腫瘍、認知症又は誤嚥性肺炎等の急性呼吸器感染症のいずれかであること イ 緊急入院であること ウ 要介護状態であるとの疑いがあるが要介護認定が未申請であること（介護保険法施行令（平成 10 年政令第 412 号）第 2 条各号に規定する特定疾病を有する 40 歳以上 65 歳未満の者及び 65 歳以上の者に限る。） エ 家族又は同居者から虐待を受けている又はその疑いがあること オ 生活困窮者であること カ 入院前に比べ ADL が低下し、退院後の生活様式の再編が必要であること（必要と推測されること。） キ 排泄に介助を要すること ク 同居者の有無に関わらず、必要な養育又は介護を十分に提供できる状況にないこと ケ 退院後に医療処置（胃瘻等の経管栄養法を含む。）が必要なこと コ 入退院を繰り返していること サ その他患者の状況から判断してアからコまでに準ずると認められる場合
2. 入退院支援加算 1 と 2 では施設基準が異なるが、本指標では両者を合算した数を測定している
3. 年度により算定基準が異なることに注意が必要である。

### 参考資料

### 参考値

### 参考資料

## 基本情報

### 指標番号

2075

### 名称

糖尿病入院患者に対する栄養指導実施率

### 分母

入院時の病名に糖尿病のある症例

### 分子

分母のうち栄養指導を行った症例

### 指標群

糖尿病

### 意義

プロセス指標 処置実施割合

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた 18 歳以上の症例。
3. このうち、糖尿病の病名のある症例。主病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの ICD-10 コードとして以下のいずれかが含まれる症例

| ICD-10 コード | 病名                    |
|------------|-----------------------|
| E10\$      | インスリン依存性糖尿病< I DDM>   |
| E11\$      | インスリン非依存性糖尿病<N I DDM> |
| E12\$      | 栄養障害に関連する糖尿病          |
| E13\$      | その他の明示された糖尿病          |

| ICD-10 コード | 病名       |
|------------|----------|
| E14\$      | 詳細不明の糖尿病 |

- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

- 分母のうち、以下のいずれかの算定が一回以上なされている症例。

| レセ電コード    | 診療行為名            | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|------------------|------|------|------|------|------|------|
| 113003310 | 入院栄養食事指導料        | ○    | ○    |      |      |      |      |
| 113014810 | 入院栄養食事指導料 1      |      |      | ○    |      |      |      |
| 113014910 | 入院栄養食事指導料 2      |      |      | ○    |      |      |      |
| 113017610 | 入院栄養食事指導料 1（初回）  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 113017710 | 入院栄養食事指導料 1（2回目） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 113017810 | 入院栄養食事指導料 2（初回）  |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 113017910 | 入院栄養食事指導料 2（2回目） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 113003410 | 集団栄養食事指導料        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

- 他の施設と指標値が大きく異なる場合は、診療行為の見直しのきっかけとなる。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン 2013（日本糖尿病学会）

## 基本情報

### 指標番号

2078

### 名称

急性または慢性心不全患者に対する心臓リハビリ実施割合

### 分母

急性または慢性心不全で入院した症例数

### 分子

分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数

### 指標群

循環器系疾患

### 意義

プロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,F ファイル,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より求めた入院時年齢が 18 歳以上の症例。
3. このうち、急性・慢性心不全の治療目的で入院した症例。医療資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが I50\$（疑い病名は除く）※かつ、病名付加コードが 30100（慢性）または 30101（急性）または 30102（慢性の急性増悪）の 3 つのうちいずれかがコードされている

| ICD-10 コード | 病名  |
|------------|-----|
| I50\$      | 心不全 |

4. 在院日数が 90 日以上の症例は除く。
5. 治験例は除く

6. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 心大血管疾患リハビリテーションを受けた症例。入院中に以下のいずれかが算定された症例

| レセ電コード    | 診療行為名               | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|---------------------|------|------|------|------|------|------|
| 180027410 | 心大血管疾患リハビリテーション料（1） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 180027510 | 心大血管疾患リハビリテーション料（2） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 適応外の患者もあり、100
2. 保険診療請求上、B001 の 17 に掲げる慢性疼痛疾患管理料を算定する患者についてはリハビリテーション料を算定しないことになっているが、月 1 回の 170 点算定の管理料よりも、リハビリの方を算定することが多いと思われる。
3. 平成 24 年（2012 年）の診療報酬改定で、リハビリの標榜がなくても、循環器内科・心臓血管外科だけで算定が取れることが明らかになった（疑義解釈）。2016 年からリハビリ算定要件の 1 つである、施設基準が緩和した。測定結果としても指標値は上昇傾向にある。

## 参考資料

### 参考値

1. 運動療法を中心とした心臓リハビリテーションは虚血性心疾患の二次予防に有効であるとする報告は多くなされている。1,2
2. 慢性心不全に対する運動療法単独無作為比較試験のメタアナリシスでは、虚血性慢性心不全において、運動療法自体が生命予後改善効果と入院率の減少をもたらすと報告されている。3,4,5
3. 心筋梗塞後の包括的心血管疾患リハビリテーション(運動療法中心)により、心筋梗塞の再発減少、心臓血管死および全死亡の減少(20~25%)が報告されている。3,6,7

### 参考資料

1. Balady GJ, Williams MA, Ades PA, et al. Core Components of Cardiac Rehabilitation/Secondary Prevention Programs: 2007 Update: A Scientific Statement From the American Heart Association Exercise, Cardiac Rehabilitation, and Prevention Committee, the Council on Clinical Cardiology; the Councils on Cardiovascular Nursing, Epidemiology and Prevention, and Nutrition, Physical Activity, and Metabolism; and the American Association of Cardiovascular and Pulmonary Rehabilitation. *Circulation* 2007; 115: 2675-2682.
2. Werf FV, Bax J, Betriu A, et al. Management of acute myocardial infarction in patients presenting with persistent ST-segment elevation: The Task Force on the management of ST-segment elevation acute myocardial infarction of the European Society of Cardiology. *Eur Heart J* 2008; 29: 2909-2945.
3. 循環器病の診断と治療に関するガイドライン。心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン(2007年改訂版)。[http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2007\\_nohara\\_h.pdf](http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2007_nohara_h.pdf)
4. (2013年4月24日アクセス可能)
5. Belardinelli R, Georgion D, Giovanni C, Purcaro A: Randomized controlled trial of long term moderate training in chronic heart failure. *Circulation* 1999; 99: 1173-1182.
6. Piepoli, MF, Davos, C, Francis, DP, Coats, AJ: Exercise training meta-analysis of trials in patients with chronic heart failure (ExTraMATCH). *BMJ* 2004; 328: 189.
7. Oldridge NB, Guyatt GH, Fischer ME, Rimm AA: Cardiac rehabilitation after myocardial infarction. Combined experience of randomized clinical trials. *JAMA* 1988; 260: 945-950 (A)
8. O'Connor GT, Buring JE, Yusuf S, Goldhaber SZ, Olmstead EM, Paffenberger RS, Hennenkens CH: An overview of randomized trials of rehabilitation with exercise after myocardial infarction. *Circulation* 1989; 80: 234-244
9. 循環器病の診断と治療に関するガイドライン。心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン(2012年改訂版)

## 基本情報

### 指標番号

2079

### 名称

糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合

### 分母

18 歳以上の糖尿病・慢性腎臓病であり、それらへの治療が主目的ではない入院症例の食事

### 分子

分母のうち、特別食加算の算定

### 指標群

マネジメント

### 意義

積極的な栄養管理の介入

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、入院時併存症として糖尿病か慢性腎臓病が診断されている入院した症例。入院時併存症に、ICD-10 コードとして以下のいずれかが含まれる症例

| ICD-10 コード   | 病名       |
|--------------|----------|
| E10\$～ E14\$ | 糖尿病      |
| N03\$        | 慢性腎炎症候群  |
| N04\$        | ネフローゼ症候群 |
| N18\$        | 慢性腎不全    |

4. このうち、主傷病名、入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名のいずれかに糖尿病か慢性腎臓病が該当する症例は除外する（コードは上記と同一）
5. 算定された食事回数（EF-12×EF-21 の合計、ただし「0」が入力されたものは「1」として集計）を計測する。下記レセ電コードの算定回数

| レセ電コード    | 診療行為名                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-----------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 197000110 | 入院時食事療養（1）（1食につき）           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 197000710 | 入院時食事療養（2）（1食につき）           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 197003110 | 入院時食事療養（1）（1食につき）（流動食のみを提供） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 197003210 | 入院時食事療養（2）（1食につき）（流動食のみを提供） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

6. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く
7. 分子の値が分母の値を超える場合除外する（分子の定義、測定上の限界・解釈上の注意を参照）

#### 分子の定義

1. 分母で抽出された症例に対し、特別食加算の算定された回数（EF-12×EF-21 の合計、ただし「0」が入力されたものは「1」として集計）を計測する。

| レセ電コード    | 診療行為名       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| 197000470 | 特別食加算（食事療養） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

2. 分母の値を超えるときは分母共に除外（例：1入院毎の集計で除外を判定 測定上の限界・解釈上の注意を参照）

#### その他

#### 薬剤一覧の出力

いいえ

#### リスク調整因子の条件

#### 指標の算出方法

分子÷分母

#### 指標の単位

パーセント

## 結果提示時の並び順

降順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. EF ファイルを利用する場合は、F ファイル相当のレコードのみ利用する。本指標は主に急性期医療の症例を対象とするため、下記は対象外としている

| レセ電コード    | 行為名                   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-----------------------|------|------|------|------|------|------|
| 197001310 | 入院時生活療養（１）食事療養（１食につき） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 197001710 | 入院時生活療養（２）食事療養（１食につき） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

2. 本来は分子は分母に含まれるが、本指標の計測の定義ではデータのずれが出てくることがあるため、割合が 1 を超える数値で出てくる場合がある。このため、本定義では各症例の入院ごとに分母となる数と分子となる数を抽出集計し、それら各々について分子が分母を超えないかどうかの確認を行い、超えていない整合性のあるデータのみ利用する方法を提示した。このほか 1 症例 1 日毎での判定などより詳細にデータ処理も可能である。
3. 食事回数は EF-12×EF-21 の合計、ただし「0」が入力されたものは「1」として集計しているが、データの入力方法によれば必ずしも食事「回数」にならないことがある。「DPC 導入の影響評価に係る調査」実施説明資料では行為回数（E-15、EF-21）の入力について、「同一日に同一行為が複数回発生した場合は、合計した点数が E-11、12、13 に計上され、回数は 1 とすることを基本とする。（薬剤等） 但し、合計処理が不可能な場合で、各々を別レコードとして分離できず、かつ、点数が 1 回当たり点数となる場合は、回数として 2 以上が入る。合計処理は、統一データ処理にて実施。」と記載されており、その入力方法の解釈により行為回数のみを用いた場合、回数が少なく集計されることがある。出来高実績点数の利用も可能だが、点数が複雑になるため、本指標では、EF12 と EF21 のみを利用する。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. <http://www.nutri.co.jp/nutrition/keywords/append/>

## 基本情報

### 指標番号

2080

### 名称

糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への早期栄養管理実施割合

### 分母

18 歳以上の糖尿病・慢性腎臓病であり、それらへの治療が主目的ではない入院症例の入院翌日までの食事

### 分子

分母のうち、特別食加算の算定

### 指標群

マネジメント

### 意義

積極的な栄養管理の介入

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、入院時併存症として糖尿病か慢性腎臓病が診断されている入院した症例。入院時併存症に、ICD-10 コードとして以下のいずれかが含まれる症例

| ICD-10 コード    | 病名       |
|---------------|----------|
| E10\$ ～ E14\$ | 糖尿病      |
| N03\$         | 慢性腎炎症候群  |
| N04\$         | ネフローゼ症候群 |

|            |       |
|------------|-------|
| ICD-10 コード | 病名    |
| N18\$      | 慢性腎不全 |

- このうち、主傷病名、入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名のいずれかに糖尿病か慢性腎不全が該当する症例は除外する（コードは上記と同一）
- 上記にて抽出された症例に対して、入院翌日までに算定された食事回数を計測する。下記レセ電コードの算定回数

| レセ電コード    | 診療行為名                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-----------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 197000110 | 入院時食事療養（１）（１食につき）           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 197000710 | 入院時食事療養（２）（１食につき）           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 197003110 | 入院時食事療養（１）（１食につき）（流動食のみを提供） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 197003210 | 入院時食事療養（２）（１食につき）（流動食のみを提供） |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「０」の症例を除く

## 分子の定義

- 分母で抽出された症例に対し、入院翌日までに特別食加算の算定された回数を計測する。

| レセ電コード    | 診療行為名       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| 197000470 | 特別食加算（食事療養） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. EF ファイルを利用する場合は、F ファイル相当のレコードのみ利用する。本指標は主に急性期医療の症例を対象とするため、下記は対象外としている

| レセ電コード    | 行為名                   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-----------------------|------|------|------|------|------|------|
| 197001310 | 入院時生活療養（1）食事療養（1食につき） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 197001710 | 入院時生活療養（2）食事療養（1食につき） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

### 参考資料

### 参考値

### 参考資料

## 基本情報

### 指標番号

2090

### 名称

DPC 入院期間 II 以内の割合

### 分母

退院症例数（DPC 分析対象）

### 分子

入院期間 II 以内の退院数

### 指標群

マネジメント

### 意義

マネジメント

### 年度

2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、分科会の分析対象データを参考に、以下の基準で除外を行う ① 在院日数 1 日以下（外泊日数含む） ② 外泊 $\geq$ 在院日数 ③ 年齢 0 歳未満 120 歳超 ④ 一般病棟以外の病棟との移動あり（DPC 対象病棟となる入院料を算定していないもの） ⑤ 24 時間以内の死亡 ⑥ 移植手術あり ⑦ DPC 該当せず ⑧ 治験の実施 ⑨ 生後 7 日以内の死亡
3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 分母のうち、入院期間 II 以内の退院数

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 症例の限定は分科会定義に準じるが、完全に一致はしない。 マネジメントの指標値であって、計測値の解釈は個別に必要。 DPC 対象の精神病棟への入院も除外している。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 平成 22 年度第 9 回診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会 議事次第  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000ysr0.html>
2. 平成 23 年度第 9 回診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会 議事次第  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000001u23a.html>
3. 平成 24 年度第 5 回診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会 議事次第  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000002hs9l.html>
4. 平成 25 年度第 7 回診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会 議事次第  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000023522.html>
5. 平成 26 年度 第 5 回 診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000056344.html>

6. 平成 27 年度第 7 回 診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000104146.html>

## 基本情報

### 指標番号

2091

### 名称

DPC 入院期間 III 超えの割合

### 分母

退院症例数（DPC 分析対象）

### 分子

入院期間 III より長い退院数

### 指標群

マネジメント

### 意義

マネジメント

### 年度

2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、分科会の分析対象データを参考に、以下の基準で除外を行う ① 在院日数 1 日以下（外泊日数含む） ② 外泊>=在院日数 ③ 年齢 0 歳未満 120 歳超 ④ 一般病棟以外の病棟との移動あり（DPC 対象病棟となる入院料を算定していないもの） ⑤ 24 時間以内の死亡 ⑥ 移植手術あり ⑦ DPC 該当せず ⑧ 治験の実施 ⑨ 生後 7 日以内の死亡
3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 分母のうち、在院日数が入院期間 III より長い退院数

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

昇順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 症例の限定は分科会定義に準じるが、完全に一致はしない。 マネジメントの指標値であって、計測値の解釈は個別に必要。 DPC 対象の精神病棟への入院も除外している。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 平成 22 年度第 9 回診療報酬調査専門組織・D P C 評価分科会 議事次第  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000ysr0.html>
2. 平成 23 年度第 9 回診療報酬調査専門組織・D P C 評価分科会 議事次第  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000001u23a.html>
3. 平成 24 年度第 5 回診療報酬調査専門組織・D P C 評価分科会 議事次第  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000002hs9l.html>
4. 平成 25 年度第 7 回診療報酬調査専門組織・D P C 評価分科会 議事次第  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000023522.html>
5. 平成 26 年度 第 5 回 診療報酬調査専門組織・D P C 評価分科会  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000056344.html>

6. 平成 27 年度第 7 回 診療報酬調査専門組織・DPC 評価分科会  
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000104146.html>

## 基本情報

### 指標番号

2102

### 名称

誤嚥性肺炎症例に対する退院支援の割合

### 分母

誤嚥性肺炎入院症例数

### 分子

分母のうち、退院調整加算/退院支援加算/入退院支援加算を算定した症例

### 指標群

マネジメント

### 意義

患者が安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、病院内での「退院調整」機能が重視されている。退院支援を評価する「退院調整加算」は、平成 28（2016）年度診療報酬改定から廃止され、「退院支援加算/入退院支援加算（平成 30（2018）年度以降）」が新設された。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. 医療資源を最も利用した傷病名に、ICD-10 コードとして以下のコードが含まれる症例

| ICD-10 コード | 病名              |
|------------|-----------------|
| J69\$      | 固形物および液状物による肺臓炎 |

3. このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。

4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 退院調整加算/退院支援加算/入退院支援加算が算定されている症例。以下のいずれかが算定されている症例

| レセ電コード    | 診療行為名                             | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 190128310 | 慢性期病棟等退院調整加算 2（退院加算・療養病棟入院基本料等）   | ○    |      |      |      |      |      |
| 190128410 | 慢性期病棟等退院調整加算 2（退院加算・障害者施設等入院基本料等） | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137110 | 慢性期病棟等退院調整加算 1（退院支援計画作成加算）        | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137210 | 慢性期病棟等退院調整加算 1（退院加算・療養病棟入院基本料等）   | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137310 | 慢性期病棟等退院調整加算 1（退院加算・障害者施設等入院基本料等） | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137410 | 急性期病棟等退院調整加算 1                    | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137510 | 急性期病棟等退院調整加算 2                    | ○    |      |      |      |      |      |
| 190141470 | 退院調整加算（認知症治療病棟入院料）                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 190147610 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（～14日）             |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190147710 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（15日～30日）          |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190147810 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（31日～）             |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190147910 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（～30日）             |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190148010 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（31日～90日）          |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190148110 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（91日～120日）         |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190148210 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（121日～）            |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190173310 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（～14日）       |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173410 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（15日～30日）    |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173510 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（31日～）       |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173610 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（特定地域）             |      |      | ○    | ○    |      |      |

| レセ電コード    | 診療行為名                               | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|           | (～30日)                              |      |      |      |      |      |      |
| 190173710 | 退院調整加算(療養病棟入院等)(特定地域)<br>(31日～90日)  |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173810 | 退院調整加算(療養病棟入院等)(特定地域)<br>(91日～120日) |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173910 | 退院調整加算(療養病棟入院等)(特定地域)<br>(121日～)    |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190192310 | 入退院支援加算1(一般病棟入院基本料等)                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192410 | 入退院支援加算1(療養病棟入院基本料等)                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192510 | 入退院支援加算2(一般病棟入院基本料等)                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192610 | 入退院支援加算2(療養病棟入院基本料等)                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192910 | 入退院支援加算(特定地域)(一般病棟入院基本料等)           |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190193010 | 入退院支援加算(特定地域)(療養病棟入院基本料等)           |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190207470 | 入院時支援加算2(入退院支援加算)                   |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 190217970 | 入院時支援加算1(入退院支援加算)                   |      |      |      |      |      | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. たとえば、入退院支援加算の算定対象は「退院困難な要因」（下記）のある患者とされている。  
したがって、必ずしも特定の疾患を対象としたものではないが、本指標ではとくに誤嚥性肺炎を対象として測定を行っている。 ※入退院支援加算 1/2 の対象となる「退院困難な要因」 ア 悪性腫瘍、認知症又は誤嚥性肺炎等の急性呼吸器感染症のいずれかであること イ 緊急入院であること ウ 要介護状態であるとの疑いがあるが要介護認定が未申請であること（介護保険法施行令（平成 10 年政令第 412 号）第 2 条各号に規定する特定疾病を有する 40 歳以上 65 歳未満の者及び 65 歳以上の者に限る。） エ 家族又は同居者から虐待を受けている又はその疑いがあること オ 生活困窮者であること カ 入院前に比べ ADL が低下し、退院後の生活様式の再編が必要であること（必要と推測されること。） キ 排泄に介助を要すること ク 同居者の有無に関わらず、必要な養育又は介護を十分に提供できる状況にないこと ケ 退院後に医療処置（胃瘻等の経管栄養法を含む。）が必要なこと コ 入退院を繰り返していること サ その他患者の状況から判断してアからコまでに準ずると認められる場合
2. 入退院支援加算 1 と 2 では施設基準が異なるが、本指標では両者を合算した数を測定している
3. 年度により算定基準が異なることに注意が必要である。

### 参考資料

### 参考値

### 参考資料

## 基本情報

### 指標番号

2103

### 名称

認知症を伴う症例に対する退院支援の割合

### 分母

認知症を伴う入院症例数

### 分子

分母のうち、退院調整加算/退院支援加算/入退院支援加算を算定した症例

### 指標群

マネジメント

### 意義

患者が安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、病院内での「退院調整」機能が重視されている。退院支援を評価する「退院調整加算」は、平成 28（2016）年度診療報酬改定から廃止され、「退院支援加算/入退院支援加算（平成 30（2018）年度以降）」が新設された。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. 傷病名のいずれかに、ICD-10 コードとして以下のコードが含まれる症例

| ICD-10 コード | 病名                |
|------------|-------------------|
| F00\$      | アルツハイマー病の認知症      |
| F01\$      | 血管性認知症            |
| F02\$      | 他に分類されるその他の疾患の認知症 |

| ICD-10 コード | 病名           |
|------------|--------------|
| F03\$      | 詳細不明の認知症     |
| G30\$      | アルツハイマー病     |
| G31\$      | 神経系のその他の変性疾患 |

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 退院調整加算/退院支援加算/入退院支援加算が算定されている症例。以下のいずれかが算定されている症例

| レセ電コード    | 診療行為名                             | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 190128310 | 慢性期病棟等退院調整加算 2（退院加算・療養病棟入院基本料等）   | ○    |      |      |      |      |      |
| 190128410 | 慢性期病棟等退院調整加算 2（退院加算・障害者施設等入院基本料等） | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137110 | 慢性期病棟等退院調整加算 1（退院支援計画作成加算）        | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137210 | 慢性期病棟等退院調整加算 1（退院加算・療養病棟入院基本料等）   | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137310 | 慢性期病棟等退院調整加算 1（退院加算・障害者施設等入院基本料等） | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137410 | 急性期病棟等退院調整加算 1                    | ○    |      |      |      |      |      |
| 190137510 | 急性期病棟等退院調整加算 2                    | ○    |      |      |      |      |      |
| 190141470 | 退院調整加算（認知症治療病棟入院料）                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 190147610 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（～14日）             |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190147710 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（15日～30日）          |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190147810 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（31日～）             |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190147910 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（～30日）             |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190148010 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（31日～90日）          |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190148110 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（91日～120日）         |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190148210 | 退院調整加算（療養病棟入院等）（121日～）            |      | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 190173310 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）（～14日）       |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173410 | 退院調整加算（一般病棟入院等）（特定地域）             |      |      | ○    | ○    |      |      |

| レセ電コード    | 診療行為名                               | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|           | (15日～30日)                           |      |      |      |      |      |      |
| 190173510 | 退院調整加算(一般病棟入院等)(特定地域)<br>(31日～)     |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173610 | 退院調整加算(療養病棟入院等)(特定地域)<br>(～30日)     |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173710 | 退院調整加算(療養病棟入院等)(特定地域)<br>(31日～90日)  |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173810 | 退院調整加算(療養病棟入院等)(特定地域)<br>(91日～120日) |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190173910 | 退院調整加算(療養病棟入院等)(特定地域)<br>(121日～)    |      |      | ○    | ○    |      |      |
| 190192310 | 入退院支援加算1(一般病棟入院基本料等)                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192410 | 入退院支援加算1(療養病棟入院基本料等)                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192510 | 入退院支援加算2(一般病棟入院基本料等)                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192610 | 入退院支援加算2(療養病棟入院基本料等)                |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190192910 | 入退院支援加算(特定地域)(一般病棟入院基本料等)           |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190193010 | 入退院支援加算(特定地域)(療養病棟入院基本料等)           |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 190207470 | 入院時支援加算2(入退院支援加算)                   |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 190217970 | 入院時支援加算1(入退院支援加算)                   |      |      |      |      |      | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

## 結果提示時の並び順

降順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. たとえば、入退院支援加算の算定対象は「退院困難な要因」（下記）のある患者とされている。したがって、必ずしも特定の疾患を対象としたものではないが、本指標ではとくに悪性腫瘍を対象として測定を行っている。 ※入退院支援加算 1 / 2 の対象となる「退院困難な要因」 ア 悪性腫瘍、認知症又は誤嚥性肺炎等の急性呼吸器感染症のいずれかであること イ 緊急入院であること ウ 要介護状態であるとの疑いがあるが要介護認定が未申請であること（介護保険法施行令（平成 10 年政令第 412 号）第 2 条各号に規定する特定疾病を有する 40 歳以上 65 歳未満の者及び 65 歳以上の者に限る。） エ 家族又は同居者から虐待を受けている又はその疑いがあること オ 生活困窮者であること カ 入院前に比べ ADL が低下し、退院後の生活様式の再編が必要であること（必要と推測されること。） キ 排泄に介助を要すること ク 同居者の有無に関わらず、必要な養育又は介護を十分に提供できる状況にないこと ケ 退院後に医療処置（胃瘻等の経管栄養法を含む。）が必要なこと コ 入退院を繰り返していること サ その他患者の状況から判断してアからコまでに準ずると認められる場合
2. 入退院支援加算 1 と 2 では施設基準が異なるが、本指標では両者を合算した数を測定している
3. 年度により算定基準が異なることに注意が必要である。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

## 基本情報

### 指標番号

2104

### 名称

薬剤管理指導実施開始日

### 分母

入院症例のうち、薬剤管理指導を受けた症例数

### 分子

分母のうち、入院日から薬剤指導管理実施を最初に算定された日までの日数（入院日を1）

### 指標群

マネジメント

### 意義

薬剤師の薬学的管理指導は、医療改善につながる

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. 薬剤指導管理実施の算定されている症例

| レセ電コード    | 診療行為名                    | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 113010710 | 薬剤管理指導料 1（救命救急入院料等算定患者）  | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 113010810 | 薬剤管理指導料（安全管理を要する医薬品投与患者） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 120001610 | 薬剤管理指導料                  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 入院日から薬剤指導管理実施を最初に算定された日までの日数。入院日を1とする

## その他

## 薬剤一覧の出力

いいえ

## リスク調整因子の条件

## 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

日

## 結果提示時の並び順

昇順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 必ずしも、すべての患者に薬剤管理指導を要するわけではないが、本指標では「実施された症例」に限定している点に注意。また、入院途中に介入が必要となった症例が多い場合、指標値としては低く算出される。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

## 基本情報

### 指標番号

2107

### 名称

血液培養検査において、同日に 2 セット以上の実施割合

### 分母

血液培養のオーダー日数（人日）

### 分子

血液培養のオーダーが 1 日に 2 件以上ある日数（人日）

### 指標群

感染症系

### 意義

血液培養は 1 セットのみの場合の偽陽性による過剰治療を防ぐため、2 セット以上行うことが推奨されている

### 年度

2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

F ファイル,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 実施日が解析期間のケースを対象とする
2. このうち、EF ファイルより下記の血液培養オーダー、1 患者 1 日毎に実施された日数を集計する。同一日に複数のレコードがあっても、1 とカウント。

| 診療行為コード   | 基本漢字名称       | コード    | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------|--------|------|------|------|------|------|------|
| 160058610 | 細菌培養同定検査（血液） | D018_3 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 上記血液培養の実施回数が 1 日 2 回以上の日数を合計する。実施回数は 1 患者 1 日で合計する。実施回数は、EF ファイルでは EF-7='000'以外のレコード（F ファイル相当）から集計し、行為回数 EF-21×使用量 EF-12（ただし、使用量は「0」の場合 1 として計算）を 1 日当たりで合計したもののが 2 以上、あるいは出来高実績点数 EF-16 の 1 日当たり合計が 2 回分以上（2015 年度まで 190 点、2016 年度より 210 点のため、算出としては例えば合計が 380 点以上で判定）を分子とする。E ファイル F ファイルが別の場合、F ファイルより使用量 F-12 あるいは出来高実績点数 EF-16 を抽出し、それに紐づく E ファイルの行為回数 E-15 を掛け合わせて算出する。（使用量「0」の場合の処理は同様）

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 2014 年度データ以降で測定（2014 年度診療報酬改定から、血液を 2 か所以上から採取した場合に限り、2 回算定できる）
2. 「DPC 導入の影響評価に係る調査」実施説明資料では行為回数（E-15、EF-21）の入力について、「同一日に同一行為が複数回発生した場合は、合計した点数が E-11、12、13 に計上され、回数は 1 とすることを基本とする。（薬剤等） 但し、合計処理が不可能な場合で、各々を別レコードとして分離できず、かつ、点数が 1 回当たり点数となる場合は、回数として 2 以上が入る。合計処理は、統一データ処理にて実施。」と記載されており、その入力方法の解釈により行為回数のみを用いた場合、分子に含まれないことがあるため、出来高実績点数も利用した指標としている。ただし、出来高実績点数には 0 を入力しているデータも多く存在し、DPC データによる判定では分子に含まれないケースが潜在的に存在する。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. JAID/JSC 感染症治療ガイドライン 2017 –敗血症およびカテーテル関連血流感染症–

## 基本情報

### 指標番号

2108

### 名称

抗 MRSA 薬投与症例対して、細菌検査を実施された割合

### 分母

抗 MRSA 薬を投与された症例数

### 分子

分母のうち、細菌検査を測定された症例

### 指標群

感染症

### 意義

抗 MRSA 薬使用時は、抗 MRSA 薬および他の抗菌薬に対する感受性（耐性）の確認が勧告されている

### 年度

2016,2018,2020

### 必要データセット

F ファイル,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、抗 MRSA 薬を投与された症例。 E/F ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下のいずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。

| 成分名        | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|------------|------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| バンコマイシン塩酸塩 | 注射薬  | 6113400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アルベカシン硫酸塩  | 注射薬  | 6119400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| テイコプラニン    | 注射薬  | 6119401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ダプトマイシン    | 注射薬  | 6119402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リネゾリド      | 注射薬  | 6249401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名        | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|------------|------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| バンコマイシン塩酸塩 | 内服薬  | 6113001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リネゾリド      | 内服薬  | 6249002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 分母のうち、細菌培養同定検査が実施された症例。E/F ファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下のいずれかが含まれる症例

| 診療行為コード   | 基本漢字名称                | コード    | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-----------------------|--------|------|------|------|------|------|------|
| 160058210 | 細菌培養同定検査（口腔からの検体）     | D018_1 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160144410 | 細菌培養同定検査（気道からの検体）     | D018_1 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160144510 | 細菌培養同定検査（呼吸器からの検体）    | D018_1 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160058310 | 細菌培養同定検査（消化管からの検体）    | D018_2 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160058610 | 細菌培養同定検査（血液）          | D018_3 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160144710 | 細菌培養同定検査（穿刺液）         | D018_3 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160058410 | 細菌培養同定検査（泌尿器からの検体）    | D018_4 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160144610 | 細菌培養同定検査（生殖器からの検体）    | D018_4 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160058710 | 細菌培養同定検査（その他の部位からの検体） | D018_5 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160058810 | 細菌培養同定検査（簡易培養）        | D018_6 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160058970 | 嫌気性培養加算（細菌培養同定検査）     | D018_7 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

## 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

パーセント

## 結果提示時の並び順

降順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 感受性の確認が推奨されるが、診療報酬上、結果として菌が検出できず実施できなかった場合においては細菌薬剤感受性検査は算定しないため、細菌培養同定検査の有無を指標とする。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 「抗 MRSA 薬使用の手引き」 <http://www.kansensho.or.jp/guidelines/>

## 基本情報

### 指標番号

2114

### 名称

大腿骨頸部骨折の早期手術割合

### 分母

大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例

### 分子

分母のうち、入院 2 日以内に手術を受けた症例数

### 指標群

整形外科

### 意義

適切な手術時期

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが下記に含まれる症例

| ICD-10 コード | 病名          |
|------------|-------------|
| S7200      | 大腿骨頸部骨折 閉鎖性 |
| S7201      | 大腿骨頸部骨折 開放性 |

3. このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術 1 の K コードが下記に含まれる症例。

| 手術コード   | 手術名                                      | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------|------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| K0441   | 骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿                      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K046-21 | 観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0461   | 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0611   | 関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0631   | 関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝                         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0811   | 人工骨頭挿入術 肩、股                              | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0821   | 人工股関節置換術                                 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K083    | 鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. 入院後2日以内の死亡症例を除く。退院時転帰の値として入院後2日以内に以下のいずれかが入力されている症例を除外する

| 退院時転帰 | 説明                   |
|-------|----------------------|
| 6     | 最も医療資源を投入した傷病による死亡   |
| 7     | 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡 |

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 分母で同定された手術が、入院から2日以内（入院日を1とする）に施行されている症例

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

**測定上の限界・解釈上の注意**

1. ガイドラインではできる限り早期の手術を推奨する（Grade B）

**参考資料**

**参考値**

**参考資料**

1. 大腿骨頸部／転子部骨折診療ガイドライン 改訂第 2 版

## 基本情報

### 指標番号

2115

### 名称

大腿骨転子部骨折の早期手術割合

### 分母

大腿骨転子部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例

### 分子

分母のうち、入院 2 日以内に手術を受けた症例数

### 指標群

整形外科

### 意義

適切な手術時期

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、大腿骨転子部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが下記に含まれる症例

| CD-10 コード | 病名         |
|-----------|------------|
| S7210     | 大腿骨転子部骨折   |
| S7211     | 大腿骨転子部開放骨折 |

3. このうち、大腿骨転子部骨折に対する手術が行われている症例。手術 1 の K コードが下記に含まれる症例。

| 手術コード   | 手術名                                      | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------|------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| K0441   | 骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿                      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K046-21 | 観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0461   | 骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0611   | 関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0631   | 関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝                         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0811   | 人工骨頭挿入術 肩、股                              | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K0821   | 人工股関節置換術                                 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| K083    | 鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. 入院後2日以内の死亡症例を除く。退院時転帰の値として入院後2日以内に以下のいずれかが入力されている症例を除外する

| 退院時転帰 | 説明                   |
|-------|----------------------|
| 6     | 最も医療資源を投入した傷病による死亡   |
| 7     | 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡 |

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 分母で同定された手術が、入院から2日以内（入院日を1とする）に施行されている症例

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

**測定上の限界・解釈上の注意**

1. ガイドラインではできる限り早期の手術を推奨する（Grade B）

**参考資料**

**参考値**

**参考資料**

1. 大腿骨頸部／転子部骨折診療ガイドライン 改訂第 2 版

## 基本情報

### 指標番号

2116

### 名称

外来インスリン治療症例への糖尿病透析予防指導実施割合

### 分母

インスリン注射を処方された症例の処方された月数

### 分子

分母の月に、糖尿病透析予防指導の実施された月数

### 指標群

マネジメント

### 意義

### 年度

2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

外来 EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に外来で受診した症例を対象とする
2. このうち、インスリン注射を処方された症例。E/F ファイルの薬剤情報の点数コードのいずれかに、以下のいずれかの薬価基準コードに対応するレセ電コードが含まれる症例を 1 か月 1 症例で集計（月数）

| 薬価基準コード<br>上 7 ケタ | 名称              | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|-----------------|------|------|------|------|------|------|
| 2492403           | ヒトインスリン（遺伝子組換え） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2492405           | イソフェンインスリン水性    |      | ○    |      |      |      |      |
| 2492406           | インスリン           |      | ○    |      |      |      |      |
| 2492407           | インスリン亜鉛水性       |      | ○    |      |      |      |      |

| 薬価基準コード<br>上 7 ケタ | 名称                                        | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|-------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 2492409           | 結晶性インスリン亜鉛水性                              |      | ○    |      |      |      |      |
| 2492410           | 無晶性インスリン亜鉛水性                              |      | ○    |      |      |      |      |
| 2492411           | プロタミンインスリン亜鉛水性                            |      | ○    |      |      |      |      |
| 2492413           | ヒトインスリン（遺伝子組換え）                           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2492414           | インスリンリスプロ（遺伝子組換え）                         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2492415           | インスリンアスパルト（遺伝子組換え）                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2492416           | インスリングルリジン（遺伝子組換え）                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2492417           | インスリンデテミル（遺伝子組換え）                         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2492418           | インスリングルリジン（遺伝子組換え）                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2492419           | インスリンデグルデク（遺伝子組換え）                        |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2492500           | インスリンデグルデク（遺伝子組換え）・<br>インスリンアスパルト（遺伝子組換え） |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. 特定疾患療養管理料の算定された症例は除外する

| レセ電コード    | 診療行為名                   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 113001810 | 特定疾患療養管理料（診療所）          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 113001910 | 特定疾患療養管理料（100床未満）       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 113002010 | 特定疾患療養管理料（100床以上200床未満） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

分子の定義

1. 糖尿病透析予防指導料を算定された症例。分母の月に、E/F ファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例を1 か月 1 症例で集計（月数）

| レセ電コード    | 診療行為名              | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------------|------|------|------|------|------|------|
| 113013610 | 糖尿病透析予防指導管理料       |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 113015610 | 糖尿病透析予防指導管理料（特定地域） |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |

その他

薬剤一覧の出力

はい

リスク調整因子の条件

**指標の算出方法**

分子÷分母

**指標の単位**

パーセント

**結果提示時の並び順**

降順

**測定上の限界・解釈上の注意**

**参考資料**

**参考値**

**参考資料**

## 基本情報

### 指標番号

2121

### 名称

手術実施患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

### 分母

肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院症例数

### 分子

分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上）が実施された症例数

### 指標群

呼吸器系

### 意義

周術期の肺血栓塞栓症の予防行為の実施は、発生率を下げることに繋がる。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 計測期間において、EF ファイルを参照し、危険因子の手術〔下記〕（リスクレベルが「中」以上の手術は『肺血栓塞栓症/ 深部静脈血栓症（静脈血栓塞栓症）の予防ガイドライン』に準じて抽出）のいずれかの手術名がある退院患者を抽出し、分母とする。なお、様式 1 の生年月日と入院年月日より入院時年齢を求め、区分 1 は 15 歳以上の患者、区分 2 は 40 歳以上の患者を対象とする。

| 区分   | コード       | 診療行為名 |
|------|-----------|-------|
| 区分 1 | 150009410 | 筋膜切離術 |
| 区分 1 | 150009510 | 筋膜切開術 |
| 区分 1 | 150009610 | 筋切離術  |

| 区分   | コード       | 診療行為名                |
|------|-----------|----------------------|
| 区分 1 | 150009710 | 股関節内転筋切離術            |
| 区分 1 | 150009810 | 股関節筋群解離術             |
| 区分 1 | 150009910 | 筋炎手術（腸腰筋）            |
| 区分 1 | 150010010 | 筋炎手術（殿筋）             |
| 区分 1 | 150010110 | 筋炎手術（大腿筋）            |
| 区分 1 | 150011110 | 四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（大腿）     |
| 区分 1 | 150011210 | 四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（下腿）     |
| 区分 1 | 150011410 | 四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（足）      |
| 区分 1 | 150011810 | 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（大腿）    |
| 区分 1 | 150011910 | 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（下腿）    |
| 区分 1 | 150012110 | 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（足）     |
| 区分 1 | 150019210 | 骨折観血的手術（大腿）          |
| 区分 1 | 150019410 | 骨折観血的手術（下腿）          |
| 区分 1 | 150019610 | 骨折観血的手術（膝蓋骨）         |
| 区分 1 | 150019810 | 骨折観血的手術（足）           |
| 区分 1 | 150020710 | 骨内異物（挿入物を含む）除去術（大腿）  |
| 区分 1 | 150021110 | 骨内異物（挿入物を含む）除去術（膝蓋骨） |
| 区分 1 | 150021310 | 骨内異物（挿入物を含む）除去術（足）   |
| 区分 1 | 150021610 | 骨部分切除術（大腿）           |
| 区分 1 | 150021810 | 骨部分切除術（下腿）           |
| 区分 1 | 150022010 | 骨部分切除術（膝蓋骨）          |
| 区分 1 | 150022210 | 骨部分切除術（足）            |
| 区分 1 | 150022710 | 腐骨摘出術（大腿）            |
| 区分 1 | 150022910 | 腐骨摘出術（下腿）            |
| 区分 1 | 150023110 | 腐骨摘出術（膝蓋骨）           |
| 区分 1 | 150024910 | 骨腫瘍切除術（大腿）           |
| 区分 1 | 150025110 | 骨腫瘍切除術（下腿）           |
| 区分 1 | 150025510 | 骨腫瘍切除術（足）            |
| 区分 1 | 150025850 | 多発性軟骨性外骨腫摘出術（大腿）     |
| 区分 1 | 150026050 | 多発性軟骨性外骨腫摘出術（下腿）     |
| 区分 1 | 150026710 | 骨悪性腫瘍手術（大腿）          |
| 区分 1 | 150026910 | 骨悪性腫瘍手術（下腿）          |
| 区分 1 | 150027710 | 骨切り術（大腿）             |
| 区分 1 | 150027910 | 骨切り術（下腿）             |
| 区分 1 | 150028110 | 骨切り術（膝蓋骨）            |
| 区分 1 | 150028310 | 骨切り術（足）              |

| 区分   | コード       | 診療行為名            |
|------|-----------|------------------|
| 区分 1 | 150028810 | 偽関節手術（大腿）        |
| 区分 1 | 150029010 | 偽関節手術（下腿）        |
| 区分 1 | 150029210 | 偽関節手術（膝蓋骨）       |
| 区分 1 | 150029410 | 偽関節手術（足）         |
| 区分 1 | 150032010 | 関節切開術（股）         |
| 区分 1 | 150032110 | 関節切開術（膝）         |
| 区分 1 | 150035310 | 関節脱臼靱血の整復術（股）    |
| 区分 1 | 150035410 | 関節脱臼靱血の整復術（膝）    |
| 区分 1 | 150035810 | 関節脱臼靱血の整復術（足）    |
| 区分 1 | 150036310 | 関節内異物（挿入物）除去術（股） |
| 区分 1 | 150036410 | 関節内異物（挿入物）除去術（膝） |
| 区分 1 | 150036810 | 関節内異物（挿入物）除去術（足） |
| 区分 1 | 150037210 | 関節滑膜切除術（股）       |
| 区分 1 | 150037310 | 関節滑膜切除術（膝）       |
| 区分 1 | 150037710 | 関節滑膜切除術（足）       |
| 区分 1 | 150038350 | 滑液膜摘出術（膝）        |
| 区分 1 | 150038750 | 滑液膜摘出術（足）        |
| 区分 1 | 150040910 | 半月板切除術           |
| 区分 1 | 150041810 | 関節切除術（股）         |
| 区分 1 | 150041910 | 関節切除術（膝）         |
| 区分 1 | 150042310 | 関節切除術（足）         |
| 区分 1 | 150042710 | 関節内骨折靱血の手術（股）    |
| 区分 1 | 150042810 | 関節内骨折靱血の手術（膝）    |
| 区分 1 | 150043210 | 関節内骨折靱血の手術（足）    |
| 区分 1 | 150043510 | 靱帯断裂縫合術（十字靱帯）    |
| 区分 1 | 150043610 | 靱帯断裂縫合術（膝側副靱帯）   |
| 区分 1 | 150045410 | 靱血の関節授動術（膝）      |
| 区分 1 | 150045810 | 靱血の関節授動術（足）      |
| 区分 1 | 150046210 | 靱血の関節制動術（股）      |
| 区分 1 | 150046310 | 靱血の関節制動術（膝）      |
| 区分 1 | 150047110 | 靱血の関節固定術（股）      |
| 区分 1 | 150047210 | 靱血の関節固定術（膝）      |
| 区分 1 | 150047610 | 靱血の関節固定術（足）      |
| 区分 1 | 150047910 | 靱帯断裂形成手術（十字靱帯）   |
| 区分 1 | 150048010 | 靱帯断裂形成手術（膝側副靱帯）  |
| 区分 1 | 150048310 | 関節形成手術（股）        |

| 区分   | コード       | 診療行為名               |
|------|-----------|---------------------|
| 区分 1 | 150048410 | 関節形成手術（膝）           |
| 区分 1 | 150048810 | 関節形成手術（足）           |
| 区分 1 | 150049510 | 人工骨頭挿入術（股）          |
| 区分 1 | 150050010 | 人工骨頭挿入術（足）          |
| 区分 1 | 150050410 | 人工関節置換術（股）          |
| 区分 1 | 150050510 | 人工関節置換術（膝）          |
| 区分 1 | 150050910 | 人工関節置換術（足）          |
| 区分 1 | 150051610 | 四肢切断術（大腿）           |
| 区分 1 | 150051710 | 四肢切断術（下腿）           |
| 区分 1 | 150051810 | 四肢切断術（足）            |
| 区分 1 | 150052210 | 四肢関節離断術（股）          |
| 区分 1 | 150052310 | 四肢関節離断術（膝）          |
| 区分 1 | 150052610 | 四肢関節離断術（足）          |
| 区分 1 | 150052950 | 化膿性又は結核性関節炎搔爬術（股）   |
| 区分 1 | 150053050 | 化膿性又は結核性関節炎搔爬術（膝）   |
| 区分 1 | 150053350 | 化膿性又は結核性関節炎搔爬術（足）   |
| 区分 1 | 150058810 | 腸骨窩膿瘍切開術            |
| 区分 1 | 150058910 | 腸骨窩膿瘍搔爬術            |
| 区分 1 | 150059310 | 脊椎骨搔爬術              |
| 区分 1 | 150059410 | 骨盤骨搔爬術              |
| 区分 1 | 150059810 | 脊椎、骨盤脱臼観血の手術        |
| 区分 1 | 150060210 | 仙腸関節脱臼観血の手術         |
| 区分 1 | 150060310 | 恥骨結合離開観血の手術         |
| 区分 1 | 150060810 | 腸骨翼骨折観血の手術          |
| 区分 1 | 150060910 | 骨盤骨折観血の手術（腸骨翼骨折を除く） |
| 区分 1 | 150061810 | 脊椎内異物（挿入物）除去術       |
| 区分 1 | 150061910 | 骨盤内異物（挿入物）除去術       |
| 区分 1 | 150062910 | 黄色靱帯骨化症手術           |
| 区分 1 | 150063110 | 椎間板摘出術（前方摘出術）       |
| 区分 1 | 150063210 | 椎間板摘出術（後方摘出術）       |
| 区分 1 | 150063310 | 椎間板摘出術（側方摘出術）       |
| 区分 1 | 150063710 | 脊椎腫瘍切除術             |
| 区分 1 | 150063810 | 骨盤腫瘍切除術             |
| 区分 1 | 150063910 | 脊椎悪性腫瘍手術            |
| 区分 1 | 150064010 | 骨盤悪性腫瘍手術            |
| 区分 1 | 150064210 | 骨盤切断術               |

| 区分   | コード       | 診療行為名              |
|------|-----------|--------------------|
| 区分 1 | 150064410 | 脊椎披裂手術（神経処置を伴う）    |
| 区分 1 | 150064510 | 脊椎披裂手術（その他）        |
| 区分 1 | 150064610 | 脊椎骨切り術             |
| 区分 1 | 150064710 | 骨盤骨切り術             |
| 区分 1 | 150064810 | 臼蓋形成手術             |
| 区分 1 | 150066110 | 仙腸関節固定術            |
| 区分 1 | 150067210 | 試験開頭術              |
| 区分 1 | 150067350 | 穿頭術及び試験開頭術を 2 か所以上 |
| 区分 1 | 150067410 | 減圧開頭術（その他）         |
| 区分 1 | 150067510 | 脳膿瘍排膿術             |
| 区分 1 | 150067710 | 耳性頭蓋内合併症手術         |
| 区分 1 | 150067850 | 耳科的硬脳膜外膿瘍切開術       |
| 区分 1 | 150067910 | 鼻性頭蓋内合併症手術         |
| 区分 1 | 150068310 | 脳切截術（開頭）           |
| 区分 1 | 150068410 | 延髄における脊髄視床路切截術     |
| 区分 1 | 150068510 | 三叉神経節後線維切截術        |
| 区分 1 | 150068610 | 視神経管開放術            |
| 区分 1 | 150068710 | 顔面神経減圧手術（乳様突起経由）   |
| 区分 1 | 150068850 | 顔面神経管開放術           |
| 区分 1 | 150068910 | 脳神経手術（開頭）          |
| 区分 1 | 150069050 | 頭蓋内微小血管減圧術         |
| 区分 1 | 150069110 | 頭蓋骨腫瘍摘出術           |
| 区分 1 | 150069210 | 頭皮、頭蓋骨悪性腫瘍手術       |
| 区分 1 | 150069510 | 頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜外）  |
| 区分 1 | 150069610 | 頭蓋内血腫除去術（開頭）（硬膜下）  |
| 区分 1 | 150069710 | 頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）   |
| 区分 1 | 150069850 | 脳血管塞栓摘出術           |
| 区分 1 | 150069950 | 脳血管血栓摘出術           |
| 区分 1 | 150070010 | 脳内異物摘出術            |
| 区分 1 | 150070110 | 脳膿瘍全摘術             |
| 区分 1 | 150070210 | 頭蓋内腫瘍摘出術           |
| 区分 1 | 150070310 | 脳切除術               |
| 区分 1 | 150070510 | 頭蓋内腫瘍摘出術（松果体部腫瘍）   |
| 区分 1 | 150071010 | 経鼻的下垂体腫瘍摘出術        |
| 区分 1 | 150071110 | 脳動静脈奇形摘出術          |
| 区分 1 | 150071310 | 脳・脳膜脱手術            |

| 区分   | コード       | 診療行為名                            |
|------|-----------|----------------------------------|
| 区分 1 | 150072110 | 頭蓋骨形成手術（頭蓋骨のみ）                   |
| 区分 1 | 150072210 | 頭蓋骨形成手術（硬膜形成を伴う）                 |
| 区分 1 | 150072950 | 骨形成的片側椎弓切除術と髄核摘出術                |
| 区分 2 | 150121610 | 乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術（乳腺全摘術））         |
| 区分 2 | 150121710 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）       |
| 区分 2 | 150121810 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施する）        |
| 区分 2 | 150121910 | 乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術（郭清を併施する））       |
| 区分 2 | 150123810 | 胸壁悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）             |
| 区分 2 | 150123910 | 胸壁悪性腫瘍摘出術（その他）                   |
| 区分 2 | 150124150 | 胸骨悪性腫瘍摘出術（胸壁形成手術を併施）             |
| 区分 2 | 150124710 | 試験開胸術                            |
| 区分 2 | 150127350 | 試験的開胸開腹術                         |
| 区分 2 | 150128310 | 縦隔腫瘍、胸腺摘出術                       |
| 区分 2 | 150128610 | 縦隔悪性腫瘍手術（単純摘出）                   |
| 区分 2 | 150129710 | 肺切除術（楔状部分切除）                     |
| 区分 2 | 150129810 | 肺切除術（区域切除（1 肺葉に満たない））            |
| 区分 2 | 150129910 | 肺切除術（肺葉切除）                       |
| 区分 2 | 150130010 | 肺切除術（複合切除（1 肺葉を超える））             |
| 区分 2 | 150130110 | 肺切除術（1 側肺全摘）                     |
| 区分 2 | 150130650 | 肺切除と胸郭形成手術併施                     |
| 区分 2 | 150132210 | 食道縫合術（穿孔、損傷）（開胸手術）               |
| 区分 2 | 150132310 | 食道縫合術（穿孔、損傷）（開腹手術）               |
| 区分 2 | 150132410 | 食道周囲膿瘍切開誘導術（開胸手術）                |
| 区分 2 | 150132610 | 食道周囲膿瘍切開誘導術（その他）                 |
| 区分 2 | 150133810 | 食道切除再建術（頸部、胸部、腹部の操作）             |
| 区分 2 | 150133910 | 食道切除再建術（胸部、腹部の操作）                |
| 区分 2 | 150134010 | 食道切除再建術（腹部の操作）                   |
| 区分 2 | 150134110 | 食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（頸部食道）           |
| 区分 2 | 150134210 | 食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（胸部食道）           |
| 区分 2 | 150135110 | 食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作） |
| 区分 2 | 150135210 | 食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（胸部、腹部の操作）    |
| 区分 2 | 150135310 | 食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（腹部の操作）       |
| 区分 2 | 150135510 | 食道アカラシア形成手術                      |
| 区分 2 | 150136510 | 食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡）                 |
| 区分 2 | 150136610 | 横隔膜縫合術（経胸）                       |
| 区分 2 | 150136710 | 横隔膜縫合術（経腹）                       |

| 区分   | コード       | 診療行為名                            |
|------|-----------|----------------------------------|
| 区分 2 | 150136810 | 横隔膜縫合術（経胸及び経腹）                   |
| 区分 2 | 150136950 | 横隔膜レラクサチオ手術（経胸）                  |
| 区分 2 | 150137050 | 横隔膜レラクサチオ手術（経腹）                  |
| 区分 2 | 150137150 | 横隔膜レラクサチオ手術（経胸及び経腹）              |
| 区分 2 | 150137210 | 胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1 歳以上）            |
| 区分 2 | 150137310 | 胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1 歳以上）            |
| 区分 2 | 150137410 | 胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1 歳以上）        |
| 区分 2 | 150137810 | 後胸骨ヘルニア手術                        |
| 区分 2 | 150137910 | 食道裂孔ヘルニア手術（経胸）                   |
| 区分 2 | 150138010 | 食道裂孔ヘルニア手術（経腹）                   |
| 区分 2 | 150138110 | 食道裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）               |
| 区分 2 | 150138210 | 心膜縫合術                            |
| 区分 2 | 150138310 | 心筋縫合止血術（外傷性）                     |
| 区分 2 | 150138410 | 心膜切開術                            |
| 区分 2 | 150138510 | 心膜嚢胞、心膜腫瘍切除術                     |
| 区分 2 | 150160810 | 急性汎発性腹膜炎手術                       |
| 区分 2 | 150162310 | 後腹膜悪性腫瘍手術                        |
| 区分 2 | 150165210 | 胃切除術（単純切除術）                      |
| 区分 2 | 150166110 | 胃全摘術（単純全摘術）                      |
| 区分 2 | 150168010 | 胃切除術（悪性腫瘍手術）                     |
| 区分 2 | 150168110 | 胃全摘術（悪性腫瘍手術）                     |
| 区分 2 | 150169950 | 胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に局限するもの（リンパ節郭清を含む））   |
| 区分 2 | 150170050 | 胆管悪性腫瘍手術                         |
| 区分 2 | 150170310 | 食道下部迷走神経切除術（幹迷切）（胃切除術を併施）        |
| 区分 2 | 150171310 | 胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）                 |
| 区分 2 | 150171510 | 十二指腸空腸吻合術                        |
| 区分 2 | 150172410 | 胆嚢摘出術                            |
| 区分 2 | 150173110 | 胆管形成手術（胆管切除術を含む）                 |
| 区分 2 | 150176110 | 肝内結石摘出術（開腹）                      |
| 区分 2 | 150176210 | 肝嚢胞、肝膿瘍摘出術                       |
| 区分 2 | 150177210 | 肝内胆管（肝管）胃（腸）吻合術                  |
| 区分 2 | 150177310 | 肝内胆管外瘻造設術（開腹）                    |
| 区分 2 | 150177410 | 肝内胆管外瘻造設術（経皮経肝）                  |
| 区分 2 | 150178110 | 脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（脾同時切除） |
| 区分 2 | 150178210 | 脾体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）   |
| 区分 2 | 150178410 | 脾頭部腫瘍切除術（脾頭十二指腸切除術）              |

| 区分   | コード       | 診療行為名                           |
|------|-----------|---------------------------------|
| 区分 2 | 150178710 | 脾全摘術                            |
| 区分 2 | 150179010 | 脾嚢胞胃（腸）吻合術                      |
| 区分 2 | 150179110 | 脾管空腸吻合術                         |
| 区分 2 | 150179310 | 脾嚢胞外瘻造設術（開腹）                    |
| 区分 2 | 150179710 | 脾縫合術（部分切除を含む）                   |
| 区分 2 | 150179810 | 脾摘出術                            |
| 区分 2 | 150180010 | 破裂腸管縫合術                         |
| 区分 2 | 150180110 | 腸切開術                            |
| 区分 2 | 150180210 | 腸管癒着症手術                         |
| 区分 2 | 150180350 | 腸閉塞症手術（腸管癒着症手術）                 |
| 区分 2 | 150180550 | 腸閉塞症手術（腸重積症整復術）（観血的）            |
| 区分 2 | 150180650 | 腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術以外の切除術）     |
| 区分 2 | 150180750 | 腸閉塞症手術（結腸切除術）（小範囲切除）            |
| 区分 2 | 150180850 | 腸閉塞症手術（結腸切除術）（半側切除）             |
| 区分 2 | 150180950 | 腸閉塞症手術（結腸切除術）（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術） |
| 区分 2 | 150181110 | 腸重積症整復術（観血的）                    |
| 区分 2 | 150181210 | 小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）             |
| 区分 2 | 150181310 | 小腸腫瘍、小腸憩室摘出術（メッケル憩室炎手術を含む）      |
| 区分 2 | 150181710 | 結腸切除術（小範囲切除）                    |
| 区分 2 | 150181810 | 結腸切除術（結腸半側切除）                   |
| 区分 2 | 150181910 | 結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）         |
| 区分 2 | 150183110 | 結腸腫瘍摘出術（回盲部腫瘍摘出術を含む）            |
| 区分 2 | 150183510 | 結腸ポリープ切除術（開腹）                   |
| 区分 2 | 150184110 | 腸吻合術                            |
| 区分 2 | 150187110 | 直腸切除・切断術（切除術）                   |
| 区分 2 | 150187210 | 直腸切除・切断術（切断術）                   |
| 区分 2 | 150192810 | 副腎悪性腫瘍手術（1 歳以上）                 |
| 区分 2 | 150193010 | 腎破裂縫合術                          |
| 区分 2 | 150193150 | 腎破裂手術                           |
| 区分 2 | 150194610 | 腎部分切除術                          |
| 区分 2 | 150194810 | 腎嚢胞切除縮小術                        |
| 区分 2 | 150195010 | 腎摘出術                            |
| 区分 2 | 150195210 | 腎（尿管）悪性腫瘍手術（1 歳以上）              |
| 区分 2 | 150200610 | 膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿路変更を行わない））         |
| 区分 2 | 150209310 | 前立腺悪性腫瘍手術                       |
| 区分 1 | 150215110 | 子宮脱手術（膣壁形成手術及び子宮位置矯正術）          |

| 区分   | コード       | 診療行為名                       |
|------|-----------|-----------------------------|
| 区分 1 | 150215310 | 子宮脱手術（マンチェスター手術）            |
| 区分 1 | 150215410 | 子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮全摘術）（腔式、腹式） |
| 区分 1 | 150215550 | 子宮脱手術（腔壁裂創縫合術、子宮筋腫核出術（腔式））  |
| 区分 1 | 150216010 | 子宮頸管ポリープ切除術                 |
| 区分 1 | 150216510 | 子宮頸部（腔部）切除術                 |
| 区分 1 | 150216910 | 子宮筋腫摘出（核出）術（腹式）             |
| 区分 1 | 150217050 | 痕跡副角子宮手術（腹式）                |
| 区分 1 | 150217510 | 子宮全摘術                       |
| 区分 1 | 150217610 | 広靱帯内腫瘍摘出術                   |
| 区分 1 | 150217710 | 子宮悪性腫瘍手術                    |
| 区分 1 | 150219010 | 奇形子宮形成手術（ストラスマン手術）          |
| 区分 1 | 150219210 | 腔式卵巢嚢腫内容排除術                 |
| 区分 1 | 150219410 | 子宮附属器癒着剥離術（両側）（開腹）          |
| 区分 1 | 150219650 | 卵管口切開術（開腹）                  |
| 区分 1 | 150219710 | 卵巢部分切除術（開腹）                 |
| 区分 1 | 150219850 | 卵管結紮術（両側）（開腹）               |
| 区分 1 | 150220010 | 子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（開腹）          |
| 区分 1 | 150220150 | 卵管全摘除術（両側）（開腹）              |
| 区分 1 | 150220250 | 卵管腫瘍全摘除術（両側）（開腹）            |
| 区分 1 | 150220450 | 子宮卵管留血腫手術（両側）（開腹）           |
| 区分 1 | 150220710 | 子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）             |
| 区分 1 | 150220910 | 卵管形成手術（卵管・卵巢移植、卵管架橋等）       |
| 区分 1 | 150222110 | 帝王切開術（緊急帝王切開）               |
| 区分 1 | 150222210 | 帝王切開術（選択帝王切開）               |
| 区分 1 | 150222810 | 子宮破裂手術（子宮全摘除を行う）            |
| 区分 1 | 150222910 | 子宮破裂手術（子宮腔上部切断を行う）          |
| 区分 1 | 150223010 | 子宮破裂手術（その他）                 |
| 区分 1 | 150223110 | 妊娠子宮摘出術（ポロー手術）              |
| 区分 1 | 150224510 | 子宮外妊娠手術（開腹）                 |
| 区分 1 | 150243210 | 体外式脊椎固定術                    |
| 区分 1 | 150243410 | 脳動脈瘤被包術（1 箇所）               |
| 区分 1 | 150243510 | 脳動脈瘤被包術（2 箇所以上）             |
| 区分 1 | 150243610 | 脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（1 箇所）    |
| 区分 1 | 150243710 | 脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭）（2 箇所以上）  |
| 区分 1 | 150243810 | 脳動脈瘤頸部クリッピング（1 箇所）          |
| 区分 1 | 150243910 | 脳動脈瘤頸部クリッピング（2 箇所以上）        |

| 区分   | コード       | 診療行為名                              |
|------|-----------|------------------------------------|
| 区分 1 | 150245310 | 骨盤内臓全摘術                            |
| 区分 2 | 150245410 | 直腸切除・切断術（低位前方切除術）                  |
| 区分 2 | 150245510 | 副腎腫瘍摘出術（皮質腫瘍）                      |
| 区分 2 | 150245610 | 副腎腫瘍摘出術（髄質腫瘍（褐色細胞腫））               |
| 区分 2 | 150245910 | 膀胱悪性腫瘍手術（全摘（尿管 S 状結腸吻合利用で尿路変更を行う）） |
| 区分 2 | 150246010 | 膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管利用で尿路変更を行う））   |
| 区分 2 | 150246110 | 膀胱悪性腫瘍手術（全摘（代用膀胱利用で尿路変更を行う））       |
| 区分 2 | 150253610 | 食道腫瘍摘出術（開胸又は開腹手術）                  |
| 区分 2 | 150254110 | 腹腔鏡下胆嚢摘出術                          |
| 区分 1 | 150255510 | 組織拡張器による再建手術                       |
| 区分 1 | 150256010 | 人工関節再置換術（股）                        |
| 区分 1 | 150256110 | 人工関節再置換術（膝）                        |
| 区分 1 | 150256510 | 人工関節再置換術（足）                        |
| 区分 1 | 150261910 | 半月板縫合術                             |
| 区分 2 | 150262710 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））        |
| 区分 2 | 150264410 | 精巣悪性腫瘍手術                           |
| 区分 2 | 150264510 | 腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術                     |
| 区分 1 | 150264610 | 子宮附属器癒着剥離術（両側）（腹腔鏡）                |
| 区分 1 | 150264710 | 卵巣部分切除術（腹腔鏡）                       |
| 区分 1 | 150264910 | 子宮外妊娠手術（腹腔鏡）                       |
| 区分 2 | 150266610 | 胸腔鏡下肺切除術（肺嚢胞手術（楔状部分切除））            |
| 区分 1 | 150267650 | 卵管結紮術（両側）（腹腔鏡）                     |
| 区分 1 | 150267750 | 卵管口切開術（腹腔鏡）                        |
| 区分 1 | 150268050 | 卵管全摘除術（両側）（腹腔鏡）                    |
| 区分 1 | 150268150 | 卵管腫瘍全摘除術（両側）（腹腔鏡）                  |
| 区分 1 | 150268250 | 子宮卵管留血腫手術（両側）（腹腔鏡）                 |
| 区分 1 | 150270010 | 子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）                |
| 区分 2 | 150270150 | 内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術                     |
| 区分 2 | 150270750 | 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術                       |
| 区分 2 | 150270850 | 胸腔鏡下良性胸壁腫瘍手術                       |
| 区分 2 | 150271550 | 腹腔鏡下腸管癒着剥離術                        |
| 区分 2 | 150271850 | 腹腔鏡下脾摘出術                           |
| 区分 2 | 150271950 | 腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）            |
| 区分 1 | 150272250 | 腹腔鏡下腔式子宮全摘術                        |
| 区分 1 | 150273310 | 椎間板摘出術（経皮的髄核摘出術）                   |
| 区分 2 | 150274710 | 食道腫瘍摘出術（腹腔鏡下）                      |

| 区分   | コード       | 診療行為名                           |
|------|-----------|---------------------------------|
| 区分 2 | 150274810 | 内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜切除術）        |
| 区分 2 | 150275110 | 腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術                  |
| 区分 2 | 150277410 | 膵体尾部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）    |
| 区分 2 | 150277510 | 膵体尾部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）         |
| 区分 2 | 150277710 | 腹腔鏡下肝嚢胞切開術                      |
| 区分 2 | 150277810 | 腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）         |
| 区分 1 | 150278510 | 子宮筋腫摘出（核出）術（腔式）                 |
| 区分 1 | 150278610 | 子宮鏡下子宮筋腫摘出術                     |
| 区分 2 | 150279210 | 腹腔鏡下副腎摘出術                       |
| 区分 1 | 150282510 | 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方椎体固定）       |
| 区分 1 | 150282610 | 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方又は後側方固定）    |
| 区分 1 | 150282750 | 脊椎側彎症手術（固定術）                    |
| 区分 1 | 150284510 | 頭蓋内腫瘍摘出術（その他）                   |
| 区分 2 | 150288310 | 食道腫瘍摘出術（縦隔鏡下）                   |
| 区分 1 | 150291010 | 広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術                  |
| 区分 1 | 150291110 | 顕微鏡使用によるてんかん手術（焦点切除術）           |
| 区分 1 | 150291210 | 顕微鏡使用によるてんかん手術（側頭葉切除術）          |
| 区分 1 | 150291310 | 顕微鏡使用によるてんかん手術（脳梁離断術）           |
| 区分 1 | 150294110 | 腹腔鏡下子宮筋腫摘出（核出）術                 |
| 区分 2 | 150296310 | 腹腔鏡下食道アカラシア形成手術                 |
| 区分 2 | 150296910 | 膵頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）   |
| 区分 2 | 150297010 | 膵頭部腫瘍切除術（十二指腸温存膵頭切除術）           |
| 区分 2 | 150297110 | 膵頭部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）     |
| 区分 2 | 150297210 | 膵頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う腫瘍切除術）          |
| 区分 2 | 150297310 | 小腸切除術（悪性腫瘍手術）                   |
| 区分 2 | 150297410 | 結腸憩室摘出術                         |
| 区分 2 | 150297510 | 直腸切除・切断術（超低位前方切除術）（経肛門的結腸囊肛門吻合） |
| 区分 2 | 150298750 | 胸腔鏡下肺縫縮術                        |
| 区分 2 | 150299350 | 腸閉塞症手術（小腸切除術）（悪性腫瘍手術）           |
| 区分 1 | 150299850 | 腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術                   |
| 区分 1 | 150300310 | 人工関節抜去術（股）                      |
| 区分 1 | 150300410 | 人工関節抜去術（膝）                      |
| 区分 2 | 150303110 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））   |
| 区分 1 | 150308510 | 股関節周囲筋腱離断術（変形性股関節症）             |
| 区分 1 | 150308610 | 四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）                |
| 区分 1 | 150308710 | 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術（躯幹）               |

| 区分   | コード       | 診療行為名                           |
|------|-----------|---------------------------------|
| 区分 1 | 150308810 | 大腿骨頭回転骨切り術                      |
| 区分 1 | 150308910 | 大腿骨近位部（転子間を含む）骨切り術              |
| 区分 1 | 150309510 | 関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（膝）            |
| 区分 1 | 150309910 | 関節鏡下関節内異物（挿入物）除去術（足）            |
| 区分 1 | 150310310 | 関節鏡下関節滑膜切除術（股）                  |
| 区分 1 | 150310410 | 関節鏡下関節滑膜切除術（膝）                  |
| 区分 1 | 150310810 | 関節鏡下関節滑膜切除術（足）                  |
| 区分 1 | 150311210 | 関節鏡下滑液膜摘出術（股）                   |
| 区分 1 | 150311310 | 関節鏡下滑液膜摘出術（膝）                   |
| 区分 1 | 150313110 | 関節鏡下半月板切除術                      |
| 区分 1 | 150313210 | 関節鏡下半月板縫合術                      |
| 区分 1 | 150313310 | 関節鏡下靱帯断裂縫合術（十字靱帯）               |
| 区分 1 | 150313710 | 関節鏡下靱帯断裂形成手術（十字靱帯）              |
| 区分 1 | 150313810 | 関節鏡下靱帯断裂形成手術（膝側副靱帯）             |
| 区分 1 | 150314210 | 内視鏡下椎弓切除術                       |
| 区分 1 | 150314410 | 内視鏡下椎間板摘出（切除）術（後方摘出術）           |
| 区分 1 | 150314510 | 寛骨臼移動術                          |
| 区分 1 | 150314610 | 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（後方椎体固定）       |
| 区分 1 | 150314710 | 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（前方後方同時固定）     |
| 区分 1 | 150314810 | 内視鏡下脊椎固定術（胸椎又は腰椎前方固定）           |
| 区分 2 | 150316510 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術（腋窩部郭清を伴わない））     |
| 区分 2 | 150317110 | 肺切除術（気管支形成を伴う肺切除）               |
| 区分 2 | 150317710 | 食道腫瘍摘出術（胸腔鏡下）                   |
| 区分 2 | 150323410 | 腹腔鏡下胃切除術（単純切除術）                 |
| 区分 2 | 150323510 | 腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）                |
| 区分 2 | 150323710 | 腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術）                |
| 区分 2 | 150324010 | 胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（葉以上）を伴う）           |
| 区分 2 | 150324110 | 胆嚢悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除を伴う）           |
| 区分 2 | 150324210 | 胆嚢悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴う） |
| 区分 2 | 150324910 | 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術                   |
| 区分 2 | 150325210 | 腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）               |
| 区分 2 | 150325710 | 腹腔鏡下腎部分切除術                      |
| 区分 2 | 150325810 | 腹腔鏡下腎嚢胞切除縮小術                    |
| 区分 2 | 150325910 | 腹腔鏡下腎摘出術                        |
| 区分 2 | 150326010 | 腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術                 |
| 区分 2 | 150326110 | 腹腔鏡下腎盂形成手術                      |

| 区分   | コード       | 診療行為名                          |
|------|-----------|--------------------------------|
| 区分 2 | 150326510 | 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術                  |
| 区分 1 | 150327210 | 腹腔鏡下広靱帯内腫瘍摘出術                  |
| 区分 2 | 150329510 | 胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸）（1 歳未満）          |
| 区分 2 | 150329610 | 胸腹裂孔ヘルニア手術（経腹）（1 歳未満）          |
| 区分 2 | 150329710 | 胸腹裂孔ヘルニア手術（経胸及び経腹）（1 歳未満）      |
| 区分 1 | 150334810 | 多発性骨腫摘出術（下腿）                   |
| 区分 1 | 150335610 | 減圧開頭術（キアリ奇形、脊髄空洞症）             |
| 区分 1 | 150335810 | 頭蓋骨形成手術（骨移動を伴う）                |
| 区分 2 | 150336810 | 内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）     |
| 区分 2 | 150337210 | 噴門側胃切除術（単純切除術）                 |
| 区分 2 | 150337310 | 噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）               |
| 区分 2 | 150337710 | 腹腔鏡下結腸切除術（全切除、亜全切除）            |
| 区分 2 | 150337810 | 腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）          |
| 区分 2 | 150337910 | 腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）              |
| 区分 2 | 150338110 | 腹腔鏡下小切開副腎摘出術                   |
| 区分 2 | 150338310 | 腹腔鏡下小切開腎摘出術                    |
| 区分 2 | 150338410 | 腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術             |
| 区分 2 | 150338810 | 腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術               |
| 区分 1 | 150343910 | 脊椎側彎症手術（矯正術）（初回挿入）             |
| 区分 1 | 150344010 | 脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）              |
| 区分 1 | 150344110 | 脊椎側彎症手術（矯正術）（伸展術）              |
| 区分 1 | 150344250 | 脊椎側彎症手術（矯正術）（交換術）（胸郭変形矯正用材料使用） |
| 区分 2 | 150346310 | 食道空置バイパス作成術                    |
| 区分 2 | 150347910 | 肝門部胆管悪性腫瘍手術（血行再建なし）            |
| 区分 2 | 150348110 | 腹腔鏡下肝切除術（外側区域切除）               |
| 区分 2 | 150348410 | 臍体尾部腫瘍切除術（臍尾部切除術・腫瘍摘出術含む）（脾温存） |
| 区分 1 | 150349210 | 帝王切開術（前置胎盤を合併又は 3 2 週未満の早産）    |
| 区分 1 | 150352210 | 観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（大腿）       |
| 区分 1 | 150352410 | 観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（下腿）       |
| 区分 1 | 150352610 | 観血的整復固定術（インプラント周囲骨折）（足）        |
| 区分 1 | 150353310 | 関節鏡下関節内骨折観血的手術（股）              |
| 区分 1 | 150353410 | 関節鏡下関節内骨折観血的手術（膝）              |
| 区分 1 | 150353810 | 関節鏡下関節内骨折観血的手術（足）              |
| 区分 1 | 150354110 | 関節鏡下靱帯断裂形成手術（内側膝蓋大腿靱帯）         |
| 区分 1 | 150354810 | 腫瘍脊椎骨全摘術                       |
| 区分 1 | 150354910 | 脊椎制動術                          |

| 区分   | コード       | 診療行為名                          |
|------|-----------|--------------------------------|
| 区分 1 | 150355010 | 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓切除）        |
| 区分 1 | 150355110 | 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（椎弓形成）        |
| 区分 1 | 150355210 | 経皮的椎体形成術                       |
| 区分 2 | 150356910 | 胸腔鏡下試験開胸術                      |
| 区分 2 | 150357110 | 膿胸腔有茎大網充填術                     |
| 区分 2 | 150357210 | 胸腔鏡下胸管結紮術（乳糜胸手術）               |
| 区分 2 | 150357310 | 胸腔鏡下縦隔切開術                      |
| 区分 2 | 150357410 | 縦隔悪性腫瘍手術（広汎摘出）                 |
| 区分 2 | 150357710 | 胸腔鏡下肺切除術（その他）                  |
| 区分 2 | 150357810 | 肺悪性腫瘍手術（部分切除）                  |
| 区分 2 | 150357910 | 肺悪性腫瘍手術（区域切除）                  |
| 区分 2 | 150358010 | 肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）       |
| 区分 2 | 150358110 | 肺悪性腫瘍手術（肺全摘）                   |
| 区分 2 | 150358210 | 肺悪性腫瘍手術（隣接臓器合併切除を伴う肺切除）        |
| 区分 2 | 150358310 | 肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）           |
| 区分 2 | 150358410 | 肺悪性腫瘍手術（気管分岐部切除を伴う肺切除）         |
| 区分 2 | 150358510 | 肺悪性腫瘍手術（気管分岐部再建を伴う肺切除）         |
| 区分 2 | 150358610 | 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）              |
| 区分 2 | 150358710 | 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）              |
| 区分 2 | 150358810 | 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超える）   |
| 区分 2 | 150359110 | 胸腔鏡下（腹腔鏡下を含む）横隔膜縫合術            |
| 区分 2 | 150361110 | 腹腔鏡下骨盤内リンパ節群郭清術                |
| 区分 2 | 150361610 | 腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術                   |
| 区分 2 | 150361710 | 腹腔鏡下後腹膜腫瘍摘出術                   |
| 区分 2 | 150362010 | 腹腔鏡下胃腸吻合術                      |
| 区分 2 | 150362210 | 胆嚢悪性腫瘍手術（肝切除（亜区域切除以上））         |
| 区分 2 | 150362610 | 肝切除術（部分切除）（1 歳以上）              |
| 区分 2 | 150362710 | 肝切除術（亜区域切除）（1 歳以上）             |
| 区分 2 | 150362810 | 肝切除術（外側区域切除）（1 歳以上）            |
| 区分 2 | 150362910 | 肝切除術（1 区域切除（外側区域切除を除く））（1 歳以上） |
| 区分 2 | 150363010 | 肝切除術（2 区域切除）（1 歳以上）            |
| 区分 2 | 150363110 | 肝切除術（3 区域切除以上）（1 歳以上）          |
| 区分 2 | 150363210 | 肝切除術（2 区域切除以上で血行再建）（1 歳以上）     |
| 区分 2 | 150363510 | 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術                  |
| 区分 2 | 150363710 | 腹腔鏡下小腸切除術（悪性腫瘍手術）              |
| 区分 2 | 150363810 | 全結腸・直腸切除嚢肛門吻合術                 |

| 区分   | コード       | 診療行為名                     |
|------|-----------|---------------------------|
| 区分 2 | 150364210 | 腹腔鏡下腸閉鎖症手術                |
| 区分 2 | 150364610 | 腹腔鏡下直腸脱手術                 |
| 区分 2 | 150364710 | 腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術              |
| 区分 2 | 150365010 | 経尿道的尿路結石除去術（レーザー）         |
| 区分 2 | 150365110 | 膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用） |
| 区分 2 | 150365210 | 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術              |
| 区分 2 | 150365310 | 腹腔鏡下膀胱内手術                 |
| 区分 2 | 150365710 | 経尿道的レーザー前立腺切除術（ホルミウムレーザー） |
| 区分 1 | 150366010 | 腹腔鏡下子宮腔上部切断術              |
| 区分 1 | 150366110 | 腹腔鏡下卵管形成術                 |
| 区分 2 | 150366910 | 腹腔鏡下食道静脈瘤手術（胃上部血行遮断術）     |

2. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 分母のうち、EF ファイルを参照し、当該入院期間中に以下のいずれかに該当する患者を抽出し、分子とする。
2. (ア) 以下の算定があった患者

| レセ電コード    | 名称          | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| 113006910 | 肺血栓塞栓症予防管理料 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. (イ) 抗凝固療法〔以下の薬価基準コードの薬剤が用いられたもの〕が行われた患者

| 薬価基準コード   | 名称                     |
|-----------|------------------------|
| 3332\$    | ワルファリンカリウム             |
| 3334400\$ | ヘパリンカルシウム              |
| 3334401\$ | ヘパリンナトリウム              |
| 3334406\$ | エノキサパリンナトリウム           |
| 3339001\$ | ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩 |
| 3339002\$ | エドキサバントシル酸塩水和物         |
| 3339003\$ | リバーロキサバン               |
| 3339004\$ | アピキサバン                 |
| 3339400\$ | フォンダパリヌクスナトリウム         |

### その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

## リスク調整因子の条件

## 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

パーセント

## 結果提示時の並び順

降順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 手術の一覧は、独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3 計測マニュアルおよび Ver.3.1 を引用している。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3 計測マニュアル
2. The Joint Commission; Specifications Manual for National Hospital Inpatient Quality Measures, Version 4.3a SCIP-VTE-2 Surgery Patients Who Received Appropriate Venous Thromboembolism Prophylaxis Within 24 Hours Prior to Surgery to 24 Hours After Surgery([http://www.jointcommission.org/assets/1/6/NHQM\\_v4\\_3a\\_PDF\\_10\\_2\\_2013.zip](http://www.jointcommission.org/assets/1/6/NHQM_v4_3a_PDF_10_2_2013.zip))
3. 独立行政法人 国立病院機構 臨床評価指標 Ver.3.1 計測マニュアル

## 基本情報

### 指標番号

2124\_2

### 名称

広域抗菌薬使用までの培養検査実施率

### 分母

広域抗菌薬投与を開始した入院症例数

### 分子

分母のうち投与開始初日までに培養検査を実施した人数

### 指標群

感染症

### 意義

広域抗菌薬を使用する際の望ましいプラクティス

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 入院中の広域抗菌薬(下記) に該当するものを検索する。また最初の算定日を同定する。

| 名称         | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名        | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|------------|-------------|------------|------|------|------|------|------|------|
| 抗 MRSA 注射薬 | 6113400     | バンコマイシン塩酸塩 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬 | 6119400     | アルベカシン硫酸塩  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬 | 6119401     | テイコプラニン    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬 | 6119402     | ダプトマイシン    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 名称          | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名                  | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|-------------|----------------------|------|------|------|------|------|------|
| 薬           |             |                      |      |      |      |      |      |      |
| カルバペネム系注射薬  | 6139400     | メロペネム水和物             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139401     | ビアペネム                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139402     | ドリペネム水和物             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139501     | イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139503     | パニペネム・ベタミプロン         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ニューキノロン系注射薬 | 6241400     | シプロフロキサシン            | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ニューキノロン系注射薬 | 6241401     | パズフロキサシンメシル酸塩        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ニューキノロン系注射薬 | 6241402     | レボフロキサシン水和物          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬  | 6249401     | リネゾリド                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬  | 6249402     | テジゾリドリン酸エステル         |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 経口薬  | 6249002     | リネゾリド                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 経口薬  | 6249003     | テジゾリドリン酸エステル         |      |      |      |      | ○    | ○    |

## 分子の定義

- 入院日より分母で同定した広域抗菌薬の最初の算定日までに、下記の培養の実施があれば分子 1 とする。

| 診療行為コード   | 基本漢字名称            | コード    | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------------|--------|------|------|------|------|------|------|
| 160058210 | 細菌培養同定検査（口腔からの検体） | D018_1 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160144410 | 細菌培養同定検査（気道からの検体） | D018_1 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160144510 | 細菌培養同定検査（呼吸器から    | D018_1 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | 基本漢字名称                | コード    | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-----------------------|--------|------|------|------|------|------|------|
|           | の検体)                  |        |      |      |      |      |      |      |
| 160058310 | 細菌培養同定検査（消化管からの検体）    | D018_2 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160058610 | 細菌培養同定検査（血液）          | D018_3 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160144710 | 細菌培養同定検査（穿刺液）         | D018_3 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160058410 | 細菌培養同定検査（泌尿器からの検体）    | D018_4 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160144610 | 細菌培養同定検査（生殖器からの検体）    | D018_4 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160058710 | 細菌培養同定検査（その他の部位からの検体） | D018_5 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160058810 | 細菌培養同定検査（簡易培養）        | D018_6 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. バンコマイシンの内服薬は腸炎への利用であり、用途が異なり分母から削除した
2. 本定義では、広域抗菌薬を「抗 MRSA 薬（内服、注射、バンコマイシン内服は除く）、カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬」としている（2018 年度の定義の見直し時）
3. 外来や紹介元での検査結果をもとに治療している場合、指標値が低くなる
4. スクリーニング検査などを実施している場合、指標値が高くなる

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス - 日本感染症学会  
[http://www.kansensho.or.jp/guidelines/pdf/1708\\_ASP\\_guidance.pdf](http://www.kansensho.or.jp/guidelines/pdf/1708_ASP_guidance.pdf)

## 基本情報

### 指標番号

2124

### 名称

広域抗菌薬使用時の血液培養実施率

### 分母

広域抗菌薬投与を開始した入院症例数

### 分子

分母のうち投与開始初日に血液培養検査を実施した人数

### 指標群

感染症

### 意義

広域抗菌薬を使用する際の望ましいプラクティス

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 入院中の広域抗菌薬(下記) に該当するものを検索する。また最初の算定日を同定する。

| 名称         | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名        | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|------------|-------------|------------|------|------|------|------|------|------|
| 抗 MRSA 注射薬 | 6113400     | バンコマイシン塩酸塩 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬 | 6119400     | アルベカシン硫酸塩  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬 | 6119401     | テイコプラニン    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬 | 6119402     | ダプトマイシン    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 名称          | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名                  | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|-------------|----------------------|------|------|------|------|------|------|
| 薬           |             |                      |      |      |      |      |      |      |
| カルバペネム系注射薬  | 6139400     | メロペネム水和物             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139401     | ビアペネム                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139402     | ドリペネム水和物             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139501     | イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139503     | パニペネム・ベタミプロン         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ニューキノロン系注射薬 | 6241400     | シプロフロキサシン            | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ニューキノロン系注射薬 | 6241401     | パズフロキサシンメシル酸塩        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ニューキノロン系注射薬 | 6241402     | レボフロキサシン水和物          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬  | 6249401     | リネゾリド                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬  | 6249402     | テジゾリドリン酸エステル         |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 経口薬  | 6249002     | リネゾリド                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 経口薬  | 6249003     | テジゾリドリン酸エステル         |      |      |      |      | ○    | ○    |

## 分子の定義

1. 分母で同定した広域抗菌薬の最初の算定日に、血液培養の実施があれば分子 1 とする。

| 診療行為コード   | 基本漢字名称       | コード    | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------|--------|------|------|------|------|------|------|
| 160058610 | 細菌培養同定検査（血液） | D018_3 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

## リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. バンコマイシンの内服薬は腸炎への利用であり、用途が異なり分母から削除した
2. 本定義では、広域抗菌薬を「抗 MRSA 薬（内服、注射、バンコマイシン内服は除く）、カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬」としている（2018 年度の定義の見直し時）但し、抗 MRSA 薬の外用薬及び、バンコマイシン塩酸塩内服薬は除く。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス - 日本感染症学会  
[http://www.kansensho.or.jp/guidelines/pdf/1708\\_ASP\\_guidance.pdf](http://www.kansensho.or.jp/guidelines/pdf/1708_ASP_guidance.pdf)

## 基本情報

### 指標番号

2126

### 名称

胆管炎・急性胆嚢炎に対する入院 2 日以内の超音波検査実施割合

### 分母

胆管炎・急性胆嚢炎で入院した症例

### 分子

分母のうち、入院日から 2 日以内に超音波検査が実施された症例

### 指標群

消化器系

### 意義

急性胆嚢炎の治療方針の決定のため重要である（プロセス指標）

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、胆管炎もしくは急性胆嚢炎で入院した症例。入院の契機となった傷病名に下記の ICD-10 コードが該当すれば対象とする

| CD-10 コード | 病名                   |
|-----------|----------------------|
| K800      | 急性胆のう<嚢>炎を伴う胆のう<嚢>結石 |
| K810      | 急性胆のう<嚢>炎            |
| K830      | 胆管炎                  |

## 分子の定義

1. 入院日から 2 日以内に腹部超音波検査を受けた症例。EF ファイルで入院日または入院日翌日に下記が請求されている症例

| レセ電コード    | 手術名                           | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 160072210 | 超音波検査（断層撮影法）（胸腹部）             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160072110 | 超音波検査（Aモード法）                  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160072450 | 超音波検査（心臓超音波検査以外）（断層撮影法とMモード法） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 160072750 | 超音波検査（心臓超音波検査以外）（Mモード法）       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

## 薬剤一覧の出力

いいえ

## リスク調整因子の条件

## 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

パーセント

## 結果提示時の並び順

降順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 急性胆嚢炎において、超音波検査は重症度の評価、診療方針の決定に必須の検査とされている。
2. 胆管炎は急性胆管炎症例に限定したいが、ICD10 コードや病名からの絞りこみが困難のため、慢性胆管炎症例が一部含まれる。

## 参考資料

## 参考値

**参考資料**

1. 科学的根拠に基づく急性胆管炎・胆嚢炎の診療ガイドライン. 急性胆道炎の診療ガイドライン作成出版委員会 編 2005
2. TG18 新基準掲載-急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン 2018 急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン改訂出版委員会

## 基本情報

### 指標番号

2127\_1

### 名称

75 歳以上の入院症例でトリアゾラムが処方された割合

### 分母

75 歳以上の入院症例

### 分子

トリアゾラムが処方された症例

### 指標群

精神科

### 意義

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 75 歳以上の入院症例
2. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 分母のうちトリアゾラムが処方された症例

| 薬価基準コード 7 桁 | 成分名    | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|--------|------|------|------|------|------|------|
| 1124007     | トリアゾラム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

昇順

### 測定上の限界・解釈上の注意

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015.(編)日本老年医学会、日本医療研究開発機構研究費・高齢者の薬物治療の安全性に関する研究研究班. メジカルビュー社

## 基本情報

### 指標番号

2127\_2

### 名称

75 歳以上の入院症例で長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合

### 分母

75 歳以上の入院症例

### 分子

長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された症例

### 指標群

精神科

### 意義

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 75 歳以上の入院症例
2. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 分母のうち長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された症例

| 成分名       | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| フルラゼパム塩酸塩 | 1124002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ハロキサゾラム   | 1124005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジアゼパム     | 1124017     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

昇順

### 測定上の限界・解釈上の注意

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015.(編)日本老年医学会、日本医療研究開発機構研究費・高齢者の薬物治療の安全性に関する研究研究班. メジカルビュー社
2. 薬剤の分類についての参考 Toshiya Inada et al. Psychotropic dose equivalence in Japan. Psychiatry Clin Neurosci. 2015; 69(8):440-7. Doi: 10.1111/pcn.12275. および 治療薬マニュアル 2020
3. 2021 年に本指標の分子について、「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015」を参照して再整理した。

## 基本情報

### 指標番号

2127\_3

### 名称

75 歳以上の入院症例でトリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合

### 分母

75 歳以上の入院症例

### 分子

トリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された症例

### 指標群

精神科

### 意義

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 75 歳以上の入院症例
2. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 分母のうちトリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された症例

| 薬価基準コード 7 桁 | 成分名      | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 1124001     | エスタゾラム   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1124003     | ニトラゼパム   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1124008     | フルニトラゼパム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1124030     | クアゼパム    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1124007     | トリアゾラム   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

昇順

### 測定上の限界・解釈上の注意

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015.(編)日本老年医学会、日本医療研究開発機構研究費・高齢者の薬物治療の安全性に関する研究研究班. メジカルビュー社
2. 薬剤の分類について下記参照（改訂に際しては、同著者、日本精神神経学会/日本精神神経薬理学会による最新情報を随時参照のこと） Toshiya Inada et al. Psychotropic dose equivalence in Japan. Psychiatry Clin Neurosci. 2015; 69(8):440-7. Doi: 10.1111/pcn.12275.

## 基本情報

### 指標番号

2128

### 名称

経口第 3 世代セフェム処方が経口抗菌薬全体に占める割合

### 分母

外来にて経口抗菌薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く）の含まれる処方が実施された人日

### 分子

外来にて経口第 3 世代セフェム処方の含まれる処方が実施された人日

### 指標群

感染症

### 意義

経口第 3 世代セフェムの削減は、薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの目標項目である。2020 年までに（2013 年比）50%削減が成果指標として掲げられている。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

外来 EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 外来 EF ファイルより、経口抗菌薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く）の含まれる処方が実施された人日を算出する。1 日に複数の種類（例：セフェム系経口抗菌薬とカルバペネム系経口抗菌薬）の処方や複数回の処方が見られた場合も 1 人日とする。

| 成分名                   | 投与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------------------|----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| ベンジルペニシリンベンザチン<br>水和物 | 内服<br>薬  | 6111002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クリンダマイシン塩酸塩           | 内服<br>薬  | 6112001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                | 投 与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|--------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| リンコマイシン塩酸塩水和物      | 内 服<br>薬  | 6112003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| バンコマイシン塩酸塩         | 内 服<br>薬  | 6113001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ピブメシリナム塩酸塩         | 内 服<br>薬  | 6121001     | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| カナマイシンー硫酸塩         | 内 服<br>薬  | 6123003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム | 内 服<br>薬  | 6125001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ポリミキシン B 硫酸塩       | 内 服<br>薬  | 6126001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフチブテン水和物          | 内 服<br>薬  | 6129001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アモキシシリン水和物         | 内 服<br>薬  | 6131001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アンピシリン水和物          | 内 服<br>薬  | 6131002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| バカンピシリン塩酸塩         | 内 服<br>薬  | 6131004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                    | 内 服<br>薬  | 6131005     | ○    |      |      |      |      |      |
| スルタミシリントシル酸塩水和物    | 内 服<br>薬  | 6131008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                    | 内 服<br>薬  | 6132001     | ○    |      |      |      |      |      |
| セファレキシン            | 内 服<br>薬  | 6132002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セファクロル             | 内 服<br>薬  | 6132005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフロキサジン水和物         | 内 服<br>薬  | 6132006     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                    | 内 服<br>薬  | 6132007     | ○    |      |      |      |      |      |
| セフィキシム             | 内 服       | 6132008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                       | 投 与<br>経路 | 薬価基準コー<br>ド 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------------------|-----------|-----------------|------|------|------|------|------|------|
|                           | 薬         |                 |      |      |      |      |      |      |
| セフテラム ピボキシル               | 内 服<br>薬  | 6132009         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフロキシム アキセチル              | 内 服<br>薬  | 6132010         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフポドキシム プロキセチル            | 内 服<br>薬  | 6132011         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォチアム ヘキセチル塩酸<br>塩       | 内 服<br>薬  | 6132012         | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| セフジニル                     | 内 服<br>薬  | 6132013         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフジトレン ピボキシル              | 内 服<br>薬  | 6132015         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフカペン ピボキシル塩酸塩<br>水和物     | 内 服<br>薬  | 6132016         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスホマイシンカルシウム水和<br>物       | 内 服<br>薬  | 6135001         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ファロペネムナトリウム水和物            | 内 服<br>薬  | 6139001         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| テビペネム ピボキシル               | 内 服<br>薬  | 6139002         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アモキシシリン水和物・クラブ<br>ラン酸カリウム | 内 服<br>薬  | 6139100         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシンエチルコハク<br>酸エステル   | 内 服<br>薬  | 6141001         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシン                  | 内 服<br>薬  | 6141002         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシンステアリン酸<br>塩       | 内 服<br>薬  | 6141004         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スピラマイシン酢酸エステル             | 内 服<br>薬  | 6142001         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジョサマイシン                   | 内 服<br>薬  | 6145001         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジョサマイシンプロピオン酸エ<br>ステル     | 内 服<br>薬  | 6145002         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                       | 投 与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
|                           | 内 服<br>薬  | 6146001     | ○    |      |      |      |      |      |
|                           | 内 服<br>薬  | 6146002     | ○    |      |      |      |      |      |
| ロキタマイシン                   | 内 服<br>薬  | 6149001     | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| ロキシスロマイシン                 | 内 服<br>薬  | 6149002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クラリスロマイシン                 | 内 服<br>薬  | 6149003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アジスロマイシン水和物               | 内 服<br>薬  | 6149004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                           | 内 服<br>薬  | 6149005     | ○    |      |      |      |      |      |
| クロラムフェニコール                | 内 服<br>薬  | 6151001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                           | 内 服<br>薬  | 6151002     | ○    |      |      |      |      |      |
| テトラサイクリン塩酸塩               | 内 服<br>薬  | 6152002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩        | 内 服<br>薬  | 6152003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ドキシサイクリン塩酸塩水和物            | 内 服<br>薬  | 6152004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ミノサイクリン塩酸塩                | 内 服<br>薬  | 6152005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物 | 内 服<br>薬  | 6191001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リファキシミン                   | 内 服<br>薬  | 6199001     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| スルファメトキサゾール               | 内 服<br>薬  | 6212002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルファジメトキシ                 | 内 服<br>薬  | 6213001     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| サラゾスルファピリジン               | 内 服       | 6219001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名              | 投 与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
|                  | 薬         |             |      |      |      |      |      |      |
| スルファメチゾール        | 内 服<br>薬  | 6219002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| デラマニド            | 内 服<br>薬  | 6222006     |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ナリジクス酸           | 内 服<br>薬  | 6241001     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| ピペミド酸水和物         | 内 服<br>薬  | 6241002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                  | 内 服<br>薬  | 6241003     | ○    |      |      |      |      |      |
| シノキサシン           | 内 服<br>薬  | 6241004     | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| ノルフロキサシン         | 内 服<br>薬  | 6241005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| オフロキサシン          | 内 服<br>薬  | 6241006     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                  | 内 服<br>薬  | 6241007     | ○    |      |      |      |      |      |
| シプロフロキサシン塩酸塩     | 内 服<br>薬  | 6241008     |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 塩酸シプロフロキサシン      | 内 服<br>薬  | 6241008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 塩酸ロメフロキサシン       | 内 服<br>薬  | 6241009     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| トスフロキサシントシル酸塩水和物 | 内 服<br>薬  | 6241010     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                  | 内 服<br>薬  | 6241011     | ○    |      |      |      |      |      |
| レボフロキサシン水和物      | 内 服<br>薬  | 6241013     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| プルリフロキサシン        | 内 服<br>薬  | 6241015     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| モキシフロキサシン塩酸塩     | 内 服<br>薬  | 6241016     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                     | 投 与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| メシル酸ガレノキサシン水和物          | 内 服<br>薬  | 6241017     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| シタフロキサシン水和物             | 内 服<br>薬  | 6241018     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リネゾリド                   | 内 服<br>薬  | 6249002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルファメトキサゾール・トリ<br>メトプリム | 内 服<br>薬  | 6290100     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

2. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 外来 EF ファイルより、経口第 3 世代セフェムの含まれる処方が実施された人日を算出する。  
1 日に複数の薬剤処方や複数回の処方が見られた場合も 1 人日で集約する。

| 成分名                    | 投 与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|------------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| セフィキシム                 | 内服薬       | 6132008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフテラム ピボキシル            | 内服薬       | 6132009     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフポドキシム プロキセ<br>チル     | 内服薬       | 6132011     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフジニル                  | 内服薬       | 6132013     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフジトレン ピボキシル           | 内服薬       | 6132015     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフカベン ピボキシル 塩<br>酸塩水和物 | 内服薬       | 6132016     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

日

## 結果提示時の並び順

昇順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 投与量が十分であれば適正使用となることもあるが、ごく稀と考えられ、基本的に目標値はゼロである。

## 参考資料

### 参考値

1. 経口抗菌薬全体の 22%が第 3 世代セフェム 2)

### 参考資料

1. 薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000120769.pdf>
2. 藤田基資. 5 年で 50%？ 経口セフェムは削減できるか？. 小児感染免疫. 2016;28(4):302-310. <http://www.jspid.jp/journal/full/02804/028040302.pdf>.

## 基本情報

### 指標番号

2129

### 名称

経口カルバペネム処方数が経口抗菌薬全体に占める割合

### 分母

外来にて経口抗菌薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く）の含まれる処方が実施された人日

### 分子

外来にて経口カルバペネム処方の含まれる処方が実施された人日

### 指標群

感染症

### 意義

経口カルバペネム系抗菌薬の削減は、薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの目標項目である。  
2020 年までに（2013 年比）50%削減が成果指標として掲げられている。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

外来 EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 外来 EF ファイルより、経口抗菌薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く）の含まれる処方が実施された人日を算出する。1 日に複数の種類（例：セフェム系経口抗菌薬とカルバペネム系経口抗菌薬）の処方や複数回の処方が見られた場合も 1 人日とする。

| 成分名                   | 投 与<br>経路 | 薬価基準コー<br>ド 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------------------|-----------|-----------------|------|------|------|------|------|------|
| ベンジルペニシリンベンザチン<br>水和物 | 内 服<br>薬  | 6111002         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クリンダマイシン塩酸塩           | 内 服<br>薬  | 6112001         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                | 投 与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|--------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| リンコマイシン塩酸塩水和物      | 内 服<br>薬  | 6112003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| バンコマイシン塩酸塩         | 内 服<br>薬  | 6113001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ピブメシリナム塩酸塩         | 内 服<br>薬  | 6121001     | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| カナマイシンー硫酸塩         | 内 服<br>薬  | 6123003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム | 内 服<br>薬  | 6125001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ポリミキシン B 硫酸塩       | 内 服<br>薬  | 6126001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフチブテン水和物          | 内 服<br>薬  | 6129001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アモキシシリン水和物         | 内 服<br>薬  | 6131001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アンピシリン水和物          | 内 服<br>薬  | 6131002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| バカンピシリン塩酸塩         | 内 服<br>薬  | 6131004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                    | 内 服<br>薬  | 6131005     | ○    |      |      |      |      |      |
| スルタミシリントシル酸塩水和物    | 内 服<br>薬  | 6131008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                    | 内 服<br>薬  | 6132001     | ○    |      |      |      |      |      |
| セファレキシン            | 内 服<br>薬  | 6132002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セファクロル             | 内 服<br>薬  | 6132005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフロキサジン水和物         | 内 服<br>薬  | 6132006     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                    | 内 服<br>薬  | 6132007     | ○    |      |      |      |      |      |
| セフィキシム             | 内 服       | 6132008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                   | 投 与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
|                       | 薬         |             |      |      |      |      |      |      |
| セフテラム ピボキシル           | 内 服<br>薬  | 6132009     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフロキシム アキセチル          | 内 服<br>薬  | 6132010     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフポドキシム プロキセチル        | 内 服<br>薬  | 6132011     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォチアム ヘキセチル塩酸塩       | 内 服<br>薬  | 6132012     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| セフジニル                 | 内 服<br>薬  | 6132013     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフジトレン ピボキシル          | 内 服<br>薬  | 6132015     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物     | 内 服<br>薬  | 6132016     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスホマイシンカルシウム水和物       | 内 服<br>薬  | 6135001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ファロペネムナトリウム水和物        | 内 服<br>薬  | 6139001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| テビペネム ピボキシル           | 内 服<br>薬  | 6139002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム | 内 服<br>薬  | 6139100     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシンエチルコハク酸エステル   | 内 服<br>薬  | 6141001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシン              | 内 服<br>薬  | 6141002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシンステアリン酸塩       | 内 服<br>薬  | 6141004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スピラマイシン酢酸エステル         | 内 服<br>薬  | 6142001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジョサマイシン               | 内 服<br>薬  | 6145001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジョサマイシンプロピオン酸エステル     | 内 服<br>薬  | 6145002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                       | 投 与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
|                           | 内 服<br>薬  | 6146001     | ○    |      |      |      |      |      |
|                           | 内 服<br>薬  | 6146002     | ○    |      |      |      |      |      |
| ロキタマイシン                   | 内 服<br>薬  | 6149001     | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| ロキシスロマイシン                 | 内 服<br>薬  | 6149002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クラリスロマイシン                 | 内 服<br>薬  | 6149003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アジスロマイシン水和物               | 内 服<br>薬  | 6149004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                           | 内 服<br>薬  | 6149005     | ○    |      |      |      |      |      |
| クロラムフェニコール                | 内 服<br>薬  | 6151001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                           | 内 服<br>薬  | 6151002     | ○    |      |      |      |      |      |
| テトラサイクリン塩酸塩               | 内 服<br>薬  | 6152002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩        | 内 服<br>薬  | 6152003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ドキシサイクリン塩酸塩水和物            | 内 服<br>薬  | 6152004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ミノサイクリン塩酸塩                | 内 服<br>薬  | 6152005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物 | 内 服<br>薬  | 6191001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リファキシミン                   | 内 服<br>薬  | 6199001     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| スルファメトキサゾール               | 内 服<br>薬  | 6212002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルファジメトキシ                 | 内 服<br>薬  | 6213001     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| サラゾスルファピリジン               | 内 服       | 6219001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名              | 投 与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
|                  | 薬         |             |      |      |      |      |      |      |
| スルファメチゾール        | 内 服<br>薬  | 6219002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| デラマニド            | 内 服<br>薬  | 6222006     |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ナリジクス酸           | 内 服<br>薬  | 6241001     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| ピペミド酸水和物         | 内 服<br>薬  | 6241002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                  | 内 服<br>薬  | 6241003     | ○    |      |      |      |      |      |
| シノキサシン           | 内 服<br>薬  | 6241004     | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| ノルフロキサシン         | 内 服<br>薬  | 6241005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| オフロキサシン          | 内 服<br>薬  | 6241006     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                  | 内 服<br>薬  | 6241007     | ○    |      |      |      |      |      |
| シプロフロキサシン塩酸塩     | 内 服<br>薬  | 6241008     |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 塩酸シプロフロキサシン      | 内 服<br>薬  | 6241008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 塩酸ロメフロキサシン       | 内 服<br>薬  | 6241009     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| トスフロキサシントシル酸塩水和物 | 内 服<br>薬  | 6241010     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
|                  | 内 服<br>薬  | 6241011     | ○    |      |      |      |      |      |
| レボフロキサシン水和物      | 内 服<br>薬  | 6241013     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| プルリフロキサシン        | 内 服<br>薬  | 6241015     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| モキシフロキサシン塩酸塩     | 内 服<br>薬  | 6241016     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                     | 投 与<br>経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| メシル酸ガレノキサシン水和物          | 内 服<br>薬  | 6241017     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| シタフロキサシン水和物             | 内 服<br>薬  | 6241018     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リネゾリド                   | 内 服<br>薬  | 6249002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルファメトキサゾール・トリ<br>メトプリム | 内 服<br>薬  | 6290100     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

### 分子の定義

1. 外来 EF ファイルより、経口カルバペネムの含まれる処方を実施された人日を算出する。 1  
日に複数の薬剤処方や複数回の処方が見られた場合も 1 人日で集約する。

| レセプト電<br>算コード | 漢 字 名<br>称                   | 成<br>分<br>名                                            | 薬価基準<br>コード 7<br>桁 | 薬価基準コード      | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------|------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------|--------------|------|------|------|------|------|------|
| 610411055     | フ ァ ロ<br>ム 錠 1<br>5 0 m<br>g | フ<br>ア<br>ロ<br>ペ<br>ネ<br>ム<br>ナ<br>トリ<br>ウム<br>水和<br>物 | 6139001            | 6139001F1028 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 610411056     | フ ァ ロ<br>ム 錠 2<br>0 0 m<br>g | フ<br>ア<br>ロ<br>ペ<br>ネ<br>ム<br>ナ                        | 6139001            | 6139001F2024 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| レセプト電<br>算コード | 漢字名<br>称                                                | 成<br>分<br>名                                             | 薬価基準<br>コード 7<br>桁 | 薬価基準コー<br>ド  | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------|--------------|------|------|------|------|------|------|
|               |                                                         | トリ<br>ウム<br>水<br>和<br>物                                 |                    |              |      |      |      |      |      |      |
| 620008702     | ファロ<br>ムドラ<br>イシロ<br>ップ小<br>児用 1<br>0 %<br>1 0 0<br>m g | ファ<br>アロ<br>ペ<br>ネ<br>ム<br>ナ<br>トリ<br>ウム<br>水<br>和<br>物 | 6139001            | 6139001R1032 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 621926801     | オラペ<br>ネム小<br>児用細<br>粒 1<br>0 %<br>1 0 0<br>m g         | テビ<br>ペ<br>ネ<br>ム<br>ピ<br>ボ<br>キシ<br>ル                  | 6139002            | 6139002C1026 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

日

### 結果提示時の並び順

昇順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 基本的に目標値はゼロである。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000120769.pdf>

## 基本情報

### 指標番号

2132

### 名称

アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）処方率

### 分母

退院時にアスピリン内服薬が処方されている 18 歳以上の患者

### 分子

分母のうち退院時に酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）が退院時に処方された症例

### 指標群

循環器系疾患 薬剤

### 意義

治療内容をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,F ファイル,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. 退院時にアスピリン内服薬が処方されている 18 歳以上の症例 F ファイル、もしくは EF ファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

| 薬価基準コード上 7 桁 | 成分名            | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|--------------|----------------|------|------|------|------|------|------|
| 1143001      | アスピリン          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1143010      | アスピリン・ダイアルミネート | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399007      | アスピリン          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399100      | アスピリン・ダイアルミネート | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 薬価基準コード上 7 桁 | 成分名              | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|--------------|------------------|------|------|------|------|------|------|
| 3399101      | クロピドグレル硫酸塩・アスピリン |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399102      | アスピリン・ランソプラゾール   |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. 退院時処方判定：2010 年度～2015 年度：F ファイルもしくは EF ファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」 2016 年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12 桁の数値）の 1 桁目「退院時処方区分」が「1」
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 分母のうち酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）が退院時に処方された症例 F ファイル、もしくは EF ファイルにおいて、退院時に以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

| 薬価基準コード 7 桁 | 成分名                               | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|-----------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 1179045     | アリピプラゾール                          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2329022     | オメプラゾール                           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2329023     | ランソプラゾール                          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2329028     | ラベプラゾールナトリウム                      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2329029     | エソメプラゾールマグネシウム水和物                 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399102     | アスピリン・ランソプラゾール                    |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 3399103     | アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩                 |      |      |      |      |      | ○    |
| 6199100     | ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| 6199101     | ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| 6199102     | ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 6199103     | ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・メトロニダゾール  |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2325001     | シメチジン                             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2325002     | ラニチジン塩酸塩                          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2325003     | ファモチジン                            | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2325004     | ロキサチジン酢酸エステル塩酸塩                   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2325005     | ニザチジン                             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 2325006     | ラフチジン                             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 8211001     | ペチジン塩酸塩                           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

2. 退院時処方判定：2010 年度～2015 年度：F ファイルもしくは EF ファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」 2016 年度～：EF-17・F-19 行為明細区分情報（12 桁の数値）の 1 桁目「退院時処方区分」が「1」

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。
2. 他の疾患で処方済みの患者は含まれない可能性がある為、値が低く算出される可能性がある。
3. アスピリンの合剤も含んでいる。
4. ガイドラインでは低容量アスピリンとなっているが分母は用量にかかわらずアスピリンを内服している患者としている。
5. 2020 年 5 月にアスピリン/ボノプラザンフマル酸塩配合剤が新規販売開始で追加した。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 消化性潰瘍診療ガイドライン 2015 第 2 版

## 基本情報

### 指標番号

2133

### 名称

シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与

### 分母

18 歳以上の症例で、入院にてシスプラチンを含む化学療法を受けた、実施日数

### 分子

分母の実施日の前日または当日に、5HT3 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬およびデキサメタゾンの 3 剤すべてを併用した数

### 指標群

化学療法

### 意義

化学療法を円滑に進めるためのガイドライン遵守の計測

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,F ファイル,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例のうち、新生物で入院した症例 主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名の ICD-10 コードとして以下のいずれかが含まれる症例

| ICD- 10 コード | 病名      |
|-------------|---------|
| C00-D48     | 新生物<腫瘍> |

2. このうち、血液腫瘍症例は除外する。主傷病名、入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名のいずれかの病名に以下のいずれかが含まれる症例を除外する

| ICD- 10 コード | 病名                            |
|-------------|-------------------------------|
| C81-C96     | リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞，原発 |

- このうち、様式 1 の生年月日、入院日より年齢を求め 18 歳以上の症例
- このうち、抗がん剤としてシスプラチンを受けた症例を対象とし、シスプラチンの実施日を検索する。このとき、シスプラチンは静注用のみを含む。F ファイル、もしくは EF ファイルにおいて解析期間において、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる実施日数。 ※ 注 4291401D は動注用シスプラチン

| 漢字名称                          | 成分名            | 薬価基準コード 7 桁 | 薬価基準コード      | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------------------|----------------|-------------|--------------|------|------|------|------|------|------|
| シスプラチン注<br>10mg「日医<br>工」 20mL | シス<br>プラ<br>チン | 4291401     | 4291401A**** | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く。
- 解析期間に退院した症例を対象とする。

### 分子の定義

- 分母の抗がん剤投与日当日あるいは前日に 5HT3 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬、デキサメタゾンの 3 剤がすべて併用されている数。2 日間の内、必ずしもいずれかの日にまとまって併用されている必要はなく、2 日間に少なくとも 3 剤がそれぞれ 1 回以上実施されている場合に分子とする。

E/F ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の 3 つのカテゴリについてそれぞれいずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。5HT3 受容体拮抗薬、NK1 受容体拮抗薬、デキサメタゾン（いずれも内服もしくは注射）。

| 成分名                 | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| グラニセトロン塩酸塩          | 注射薬  | 2391400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| オンダンセトロン塩酸塩水和物      | 注射薬  | 2391401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アザセトロン塩酸塩           | 注射薬  | 2391402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ラモセトロン塩酸塩           | 注射薬  | 2391403     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| パロノセトロン塩酸塩          | 注射薬  | 2391404     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスアプレピタントメグルミン      | 注射薬  | 2391405     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム | 注射薬  | 2454405     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| オンダンセトロン塩酸塩水和物      | 内服薬  | 2391001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名        | 投与経路 | 薬価基準コード<br>7 桁 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|------------|------|----------------|------|------|------|------|------|------|
| グラニセトロン塩酸塩 | 内服薬  | 2391002        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| トロピセトロン塩酸塩 | 内服薬  | 2391003        | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| ラモセトロン塩酸塩  | 内服薬  | 2391004        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アザセトロン塩酸塩  | 内服薬  | 2391005        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| オンダンセトロン   | 内服薬  | 2391006        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| インジセトロン塩酸塩 | 内服薬  | 2391007        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アプレピタント    | 内服薬  | 2391008        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ラモセトロン塩酸塩  | 内服薬  | 2399014        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| デキサメタゾン    | 内服薬  | 2454002        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. ステロイドを使用できない理由がある場合（糖尿病など）、NK1 受容体拮抗薬を使用できない理由がある場合（相互作用のある薬剤を内服している）など、低く見積もられる可能性がある
2. 持参薬がデータに反映されていない場合、低く見積もられる可能性がある（2016 年度以前は原則持参薬の使用は禁止、以降は EF ファイルに登録可能となっている）
3. 3: オランザピンが制吐剤として 2017 年 6 月に保険承認された。海外ではオランザピンを含む 4 剤併用がガイドライン上推奨されているが、本邦における推奨用量、使用方法については未だ検証段階であるため、適切な患者に慎重に投与とされている。（一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン 2015 年 10 月【第 2 版】一部改訂版 ver.2.2（2018 年 10 月）より）

## 参考資料

### 参考値

1. 高度催吐性リスクの化学療法を受けた患者のうち 83

### 参考資料

1. 好な治療アドヒアランスを得て化学療法を円滑に進めるために、催吐リスクに応じた予防的な制吐剤の使用は重要である。高度の抗がん薬による急性の悪心・嘔吐に対しては、アプレピタント（もしくはホスアプレピタント）と 5HT3 受容体拮抗薬およびデキサメタゾンを用いる。（推奨グレード A） シスプラチンは「高度催吐性リスク」に分類される。一般社団法人 日本癌治療学会編 制吐剤適正使用ガイドライン 2015 年 10 月【第 2 版】

## 基本情報

### 指標番号

2139

### 名称

薬剤管理指導入院 3 日以内実施割合（実施患者数ベース）

### 分母

入院症例数

### 分子

分母のうち、入院 3 日内（入院日を 1 とする）に薬剤管理指導を受けた症例数

### 指標群

マネジメント

### 意義

薬剤師の薬学的管理指導は、医療改善につながる

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 入院 3 日内（入院日を 1 とする）に薬剤指導管理実施の算定されている症例

| レセ電コード    | 診療行為名                   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 113010710 | 薬剤管理指導料 1（救命救急入院料等算定患者） | ○    | ○    | ○    | ○    |      |      |
| 113010810 | 薬剤管理指導料（安全管理を要する医薬品     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| レセ電コード    | 診療行為名   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|---------|------|------|------|------|------|------|
|           | 投与患者)   |      |      |      |      |      |      |
| 120001610 | 薬剤管理指導料 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 薬剤管理指導料は、算定には特定の施設基準を満たしている必要があり、実施が「0」の施設は、未実施という意味ではない可能性が高い（これらの施設件数も比較には参考となると考えられるため、表・グラフには、0 の施設も併記はする）。必ずしも、すべての患者に薬剤管理指導を要するわけではなく、100%を目指す指標ではない。分子の薬剤管理指導は、特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者に対して行う場合以外も含め、管理指導が実施の有無の計測を主旨とする。指標としては、このほかに、実施回数を考慮したものが考えられる。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 日本医療・病院管理学会誌 49(4)195-203

## 基本情報

### 指標番号

3321

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：乳房切除術

### 分母

乳房切除術が行われた症例

### 分子

抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | K コード | 基本漢字名称                        | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|-------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150121410 | K475  | 乳房切除術                         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150405810 | K475  | 乳房切除術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）  |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 150413710 | K475  | 乳房切除術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対して行った場合） |      |      |      |      |      | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称                                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150121610 | K4761 | 乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）（乳腺全摘術）                     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150303110 | K4762 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）              | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150316510 | K4763 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150262710 | K4764 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む））  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121710 | K4765 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施しないもの） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121810 | K4766 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施するもの）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121910 | K4767 | 乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの）     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150122150 | K4767 | 乳腺悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術併施                       | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| 150386410 | K4768 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの））            |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 150386510 | K4769 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴うもの））              |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が開始されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード7桁     | 分類名    | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経<br>路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

- このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く。

### 分子の定義

- 手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。
- 14 日を超える症例は 14 日として集計する。

### その他

#### 薬剤一覧の出力

はい

#### リスク調整因子の条件

#### 指標の算出方法

分子÷分母

#### 指標の単位

日

#### 結果提示時の並び順

昇順

#### 測定上の限界・解釈上の注意

- 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
- 手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。
- 抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として 14 日を設定することに

より集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされた  
い。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会  
/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン.  
2016.

## 基本情報

### 指標番号

3322

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：乳房切除術

### 分母

乳房切除術が行われた症例

### 分子

手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間：24 時間以内停止）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | K コード | 基本漢字名称                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150121410 | K475  | 乳房切除術                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150405810 | K475  | 乳房切除術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。） |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 150413710 | K475  | 乳房切除術（遺伝性乳癌卵巣癌症              |      |      |      |      |      | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称                                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|           |       | 候群患者に対して行った場合)                               |      |      |      |      |      |      |
| 150121610 | K4761 | 乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）（乳腺全摘術）                     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150303110 | K4762 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）              | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150316510 | K4763 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150262710 | K4764 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む））  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121710 | K4765 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施しないもの） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121810 | K4766 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施するもの）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121910 | K4767 | 乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの）     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150122150 | K4767 | 乳腺悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術併施                       | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| 150386410 | K4768 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの））            |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 150386510 | K4769 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴うもの））              |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、手術実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁   | 分類名    | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経<br>路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

- このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

- 手術実施日の翌日（手術実施日＋1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない（薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれていない）症例。

### その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

%

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

- 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
- 本指標は 2016 年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

## 基本情報

### 指標番号

3323

### 名称

周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：乳房切除術

### 分母

乳房切除術が行われた症例

### 分子

手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CEZ）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | K コード | 基本漢字名称                        | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|-------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150121410 | K475  | 乳房切除術                         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150405810 | K475  | 乳房切除術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）  |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 150413710 | K475  | 乳房切除術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対して行った場合） |      |      |      |      |      | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称                                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150121610 | K4761 | 乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）（乳腺全摘術）                     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150303110 | K4762 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）              | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150316510 | K4763 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150262710 | K4764 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む））  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121710 | K4765 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施しないもの） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121810 | K4766 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施するもの）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121910 | K4767 | 乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの）     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150122150 | K4767 | 乳腺悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術併施                       | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| 150386410 | K4768 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの））            |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 150386510 | K4769 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴うもの））              |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（注射薬抗菌薬）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7桁    | 分類名    | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経<br>路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 分母条件 2「手術点数コード」の実施日に CEZ が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

| 推奨抗菌<br>薬 | 薬価基準コード 7<br>桁 | 成分名                | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|----------------|--------------------|------|------|------|------|------|------|
| CEZ       | 6132401        | セファゾリンナトリウム        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| CEZ       | 6132401        | セファゾリンナトリウム<br>水和物 |      |      |      |      | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

%

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。

2. 抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
3. 本指標は 2016 年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
4. SBT/ABPC の供給不足(2018 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。
5. CEZ の供給停止(2019 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。(代替薬として厚生労働省より通知があり、下記にリンクを添付)

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成 31 年 3 月 29 日)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>

## 基本情報

### 指標番号

3324

### 名称

周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：乳房切除術

### 分母

乳房切除術が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

### 分子

手術実施日の翌日（手術実施日+1）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CEZ、および投与期間：24 時間以内停止）をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | K コード | 基本漢字名称                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150121410 | K475  | 乳房切除術                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150405810 | K475  | 乳房切除術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。） |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 150413710 | K475  | 乳房切除術（遺伝性乳癌卵巣癌症              |      |      |      |      |      | ○    |

| 診療行為コード   | K コード | 基本漢字名称                                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|           |       | 候群患者に対して行った場合)                               |      |      |      |      |      |      |
| 150121610 | K4761 | 乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）（乳腺全摘術）                     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150303110 | K4762 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）              | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150316510 | K4763 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150262710 | K4764 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む））  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121710 | K4765 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施しないもの） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121810 | K4766 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施するもの）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150121910 | K4767 | 乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清を併施するもの）     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150122150 | K4767 | 乳腺悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術併施                       | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| 150386410 | K4768 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの））            |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 150386510 | K4769 | 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴うもの））              |      |      |      | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、手術実施日に CEZ が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。【推奨抗菌薬（CEZ）表】

| 推奨抗菌薬 | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名            | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------|-------------|----------------|------|------|------|------|------|------|
| CEZ   | 6132401     | セファゾリンナトリウム    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| CEZ   | 6132401     | セファゾリンナトリウム水和物 |      |      |      |      | ○    | ○    |

4. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

#### 分子の定義

1. 手術実施日の翌日（手術実施日＋1）に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例（【推奨抗菌薬（CEZ）表】参照）。

#### その他

#### 薬剤一覧の出力

はい

#### リスク調整因子の条件

#### 指標の算出方法

分子÷分母

#### 指標の単位

%

#### 結果提示時の並び順

降順

#### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。

2. 予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。
3. 本指標は 2016 年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。
4. SBT/ABPC の供給不足(2018 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。
5. CEZ の供給停止(2019 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。(代替薬として厚生労働省より通知があり、下記にリンクを添付)

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成 31 年 3 月 29 日)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>

## 基本情報

### 指標番号

3331

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：腹式子宮摘出術（開腹）

### 分母

腹式子宮摘出術（開腹）が行われた症例

### 分子

抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード   | 基本漢字名称                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------|------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150215410 | K865_4 | 子宮脱手術（膣壁形成手術及び子宮全摘術）（膣式、腹式）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150217510 | K877   | 子宮全摘術                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150409010 | K877   | 子宮全摘術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。） |      |      |      |      | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード | 基本漢字名称   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 150217710 | K879 | 子宮悪性腫瘍手術 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が開始されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く。

## 分子の定義

- 手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。
- 14 日を超える症例は 14 日として集計する。

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

日

## 結果提示時の並び順

昇順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
2. 手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。
3. 抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として 14 日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

## 基本情報

### 指標番号

3332

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：腹式子宮摘出術（開腹）

### 分母

腹式子宮摘出術（開腹）が行われた症例

### 分子

手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間：24 時間以内停止）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード   | 基本漢字名称                      | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------|-----------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150215410 | K865_4 | 子宮脱手術（膹壁形成手術及び子宮全摘術）（膹式、腹式） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150217510 | K877   | 子宮全摘術                       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150409010 | K877   | 子宮全摘術（性同一性障害の患              |      |      |      |      | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード | 基本漢字名称         | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|------|----------------|------|------|------|------|------|------|
|           |      | 者に対して行う場合に限る。) |      |      |      |      |      |      |
| 150217710 | K879 | 子宮悪性腫瘍手術       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、手術実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. このうち、手術実施日の前日（手術日-1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない（薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれていない）症例。

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

%

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
2. 本指標は 2016 年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

## 基本情報

### 指標番号

3333

### 名称

周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：腹式子宮摘出術（開腹）

### 分母

腹式子宮摘出術（開腹）が行われた症例

### 分子

手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CMZ、FMOX、SBT/ABPC、CEZ&MNZ）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード   | 基本漢字名称                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------|------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150215410 | K865_4 | 子宮脱手術（膣壁形成手術及び子宮全摘術）（膣式、腹式）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150217510 | K877   | 子宮全摘術                        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150409010 | K877   | 子宮全摘術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。） |      |      |      |      | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード | 基本漢字名称   | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 150217710 | K879 | 子宮悪性腫瘍手術 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（注射薬抗菌薬）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 分母条件 2「手術点数コード」の実施日に CMZ、FMOX、SBT/ABPC、CEZ&MNZ が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

| 推奨抗菌薬    | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名                     | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|----------|-------------|-------------------------|------|------|------|------|------|------|
| CMZ      | 6132408     | セフメタゾールナトリウム            | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| FMOX     | 6133401     | フロモキシセフナトリウム            | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| SBT/ABPC | 6139504     | スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| CEZ      | 6132401     | セファゾリンナトリウム             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| CEZ      | 6132401     | セファゾリンナトリウム水和物          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| MNZ      | 6419401     | メトロニダゾール                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

%

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
2. 抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
3. 本指標は予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を使用しているかをみる指標であり、推奨抗菌薬が 2 種類以上同時に投与されている症例も分子に含まれる（例：CMZ&FMOX、CMZ&SBT/ABPC など）。ただし、CEZ&MNZ は同時投与が推奨されているため、CEZ 単剤が投与されている症例は分子に含まない（CEZ の場合は、MNZ 以外の推奨抗菌薬と投与されていても分子に含まない）。
4. 本指標は 2016 年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
5. ガイドラインの対象術式は腹式子宮摘出術であるが、本指標の対象術式のうち子宮脱手術には膣式手術が含まれる。
6. SBT/ABPC の供給不足(2018 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。
7. CEZ の供給停止(2019 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。（代替薬として厚生労働省より通知があり、下記にリンクを添付）

## 参考資料

### 参考値

**参考資料**

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成 31 年 3 月 29 日)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>

## 基本情報

### 指標番号

3361

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）

### 分母

心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）が行われた症例

### 分子

抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称               | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150140110 | K5971 | ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150140210 | K5972 | ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150395350 | K5973 | ペースメーカー移植術（リード       |      |      |      |      | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード    | 基本漢字名称                          | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|---------|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|           |         | レスペースメーカーの場合)                   |      |      |      |      |      |      |
| 150303210 | K598    | 両心室ペースメーカー移植術                   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| 150415110 | K5981   | 両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)          |      |      |      |      |      | ○    |
| 150415210 | K5982   | 両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)         |      |      |      |      |      | ○    |
| 150275210 | K599    | 植込型除細動器移植術                      | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| 150387410 | K5991   | 植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの)        |      |      |      | ○    | ○    |      |
| 150383250 | K5992   | 植込型除細動器移植術(皮下植込型リードを用いるもの)      |      |      |      | ○    | ○    |      |
| 150415510 | K5991   | 植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)         |      |      |      |      |      | ○    |
| 150387410 | K5992   | 植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの)        |      |      |      |      |      | ○    |
| 150383250 | K5992   | 植込型除細動器移植術(皮下植込型リードを用いるもの)      |      |      |      |      |      | ○    |
| 150336910 | K599-3  | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| 150415110 | K599-31 | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)  |      |      |      |      |      | ○    |
| 150415210 | K599-32 | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合) |      |      |      |      |      | ○    |

3. このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬(注射抗菌薬)が開始されている(EFファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる)症例。【抗菌薬(抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く)表】

| 薬価基準コード7桁     | 分類名    | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経<br>路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

- このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く。

### 分子の定義

- 手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。
- 14 日を超える症例は 14 日として集計する。

### その他

#### 薬剤一覧の出力

はい

#### リスク調整因子の条件

#### 指標の算出方法

分子÷分母

#### 指標の単位

日

#### 結果提示時の並び順

昇順

#### 測定上の限界・解釈上の注意

- 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
- 手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。
- 抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として 14 日を設定することに

より集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされた  
い。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会  
/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン.  
2016.

## 基本情報

### 指標番号

3362

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）

### 分母

心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）が行われた症例

### 分子

手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間：24 時間以内停止）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称               | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150140110 | K5971 | ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150140210 | K5972 | ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード    | 基本漢字名称                          | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|---------|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150395350 | K5973   | ペースメーカー移植術（リードレスペースメーカーの場合）     |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 150303210 | K598    | 両心室ペースメーカー移植術                   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| 150415110 | K5981   | 両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)          |      |      |      |      |      | ○    |
| 150415210 | K5982   | 両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)         |      |      |      |      |      | ○    |
| 150275210 | K599    | 植込型除細動器移植術                      | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| 150387410 | K5991   | 植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの）        |      |      |      | ○    | ○    |      |
| 150383250 | K5992   | 植込型除細動器移植術（皮下植込型リードを用いるもの）      |      |      |      | ○    | ○    |      |
| 150415510 | K5991   | 植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）         |      |      |      |      |      | ○    |
| 150387410 | K5992   | 植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの）        |      |      |      |      |      | ○    |
| 150383250 | K5992   | 植込型除細動器移植術（皮下植込型リードを用いるもの）      |      |      |      |      |      | ○    |
| 150336910 | K599-3  | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| 150415110 | K599-31 | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）  |      |      |      |      |      | ○    |
| 150415210 | K599-32 | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合） |      |      |      |      |      | ○    |

3. このうち、手術実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード7桁     | 分類名    | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経<br>路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

- このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

- 手術実施日の翌日（手術実施日＋1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない（薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれていない）症例。

### その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

%

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

- 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
- 本指標は 2016 年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

## 基本情報

### 指標番号

3363

### 名称

周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）

### 分母

心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）が行われた症例

### 分子

手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CEZ）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称               | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150140110 | K5971 | ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150140210 | K5972 | ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150395350 | K5973 | ペースメーカー移植術（リード       |      |      |      |      | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード    | 基本漢字名称                          | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|---------|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|           |         | レスペースメーカーの場合)                   |      |      |      |      |      |      |
| 150303210 | K598    | 両心室ペースメーカー移植術                   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| 150415110 | K5981   | 両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)          |      |      |      |      |      | ○    |
| 150415210 | K5982   | 両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)         |      |      |      |      |      | ○    |
| 150275210 | K599    | 植込型除細動器移植術                      | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| 150387410 | K5991   | 植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの）        |      |      |      | ○    | ○    |      |
| 150383250 | K5992   | 植込型除細動器移植術（皮下植込型リードを用いるもの）      |      |      |      | ○    | ○    |      |
| 150415510 | K5991   | 植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）         |      |      |      |      |      | ○    |
| 150387410 | K5992   | 植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの）        |      |      |      |      |      | ○    |
| 150383250 | K5992   | 植込型除細動器移植術（皮下植込型リードを用いるもの）      |      |      |      |      |      | ○    |
| 150336910 | K599-3  | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| 150415110 | K599-31 | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）  |      |      |      |      |      | ○    |
| 150415210 | K599-32 | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合） |      |      |      |      |      | ○    |

3. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（注射薬抗菌薬）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7桁    | 分類名    | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経<br>路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 分母条件 2「手術点数コード」の実施日に CEZ が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

| 推奨抗菌<br>薬 | 薬価基準コード 7<br>桁 | 成分名                | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|----------------|--------------------|------|------|------|------|------|------|
| CEZ       | 6132401        | セファゾリンナトリウム        |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| CEZ       | 6132401        | セファゾリンナトリウム<br>水和物 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

## 薬剤一覧の出力

はい

## リスク調整因子の条件

## 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

%

## 結果提示時の並び順

降順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。

2. 抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
3. 本指標は 2016 年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
4. SBT/ABPC の供給不足(2018 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。
5. CEZ の供給停止(2019 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。(代替薬として厚生労働省より通知があり、下記にリンクを添付)

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成 31 年 3 月 29 日)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>

## 基本情報

### 指標番号

3364

### 名称

周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）

### 分母

心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

### 分子

手術実施日の翌日（手術実施日+1）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CEZ、および投与期間：24 時間以内停止）をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称              | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|---------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150140110 | K5971 | ペースメーカー移植術（心筋電極の場合） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード    | 基本漢字名称                          | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|---------|---------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150140210 | K5972   | ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）            | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150395350 | K5973   | ペースメーカー移植術（リードレスペースメーカーの場合）     |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 150303210 | K598    | 両心室ペースメーカー移植術                   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150415110 | K5981   | 両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）          |      |      |      |      |      | ○    |
| 150415210 | K5982   | 両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）         |      |      |      |      |      | ○    |
| 150275210 | K599    | 植込型除細動器移植術                      | ○    | ○    | ○    |      |      |      |
| 150415510 | K5991   | 植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）         |      |      |      |      |      | ○    |
| 150387410 | K5992   | 植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの）        |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 150383250 | K5993   | 植込型除細動器移植術（皮下植込型リードを用いるもの）      |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 150336910 | K599-3  | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術           | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| 150415810 | K599-31 | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）  |      |      |      |      |      | ○    |
| 150415910 | K599-32 | 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合） |      |      |      |      |      | ○    |

3. このうち、手術実施日に CEZ が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。【推奨抗菌薬（CEZ）表】

| 推奨抗菌薬 | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名            | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------|-------------|----------------|------|------|------|------|------|------|
| CEZ   | 6132401     | セファゾリンナトリウム    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| CEZ   | 6132401     | セファゾリンナトリウム水和物 |      |      |      |      | ○    | ○    |

4. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経<br>路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 手術実施日の翌日（手術実施日+1）に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例（【推奨抗菌薬（CEZ）表】参照）。

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

%

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
2. 予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。

3. 本指標は 2016 年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。
4. SBT/ABPC の供給不足(2018 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。
5. CEZ の供給停止(2019 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。（代替薬として厚生労働省より通知があり、下記にリンクを添付）

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成 31 年 3 月 29 日)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>

## 基本情報

### 指標番号

3391

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）

### 分母

鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）が行われた症例

### 分子

抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称         | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------|------|------|------|------|------|------|
| 150159010 | K6335 | ヘルニア手術（鼠径ヘルニア） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、手術実施日にメッシュが算定されている（EF ファイルの特定器材コードに、下記 9 桁に対応する特定器材コードが含まれる）症例。

| 特定器材コード   | 基本漢字名称                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 736670000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般    |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 736680000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型 |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 736690000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用 |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が開始されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

5. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
6. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く。

## 分子の定義

- 手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。
- 14 日を超える症例は 14 日として集計する。

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

## リスク調整因子の条件

## 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

日

## 結果提示時の並び順

昇順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
2. 手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。
3. 抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として 14 日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 日本外科感染症学会 消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン作成委員会 消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン 2018

## 基本情報

### 指標番号

3392

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）

### 分母

鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）が行われた症例

### 分子

手術実施日の翌日（手術実施日+1）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間：24 時間以内停止）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称         | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------|------|------|------|------|------|------|
| 150159010 | K6335 | ヘルニア手術（鼠径ヘルニア） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、手術実施日にメッシュが算定されている（EF ファイルの特定器材コードに、下記 9 桁に対応する特定器材コードが含まれる）症例。

| 特定器材コード   | 基本漢字名称                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 736670000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般    |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 736680000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型 |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 736690000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用 |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. このうち、手術実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

5. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
6. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 手術実施日の翌日（手術実施日＋1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない（薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれていない）症例。

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

## リスク調整因子の条件

## 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

%

## 結果提示時の並び順

降順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
2. 本指標は 2016 年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 日本外科感染症学会 消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン作成委員会 消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン 2018

## 基本情報

### 指標番号

3393

### 名称

周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）

### 分母

鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）が行われた症例

### 分子

手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CEZ 又は SBT/ABPC）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称         | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------|------|------|------|------|------|------|
| 150159010 | K6335 | ヘルニア手術（鼠径ヘルニア） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、手術実施日にメッシュが算定されている（EF ファイルの特定器材コードに、下記 9 桁に対応する特定器材コードが含まれる）症例。

| 特定器材コード   | 基本漢字名称                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 736670000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般    |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 736680000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型 |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 736690000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用 |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（注射薬抗菌薬）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 分母条件 2「手術点数コード」の実施日に CEZ 又は SBT/ABPC が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

| 推奨抗菌薬    | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名                     | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|----------|-------------|-------------------------|------|------|------|------|------|------|
| CEZ      | 6132401     | セファゾリンナトリウム             |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| CEZ      | 6132401     | セファゾリンナトリウム水和物          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| SBT/ABPC | 6139504     | スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

%

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
2. 抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
3. 本指標は 2016 年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
4. SBT/ABPC の供給不足(2018 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。
5. CEZ の供給停止(2019 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 日本外科感染症学会 消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン作成委員会 消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン 2018

3. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成 31 年 3 月 29 日)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>

## 基本情報

### 指標番号

3394

### 名称

周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）

### 分母

鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用）が行われた症例のうち、手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている症例

### 分子

手術実施日の翌日（手術実施日+1）に推奨抗菌薬が投与されていない症例数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CEZ 又は SBT/ABPC、および投与期間：24 時間以内停止）をみるプロセス指標。推奨抗菌薬を投与している施設における投与期間遵守率。

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | Kコード  | 基本漢字名称         | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|----------------|------|------|------|------|------|------|
| 150159010 | K6335 | ヘルニア手術（鼠径ヘルニア） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、手術実施日にメッシュが算定されている（EF ファイルの特定器材コードに、下記 9 桁に対応する特定器材コードが含まれる）症例。

| 特定器材コード   | 基本漢字名称                       | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 736670000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・一般    |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 736680000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・形状付加型 |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 736690000 | 組織代用人工繊維布・ヘルニア修復・胸壁補強用・腹膜欠損用 |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. このうち、手術実施日に CEZ 又は SBT/ABPC が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。当該薬剤以外の抗菌薬が同時に投与されている症例を除く。【推奨抗菌薬（CEZ 又は SBT/ABPC）表】

| 推奨抗菌薬    | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名                     | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|----------|-------------|-------------------------|------|------|------|------|------|------|
| CEZ      | 6132401     | セファゾリンナトリウム             |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| CEZ      | 6132401     | セファゾリンナトリウム水和物          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| SBT/ABPC | 6139504     | スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

5. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

6. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 手術実施日の翌日（手術実施日+1）に当該抗菌薬が投与されていない(薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例（【推奨抗菌薬（CEZ 又は SBT/ABPC）表】参照）。

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

%

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
2. 予防的抗菌薬として推奨抗菌薬を利用していない症例は分母に含まれない。このため、例えば広域抗菌薬を予防的抗菌薬として専ら利用する病院では分母が少なくなるなど指標値に影響する。本指標に関連した他の指標も併せて参照されたい。
3. 本指標は 2016 年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。
4. SBT/ABPC の供給不足(2018 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。
5. CEZ の供給停止(2019 年ごろ)が QI 値に影響する可能性がある。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

2. 日本外科感染症学会 消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン作成委員会 消化器外科 SSI 予防のための周術期管理ガイドライン 2018
3. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成 31 年 3 月 29 日)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>

## 基本情報

### 指標番号

3411

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：人工関節置換術

### 分母

人工関節置換術が行われた症例

### 分子

抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | K コード | 基本漢字名称      | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| 150050310 | K0821 | 人工関節置換術（肩）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150050410 | K0821 | 人工関節置換術（股）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150050510 | K0821 | 人工関節置換術（膝）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150050610 | K0822 | 人工関節置換術（胸鎖） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150050710 | K0822 | 人工関節置換術（肘）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | K コード   | 基本漢字名称           | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|---------|------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150050810 | K0822   | 人工関節置換術（手）       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150050910 | K0822   | 人工関節置換術（足）       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150051010 | K0823   | 人工関節置換術（肩鎖）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150051110 | K0823   | 人工関節置換術（指（手、足））  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150255910 | K082-31 | 人工関節再置換術（肩）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256010 | K082-31 | 人工関節再置換術（股）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256110 | K082-31 | 人工関節再置換術（膝）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256210 | K082-32 | 人工関節再置換術（胸鎖）     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256310 | K082-32 | 人工関節再置換術（肘）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256410 | K082-32 | 人工関節再置換術（手）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256510 | K082-32 | 人工関節再置換術（足）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256610 | K082-33 | 人工関節再置換術（肩鎖）     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256710 | K082-33 | 人工関節再置換術（指（手、足）） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150411610 | K082-5  | 人工距骨全置換術         |      |      |      |      |      | ○    |
| 150411710 | K082-6  | 人工股関節摺動面交換術      |      |      |      |      |      | ○    |

3. このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が開始されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名         | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|-------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤      | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤      | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤      | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤      | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤      | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用す | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 薬価基準コード 7<br>桁 | 分類名    | 投与経<br>路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|----------------|--------|----------|------|------|------|------|------|------|
|                | るもの    |          |      |      |      |      |      |      |
| 619*[4/5/6]**  | 抗生物質製剤 | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**  | 化学療法剤  | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

- このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く。

### 分子の定義

- 手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。
- 14 日を超える症例は 14 日として集計する。

### その他

#### 薬剤一覧の出力

はい

#### リスク調整因子の条件

#### 指標の算出方法

分子÷分母

#### 指標の単位

日

#### 結果提示時の並び順

昇順

#### 測定上の限界・解釈上の注意

- 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
- 手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。
- 抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として 14 日を設定することに

より集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされた  
い。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会  
/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン.  
2016.

## 基本情報

### 指標番号

3412

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：人工関節置換術

### 分母

人工関節置換術が行われた症例

### 分子

手術実施日の翌々日（手術実施日+3）に抗菌薬（薬剤種類かどうかは問わない）が投与されていない症例数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間：24 時間以内停止）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | K コード | 基本漢字名称      | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|-------------|------|------|------|------|------|------|
| 150050310 | K0821 | 人工関節置換術（肩）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150050410 | K0821 | 人工関節置換術（股）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150050510 | K0821 | 人工関節置換術（膝）  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150050610 | K0822 | 人工関節置換術（胸鎖） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 診療行為コード   | Kコード    | 基本漢字名称           | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|---------|------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150050710 | K0822   | 人工関節置換術（肘）       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150050810 | K0822   | 人工関節置換術（手）       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150050910 | K0822   | 人工関節置換術（足）       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150051010 | K0823   | 人工関節置換術（肩鎖）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150051110 | K0823   | 人工関節置換術（指（手、足））  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150255910 | K082-31 | 人工関節再置換術（肩）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256010 | K082-31 | 人工関節再置換術（股）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256110 | K082-31 | 人工関節再置換術（膝）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256210 | K082-32 | 人工関節再置換術（胸鎖）     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256310 | K082-32 | 人工関節再置換術（肘）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256410 | K082-32 | 人工関節再置換術（手）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256510 | K082-32 | 人工関節再置換術（足）      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256610 | K082-33 | 人工関節再置換術（肩鎖）     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150256710 | K082-33 | 人工関節再置換術（指（手、足）） | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150411610 | K082-5  | 人工距骨全置換術         |      |      |      |      |      | ○    |
| 150411710 | K082-6  | 人工股関節摺動面交換術      |      |      |      |      |      | ○    |

3. このうち、手術実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁   | 分類名    | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]** | 抗生物質製剤 | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経<br>路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射       | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

- このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
- 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

- 手術実施日の翌々々日（手術実施日＋3）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

### その他

#### 薬剤一覧の出力

はい

#### リスク調整因子の条件

#### 指標の算出方法

分子÷分母

#### 指標の単位

%

#### 結果提示時の並び順

降順

#### 測定上の限界・解釈上の注意

- 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
- 本指標は 2016 年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

## 基本情報

### 指標番号

3421

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：経尿道的前立腺切除術（TURP）

### 分母

経尿道的前立腺切除術（TURP）が行われた症例

### 分子

抗菌薬の予防的投与日数の総計（推奨薬剤かどうかは問わない）

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | K コード | 基本漢字名称                | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|-----------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150209110 | K841  | 経尿道的前立腺手術             | ○    | ○    |      |      |      |      |
| 150379610 | K8411 | 経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用のもの） |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150379710 | K8412 | 経尿道的前立腺手術（その他のもの）     |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |

3. このうち、「手術点数コード」の実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が開始されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、以下の抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く。

## 分子の定義

- 手術実施日以降に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が使用された連続した日数の病院毎の集計。一度中断があった場合はそれ以降のデータは使用しない。
- 14 日を超える症例は 14 日として集計する。

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

日

## 結果提示時の並び順

昇順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
2. 手術前日の抗菌薬投与症例を除外することで、治療的抗菌薬投与症例を除外する。
3. 抗菌薬の種類は問わないため、抗菌薬治療に連続して切り替えた場合、投与日数が長く集計される。ただし、これらの症例数は多くないと考えられ、また最大値として 14 日を設定することにより集計は対応する。また本指標に関連した抗菌薬を特定したほかの指標も併せて参考にされたい。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

## 基本情報

### 指標番号

3422

### 名称

周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：経尿道的前立腺切除術（TURP）

### 分母

経尿道的前立腺切除術（TURP）が行われた症例

### 分子

手術実施日の 4 日目（手術実施日+4）に抗菌薬（推奨薬剤かどうかは問わない）が投与されていない症例数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（投与期間：24 時間以内停止）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の手術名 1 の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

| 診療行為コード   | K コード | 基本漢字名称                | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|-------|-----------------------|------|------|------|------|------|------|
| 150209110 | K841  | 経尿道的前立腺手術             | ○    | ○    |      |      |      |      |
| 150379610 | K8411 | 経尿道的前立腺手術（電解質溶液利用のもの） |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 150379710 | K8412 | 経尿道的前立腺手術（その他の        |      |      | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 診療行為コード | K コード | 基本漢字名称 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|---------|-------|--------|------|------|------|------|------|------|
|         |       | もの)    |      |      |      |      |      |      |

3. このうち、手術実施日に下記抗菌薬（注射抗菌薬）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

| 薬価基準コード 7 桁       | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

4. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されている（EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。
5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 手術実施日の 4 日目（手術実施日＋4）に抗菌薬（【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】参照）が投与されていない(薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれていない)症例。

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

## 指標の単位

%

## 結果提示時の並び順

降順

## 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式 1 の手術 1（主要手術）のみを対象とする。
2. 本指標は 2016 年度のガイドラインを参照し作成したものであり、それ以前のデータは参考値。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会 / 一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.

## 基本情報

### 指標番号

5001

### 名称

脳梗塞の診断で入院し、抗凝固薬を投与しない割合

### 分母

18 歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例

### 分子

分母のうち、抗凝固薬内服を投与されていない症例

### 指標群

脳卒中

### 意義

Choosing Wisely

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例
3. このうち、脳梗塞のため入院した症例。入院の契機となった傷病名と医療資源を最も投入した傷病名両方に、ICD-10 コードとして「I63\$」（脳梗塞）が含まれる症例
4. このうち、退院時転帰が「6. 最も医療資源を投入した傷病による死亡」「7. 最も医療資源を投入した傷病以外による死亡」の症例を除外する。
5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

## 分子の定義

1. 分母のうち、抗てんかん薬の内服を処方されていない症例

| 薬価基準コード 7 桁 | 成分名        | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|------------|------|------|------|------|------|------|
| 1124003     | ニトラゼパム     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1124008     | フルニトラゼパム   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1124017     | ジアゼパム      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1124402     | ジアゼパム      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1125003     | フェノバルビタール  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1125402     | フェノバルビタール  | ○    |      |      |      |      |      |
| 1132002     | フェニトイン     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1135002     | プリミドン      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1139002     | カルバマゼピン    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1139004     | バルプロ酸ナトリウム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1139005     | ゾニサミド      |      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 1139008     | トピラマート     |      |      |      | ○    | ○    | ○    |
| 1139009     | ラモトリギン     |      |      |      |      | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 予防治療をしない率を測定する指標であるが、治療が必要な症例も混在している。
2. 抗てんかん薬は、他の効能（例：抗精神病薬）もありほかの治療目的に利用している場合指標値に誤差がでる。

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. Don't routinely use seizure prophylaxis in patients following ischemic stroke.  
<http://www.choosingwisely.org/clinician-lists/american-association-neurological-surgeons-seizure-prophylaxis-following-ischemic-stroke/>
2. 「脳卒中治療ガイドライン 2015」日本脳卒中学会  
[https://www.jsts.gr.jp/img/guideline2015\\_tuiho2019\\_10.pdf](https://www.jsts.gr.jp/img/guideline2015_tuiho2019_10.pdf)

## 基本情報

### 指標番号

2031\_4

### 名称

市中肺炎症例に対し、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

### 分母

18 歳以上の市中肺炎症例

### 分子

分母のうち、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例

### 指標群

感染症系

### 意義

病原微生物の同定は、治療の最適化や耐性菌の対策上重要である。

### 年度

2012,2014,2016,2018

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル,D ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、市中肺炎症例。DPC コードの上 6 桁が 040070（インフルエンザ、ウイルス性肺炎）、040080（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）いずれかでかつ、肺炎の重症度分類の 7 桁目（コードでは 8. 院内肺炎、市中肺炎）が「5」（市中肺炎）の症例
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例。診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

| 診療行為コード   | 検査点数コード | 名称            | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 |
|-----------|---------|---------------|------|------|------|------|
| 160104250 | D012-21 | 尿中肺炎球菌抗原      | ○    | ○    |      |      |
| 160177150 | D012-27 | 尿中肺炎球菌莢膜抗原    | ○    | ○    |      |      |
| 160188850 | D012-27 | 肺炎球菌細胞壁抗原（定性） |      | ○    |      |      |
| 160104250 | D012-25 | 肺炎球菌抗原定性（尿）   |      |      | ○    | ○    |
| 160177150 | D012-36 | 肺炎球菌莢膜抗原定性（尿） |      |      | ○    | ○    |
| 160188850 | D012-35 | 肺炎球菌細胞壁抗原定性   |      |      | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 必ずしもすべての症例に必要な検査ではなく、100%を目指す指標ではない。
2. D ファイルのない場合の結果は参考値（QIP では疑似的に DPC コードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 成人市中肺炎診療ガイドライン

## 基本情報

### 指標番号

2031\_6

### 名称

市中肺炎症例に対し、入院当日から抗菌薬を投与された症例

### 分母

18 歳以上の市中肺炎症例

### 分子

分母のうち、入院当日から抗菌薬を投与された症例

### 指標群

感染症系

### 意義

早期診断並びに治療の適時性

### 年度

2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル,D ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、市中肺炎症例。DPC コードの上 6 桁が 040070（インフルエンザ、ウイルス性肺炎）、040080（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）いずれかでかつ、肺炎の重症度分類の 7 桁目（コードでは 8. 院内肺炎、市中肺炎）が「5」（市中肺炎）の症例
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 入院日と同一日に抗菌薬（内服薬もしくは注射薬）を投与された症例。EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる症例。

※薬価基準コード上 7 桁について、上 2～4 ケタ情報を利用、「xxx」は 001～699 として内服薬・注射薬を指定

| 成分名                | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|--------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|
| ベンジルペニシリンカリウム      | 注射薬  | 6111400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リンコマイシン塩酸塩水和物      | 注射薬  | 6112400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クリンダマイシンリン酸エステル    | 注射薬  | 6112401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| バンコマイシン塩酸塩         | 注射薬  | 6113400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アルベカシン硫酸塩          | 注射薬  | 6119400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| テイコプラニン            | 注射薬  | 6119401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ダプトマイシン            | 注射薬  | 6119402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| キヌプリスチン・ダルホプリスチン   | 注射薬  | 6119500     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アズトレオナム            | 注射薬  | 6122400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| トブラマイシン            | 注射薬  | 6123401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アミカシン硫酸塩           | 注射薬  | 6123402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| イセパマイシン硫酸塩         | 注射薬  | 6123404     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スペクチノマイシン塩酸塩水和物    | 注射薬  | 6124400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム | 注射薬  | 6125400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| チゲサイクリン            | 注射薬  | 6129400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アンピシリンナトリウム        | 注射薬  | 6131400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ピペラシリンナトリウム        | 注射薬  | 6131403     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アスポキシリン水和物         | 注射薬  | 6131405     | ○    |      |      |      |      |
| セフォチアム塩酸塩          | 注射薬  | 6132400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セファゾリンナトリウム        | 注射薬  | 6132401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セファロチンナトリウム        | 注射薬  | 6132403     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフメタゾールナトリウム       | 注射薬  | 6132408     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォタキシムナトリウム       | 注射薬  | 6132409     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォペラゾンナトリウム       | 注射薬  | 6132410     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| セフメノキシム塩酸塩         | 注射薬  | 6132413     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフタジジム水和物          | 注射薬  | 6132418     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフトリアキソンナトリウム水和物   | 注射薬  | 6132419     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セミノクスナトリウム水和物      | 注射薬  | 6132422     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォジジムナトリウム        | 注射薬  | 6132423     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| セフピロム硫酸塩           | 注射薬  | 6132424     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフェピム塩酸塩水和物        | 注射薬  | 6132425     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォゾプラン塩酸塩         | 注射薬  | 6132426     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                      | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|--------------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|
| ラタモキシセフナトリウム             | 注射薬  | 6133400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| フロモキシセフナトリウム             | 注射薬  | 6133401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジベカシン硫酸塩                 | 注射薬  | 6134400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リボスタマイシン硫酸塩              | 注射薬  | 6134401     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| ゲンタマイシン硫酸塩               | 注射薬  | 6134407     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスホマイシンナトリウム             | 注射薬  | 6135400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| メロペネム水和物                 | 注射薬  | 6139400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ビアペネム                    | 注射薬  | 6139401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ドリペネム水和物                 | 注射薬  | 6139402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム | 注射薬  | 6139500     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォペラゾンナトリウム・スルバクタムナトリウム | 注射薬  | 6139500     |      |      |      |      | ○    |
| イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム     | 注射薬  | 6139501     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| パニペネム・ベタミプロン             | 注射薬  | 6139503     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム  | 注射薬  | 6139504     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム  | 注射薬  | 6139505     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフトロザン硫酸塩・タゾバクタムナトリウム    | 注射薬  | 6139506     |      |      |      | ○    | ○    |
| エリスロマイシンラクトビオン酸塩         | 注射薬  | 6141400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アジスロマイシン水和物              | 注射薬  | 6149400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クロラムフェニコールコハク酸エステルナトリウム  | 注射薬  | 6151401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ミノサイクリン塩酸塩               | 注射薬  | 6152401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ストレプトマイシン硫酸塩             | 注射薬  | 6161400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エンビオマイシン硫酸塩              | 注射薬  | 6165400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カナマイシン硫酸塩                | 注射薬  | 6169400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アムホテリシン B                | 注射薬  | 6173400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ミカファンギンナトリウム             | 注射薬  | 6179400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ボリコナゾール                  | 注射薬  | 6179401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カスポファンギン酢酸塩              | 注射薬  | 6179402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ボサコナゾール                  | 注射薬  | 6179403     |      |      |      |      | ○    |

| 成分名                | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|--------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|
| スルファジメトキシ          | 注射薬  | 6213400     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| ミコナゾール             | 注射薬  | 6290400     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| フルコナゾール            | 注射薬  | 6290401     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスフルコナゾール          | 注射薬  | 6290402     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| イトラコナゾール           | 注射薬  | 6290403     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ベンジルペニシリンベンザチン水和物  | 内服薬  | 6111002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クリンダマイシン塩酸塩        | 内服薬  | 6112001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リンコマイシン塩酸塩水和物      | 内服薬  | 6112003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| バンコマイシン塩酸塩         | 内服薬  | 6113001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| フィダキソマイシン          | 内服薬  | 6119001     |      |      |      | ○    | ○    |
| ピブメシリナム塩酸塩         | 内服薬  | 6121001     | ○    | ○    |      |      |      |
| カナマイシン一硫酸塩         | 内服薬  | 6123003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム | 内服薬  | 6125001     |      | ○    | ○    | ○    | ○    |
| コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム | 内服薬  | 6125001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ポリミキシンB硫酸塩         | 内服薬  | 6126001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフチブテン水和物          | 内服薬  | 6129001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アモキシシリン水和物         | 内服薬  | 6131001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アンピシリン水和物          | 内服薬  | 6131002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| バカンピシリン塩酸塩         | 内服薬  | 6131004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルタミシリントシル酸塩水和物    | 内服薬  | 6131008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セファレキシン            | 内服薬  | 6132002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セファクロル             | 内服薬  | 6132005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフロキサジン水和物         | 内服薬  | 6132006     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフィキシム             | 内服薬  | 6132008     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフテラム ピボキシル        | 内服薬  | 6132009     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフロキシム アキセチル       | 内服薬  | 6132010     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフポドキシム プロキセチル     | 内服薬  | 6132011     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフォチアム ヘキセチル塩酸塩    | 内服薬  | 6132012     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| セフジニル              | 内服薬  | 6132013     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフジトレン ピボキシル       | 内服薬  | 6132015     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| セフカペン ピボキシル塩酸塩水和物  | 内服薬  | 6132016     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスホマイシンカルシウム水和物    | 内服薬  | 6135001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ファロペネムナトリウム水和物     | 内服薬  | 6139001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                               | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------------------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|
| テビペネム ピボキシル                       | 内服薬  | 6139002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム             | 内服薬  | 6139100     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシンエチルコハク酸エステル               | 内服薬  | 6141001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシン                          | 内服薬  | 6141002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| エリスロマイシンステアリン酸塩                   | 内服薬  | 6141004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スピラマイシン酢酸エステル                     | 内服薬  | 6142001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジョサマイシン                           | 内服薬  | 6145001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ジョサマイシンプロピオン酸エステル                 | 内服薬  | 6145002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ロキタマイシン                           | 内服薬  | 6149001     | ○    | ○    |      |      |      |
| ロキシスロマイシン                         | 内服薬  | 6149002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クラリスロマイシン                         | 内服薬  | 6149003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アジスロマイシン水和物                       | 内服薬  | 6149004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| クロラムフェニコール                        | 内服薬  | 6151001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| テトラサイクリン塩酸塩                       | 内服薬  | 6152002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩                | 内服薬  | 6152003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ドキシサイクリン塩酸塩水和物                    | 内服薬  | 6152004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ミノサイクリン塩酸塩                        | 内服薬  | 6152005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| サイクロセリン                           | 内服薬  | 6162001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リファンピシン                           | 内服薬  | 6164001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| リファブチン                            | 内服薬  | 6169001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ナイスタチン                            | 内服薬  | 6171001     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| アムホテリシン B                         | 内服薬  | 6173001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ボリコナゾール                           | 内服薬  | 6179001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ポサコナゾール                           | 内服薬  | 6179002     |      |      |      |      | ○    |
| リファキシミン                           | 内服薬  | 6199001     |      |      | ○    | ○    | ○    |
| ランソプラゾール・アモキシシリン・クラリスロマイシン        | 内服薬  | 6199100     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| ランソプラゾール・アモキシシリン・メトロニダゾール         | 内服薬  | 6199101     | ○    | ○    | ○    | ○    |      |
| ラベプラゾールナトリウム・アモキシシリン水和物・クラリスロマイシン | 内服薬  | 6199102     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ラベプラゾールナトリウム・アモキシ                 | 内服薬  | 6199103     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 成分名                              | 投与経路 | 薬価基準コード 7 桁 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|----------------------------------|------|-------------|------|------|------|------|------|
| シリン水合物・メトロニダゾール                  |      |             |      |      |      |      |      |
| ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水合物・クラリスロマイシン | 内服薬  | 6199104     |      |      | ○    | ○    | ○    |
| ボノプラザンフマル酸塩・アモキシシリン水合物・メトロニダゾール  | 内服薬  | 6199105     |      |      | ○    | ○    | ○    |
| スルファメトキサゾール                      | 内服薬  | 6212002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルファジメトキシン                       | 内服薬  | 6213001     | ○    | ○    |      |      |      |
| スルファジメトキシン                       | 内服薬  | 6213001     | ○    | ○    | ○    |      |      |
| サラゾスルファピリジン                      | 内服薬  | 6219001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| スルファメチゾール                        | 内服薬  | 6219002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| フルシトシン                           | 内服薬  | 6290001     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| フルコナゾール                          | 内服薬  | 6290002     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ミコナゾール                           | 内服薬  | 6290003     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| イトラコナゾール                         | 内服薬  | 6290004     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| テルビナフィン塩酸塩                       | 内服薬  | 6290005     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| アトバコン                            | 内服薬  | 6290006     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ホスラブコナゾール L-リシンエタノール付加物          | 内服薬  | 6290007     |      |      |      | ○    | ○    |
| スルファメトキサゾール・トリメトプリム              | 内服薬  | 6290100     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 成人市中肺炎診療ガイドラインでは、診断後 4 時間以内の抗生剤投与開始が勧められている。AHRQ では、4 時間以内の投与を指標として提案している。投与時刻のデータがなく、日単位での把握では適時性を十分に評価できているとはいいいにくい。
2. D ファイルのない場合の結果は参考値（QIP では疑似的に DPC コードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

### 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 成人市中肺炎診療ガイドライン 日本標準商品分類（平成 2 年 6 月改定）中分類 87－医薬品及び関連製品 [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000294493.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000294493.pdf)

## 基本情報

### 指標番号

2031\_7

### 名称

市中肺炎症例に対する、注射抗菌薬開始時の抗緑膿菌薬投与割合

### 分母

市中肺炎症例に対し、入院中に注射抗菌薬を投与された症例数

### 分子

分母のうち、注射抗菌薬の投与初日に、抗緑膿菌薬を処方された症例数

### 指標群

感染症系

### 意義

エンピリック治療における抗菌薬の選択

### 年度

2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル,D ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式 1 の生年月日、入院日より入院時年齢を求め 18 歳以上の症例。
3. このうち、市中肺炎症例。DPC コードの上 6 桁が 040070（インフルエンザ、ウイルス性肺炎）、040080（肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎）いずれかでかつ、肺炎の重症度分類の 7 桁目（コードでは 8. 院内肺炎、市中肺炎）が「5」（市中肺炎）の症例
4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く
5. 入院中に注射抗菌薬を投与された症例

| 薬価基準コード 7<br>桁    | 分類名            | 投与経路 | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 611*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 612*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 613*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 614*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 615*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 616[1/9][4/5/6]** | 主として抗酸菌に作用するもの | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 619*[4/5/6]**     | 抗生物質製剤         | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 624*[4/5/6]**     | 化学療法剤          | 注射   | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

### 分子の定義

1. 分母のうち、注射抗菌薬の投与初日に、抗緑膿菌薬を処方された症例数。EF ファイルの薬剤情報の点数コードに、下記いずれかの薬価基準コード 7 桁に対応するレセ電コードが含まれる症例

| 薬価基準コード上 7<br>ケタ | 系列          | 代表薬     | 成分名            | 記号       |
|------------------|-------------|---------|----------------|----------|
| 6131403          | 1. ペニシリン系   | ペントシリン  | ピペラシリン         | PIPC     |
| 6139505          | 1. ペニシリン系   | ゾシン     | ピペラシリン/タゾバクタム  | PIPC/TAZ |
| 6132418          | 2. セフェム系    | モダシン    | セフトジジム         | CAZ      |
| 6132425          | 2. セフェム系    | マキシピーム  | セフェピム          | CFPM     |
| 6132426          | 2. セフェム系    | ファーストシン | セフォゾプラム        | CZOP     |
| 6139500          | 2. セフェム系    | スルペラゾン  | スルバクタム・セフォペラゾン | SBT/CPZ  |
| 6139501          | 3. カルバペネム系  | チエナム    | イミペネム/シラスタチン   | IPM/CS   |
| 6139400          | 3. カルバペネム系  | メロペン    | メロペネム          | MEPM     |
| 6139401          | 3. カルバペネム系  | オメガシン   | ビアペネム          | BIPM     |
| 6139402          | 3. カルバペネム系  | フィニバックス | ドリペネム          | DRPM     |
| 6139503          | 3. カルバペネム系  | カルベニン   | パニペネム/ベタミプロン   | PAPM/BP  |
| 6241013          | 4. ニューキノロン系 | クラビット   | レボフロキサシン       | LVFX     |
| 6241400          | 4. ニューキノロン系 | シプロキサ   | シプロフロキサシン      | CPFX     |

| 薬価基準コード上 7<br>ケタ | 系列               | 代表薬           | 成分名        | 記号   |
|------------------|------------------|---------------|------------|------|
|                  | 系                | (注射)          |            |      |
| 6241008          | 4. ニューキノロン<br>系  | シプロキサ<br>(内服) | シプロフロキサシン  | CPFX |
| 6241401          | 4. ニューキノロン<br>系  | パシル           | パズフロキサシン   | PZFX |
| 6134407          | 5. アミノグリコシ<br>ド系 | ゲンタシン(注<br>射) | ゲンタマイシン    | GM   |
| 6123402          | 5. アミノグリコシ<br>ド系 | アミカシン         | アミカマイシン    | AMK  |
| 6123401          | 5. アミノグリコシ<br>ド系 | トブラシン         | トブラマイシン    | TOB  |
| 6123404          | 5. アミノグリコシ<br>ド系 | イセバシン         | イセパマイシン硫酸塩 | ISP  |
| 6134400          | 5. アミノグリコシ<br>ド系 | パニマイシン        | ジベカシン      | DKB  |

## その他

### 薬剤一覧の出力

いいえ

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

昇順

### 測定上の限界・解釈上の注意

- 市中肺炎において緑膿菌が起因菌となることはまれであり、薬剤耐性の観点からも安易な抗緑膿菌薬の使用が多剤耐性菌のリスクとなることから、エンピリック治療においては重症度等を勘案

して適切に選ぶためのモニタリング指標。指標の並びは「昇順」で示すが、総合的な判断が求められる。

2. D ファイルのない場合の結果は参考値（QIP では疑似的に DPC コードを生成し、そのコードを利用し指標値を算出している）

## 参考資料

## 参考値

## 参考資料

1. 成人市中肺炎診療ガイドライン 日本標準商品分類（平成 2 年 6 月改定）中分類 87－医薬品及び関連製品 [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000294493.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000294493.pdf)

## 基本情報

### 指標番号

2124

### 名称

広域抗菌薬使用時の血液培養実施率

### 分母

広域抗菌薬投与を開始した入院症例数

### 分子

分母のうち投与開始初日に血液培養検査を実施した人数

### 指標群

感染症

### 意義

広域抗菌薬を使用する際の望ましいプラクティス

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020

### 必要データセット

EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 入院中の広域抗菌薬(下記) に該当するものを検索する。また最初の算定日を同定する。

| 名称         | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名        | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|------------|-------------|------------|------|------|------|------|------|------|
| 抗 MRSA 注射薬 | 6113400     | バンコマイシン塩酸塩 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬 | 6119400     | アルベカシン硫酸塩  | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬 | 6119401     | テイコプラニン    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬 | 6119402     | ダプトマイシン    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

| 名称          | 薬価基準コード 7 桁 | 成分名                  | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-------------|-------------|----------------------|------|------|------|------|------|------|
| 薬           |             |                      |      |      |      |      |      |      |
| カルバペネム系注射薬  | 6139400     | メロペネム水和物             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139401     | ビアペネム                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139402     | ドリペネム水和物             | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139501     | イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| カルバペネム系注射薬  | 6139503     | パニペネム・ベタミプロン         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ニューキノロン系注射薬 | 6241400     | シプロフロキサシン            | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ニューキノロン系注射薬 | 6241401     | パズフロキサシンメシル酸塩        | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| ニューキノロン系注射薬 | 6241402     | レボフロキサシン水和物          | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬  | 6249401     | リネゾリド                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 注射薬  | 6249402     | テジゾリドリン酸エステル         |      |      |      |      | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 経口薬  | 6249002     | リネゾリド                | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |
| 抗 MRSA 経口薬  | 6249003     | テジゾリドリン酸エステル         |      |      |      |      | ○    | ○    |

## 分子の定義

1. 分母で同定した広域抗菌薬の最初の算定日に、血液培養の実施があれば分子 1 とする。

| 診療行為コード   | 基本漢字名称       | コード    | 2010 | 2012 | 2014 | 2016 | 2018 | 2020 |
|-----------|--------------|--------|------|------|------|------|------|------|
| 160058610 | 細菌培養同定検査（血液） | D018_3 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

## リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. バンコマイシンの内服薬は腸炎への利用であり、用途が異なり分母から削除した
2. 本定義では、広域抗菌薬を「抗 MRSA 薬（内服、注射、バンコマイシン内服は除く）、カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬」としている（2018 年度の定義の見直し時）但し、抗 MRSA 薬の外用薬及び、バンコマイシン塩酸塩内服薬は除く。

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス - 日本感染症学会  
[http://www.kansensho.or.jp/guidelines/pdf/1708\\_ASP\\_guidance.pdf](http://www.kansensho.or.jp/guidelines/pdf/1708_ASP_guidance.pdf)